

第 1 部 世帯と子供の状況

第 1 章 調査対象世帯の概況等

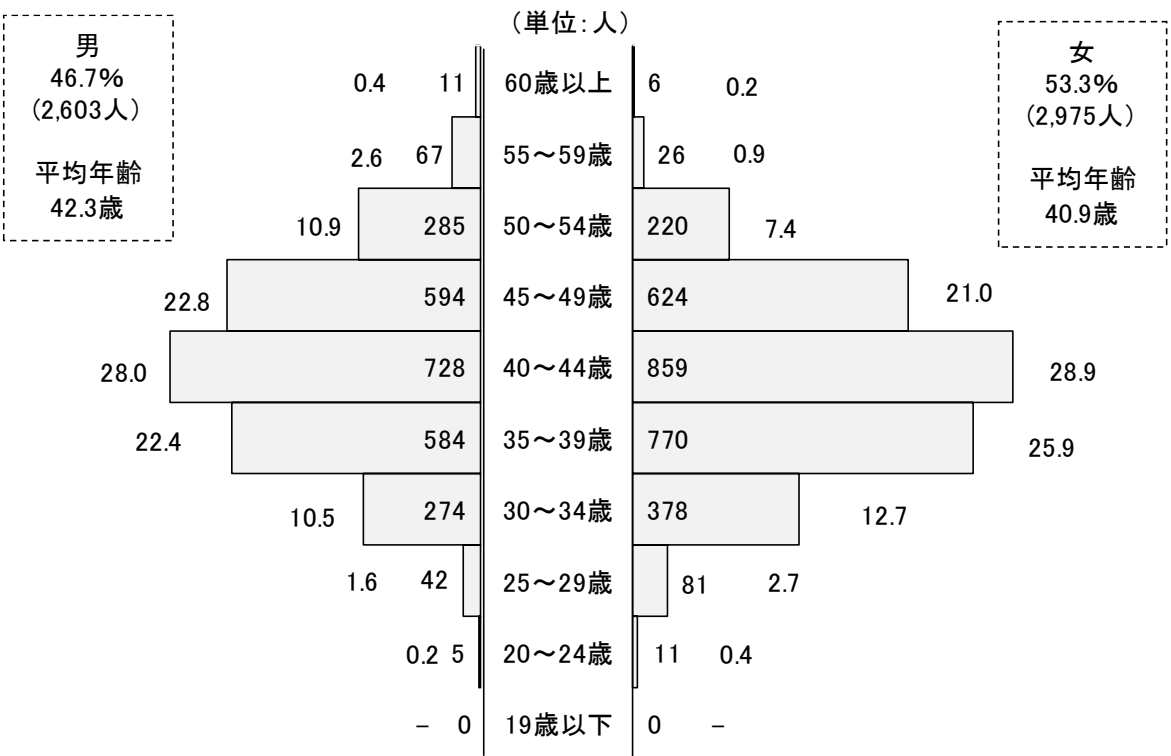
本章では、小学生までの子供を養育する両親世帯 4,800 世帯と 20 歳未満の子供を養育するひとり親世帯 1,200 世帯のうち、回答のあった小学生までの子供を養育する両親 2,565 世帯及び 20 歳未満の子供を養育するひとり親 448 世帯を合わせた 3,013 世帯の概況並びにその父母(養育者) 5,578 人と子供 5,360 人の概況について述べる。

1 父母の状況

(1) 父母の状況－性・年齢階級別

父母の人数を年齢階級別にみると、男女ともに「40～44 歳」が最も多く、男性は 728 人、女性は 859 人となっている。父母の平均年齢は男性 42.3 歳、女性 40.9 歳である。(図 I-1-1)

図 I-1-1 父母の状況－性・年齢階級別



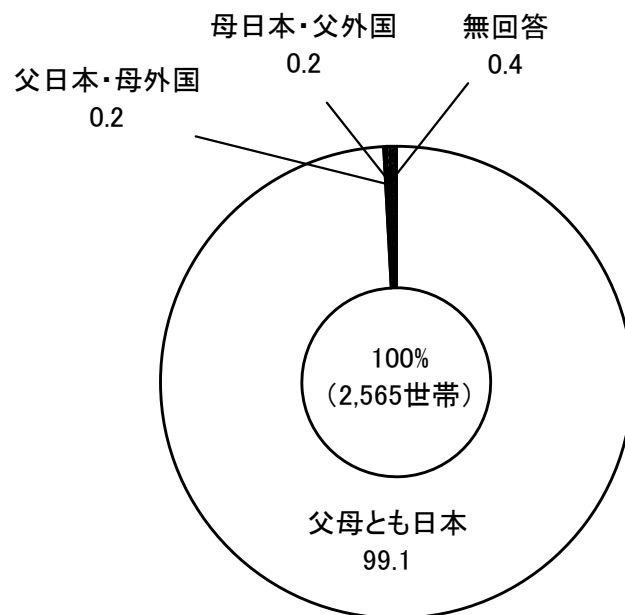
(注) 男性の合計が 100%にならないのは、父親の年齢無回答の人がいるためである。

また、男性 2,603 人には、年齢無回答の人を含むため、内訳の合計と一致しない。

(2) 父母の状況－父母の国籍

父母の国籍は、「父母とも日本」が 99.1%、「父日本・母外国」が 0.2%、「母日本・父外国」が 0.2%である。(図 I-1-2)

図 I-1-2 父母の状況－父母の国籍



(注) 総数 2,565 世帯は、両親世帯である。

(注) 住民基本台帳上において、両親のいずれかが日本人であると判断した場合のみ、対象世帯として抽出している。

2 世帯の状況

(1) 地域

居住地域は、「区部」が73.2%、「市・町・村部」が26.8%である。「区部」では「区西北部」の割合が16.3%で最も高く、「市・町・村部」では「南多摩」の割合が8.3%で最も高くなっている。(表 I-1-1)

表 I-1-1 地域

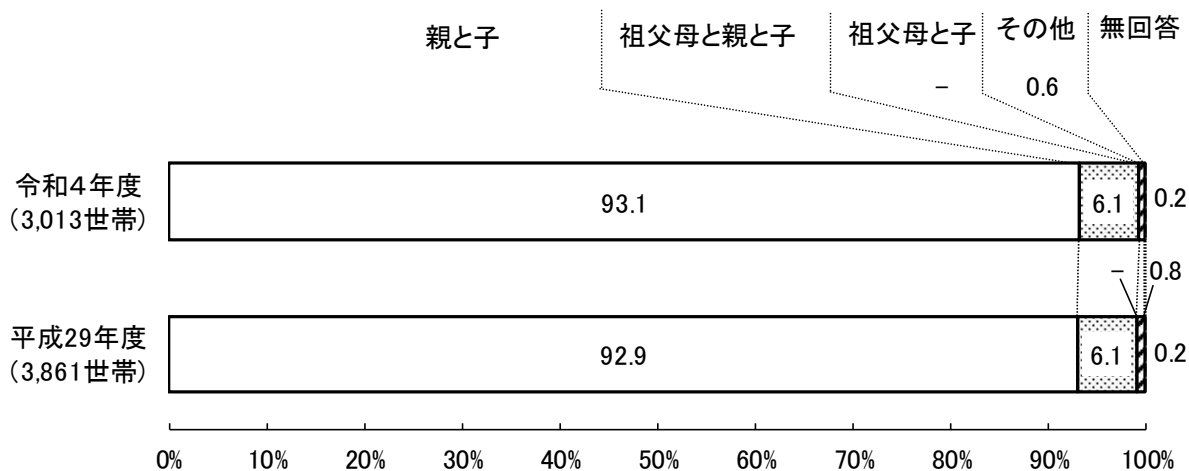
	総 数	区 部	区 中 央 部	区 南 部	区 西 南 部	区 西 部	区 西 北 部	区 東 北 部	区 東 部	市 ・ 町 ・ 村 部	西 多 摩	南 多 摩	北 多 摩 西 部	北 多 摩 南 部	北 多 摩 北 部	島 し よ
総数	100.0 (3,013)	73.2 (2,207)	5.3 (159)	7.3 (221)	10.9 (327)	11.5 (346)	16.3 (490)	10.7 (323)	11.3 (341)	26.8 (806)	1.7 (51)	8.3 (250)	2.5 (74)	7.8 (235)	6.5 (196)	- (0)
該 当 地 区			千代田区、中央区、港区、文京区、台東区	品川区、大田区	目黒区、世田谷区、渋谷区	新宿区、中野区、杉並区	豊島区、北区、板橋区、練馬区	荒川区、足立区、葛飾区	墨田区、江東区、江戸川区		檜原村、奥多摩町 青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市	立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市	武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市	大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、 八丈町、青ヶ島村、小笠原村

(2) 家族類型－29 年度調査との比較

「親と子」が 9 割超

家族類型は、「親と子」の割合が 93.1%、「祖父母と親と子」が 6.1%となっている。(図 I-1-3)

図 I-1-3 家族類型－29 年度調査との比較

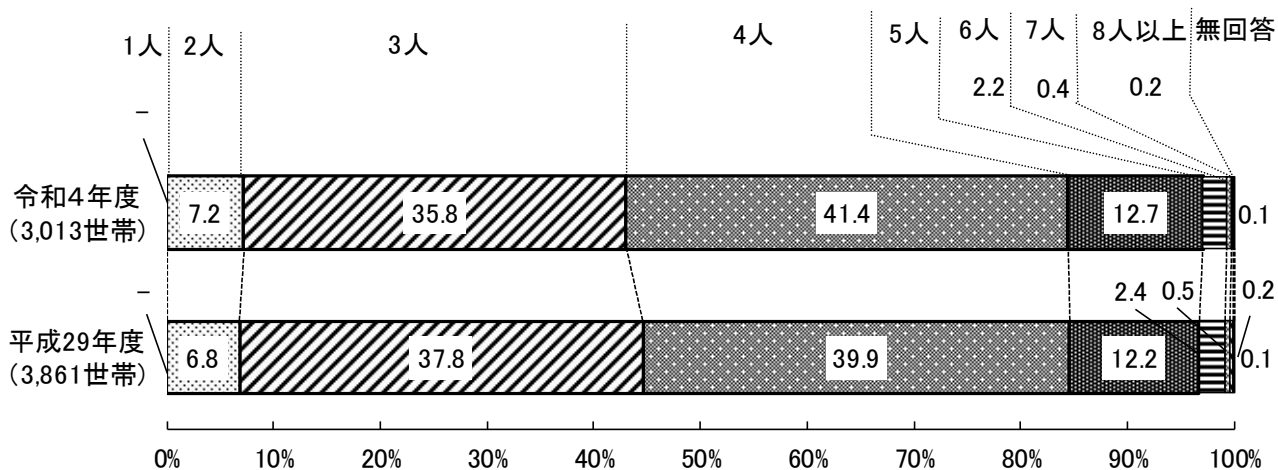


(3) 世帯人員－29 年度調査との比較

「4 人」の割合が最も高く、約 4 割

世帯人員は、「4 人」の割合が 41.4%で最も高く、次いで「3 人」が 35.8%となっている。(図 I-1-4)

図 I-1-4 世帯人員－29 年度調査との比較

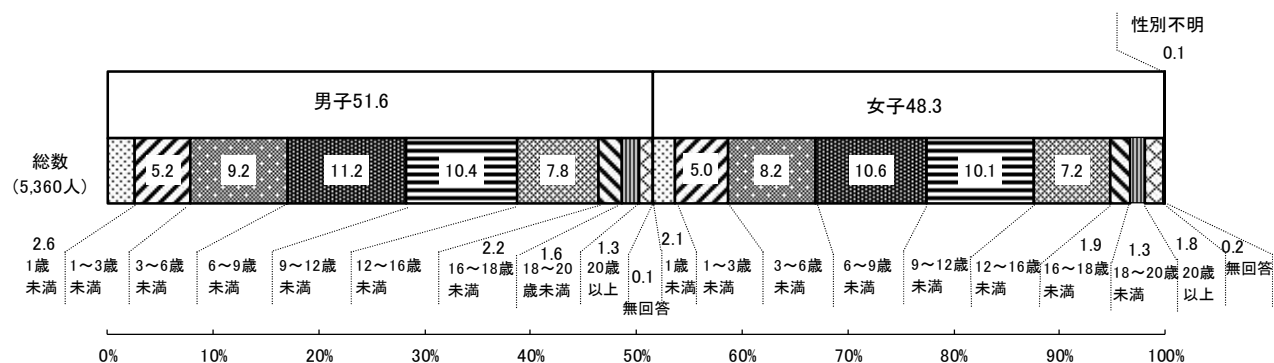


3 子供の状況

(1) 子供の状況－子供の性・年齢階級別

調査世帯の子供の総数は 5,360 人で、男子 51.6%、女子 48.3%である。(図 I-1-5)

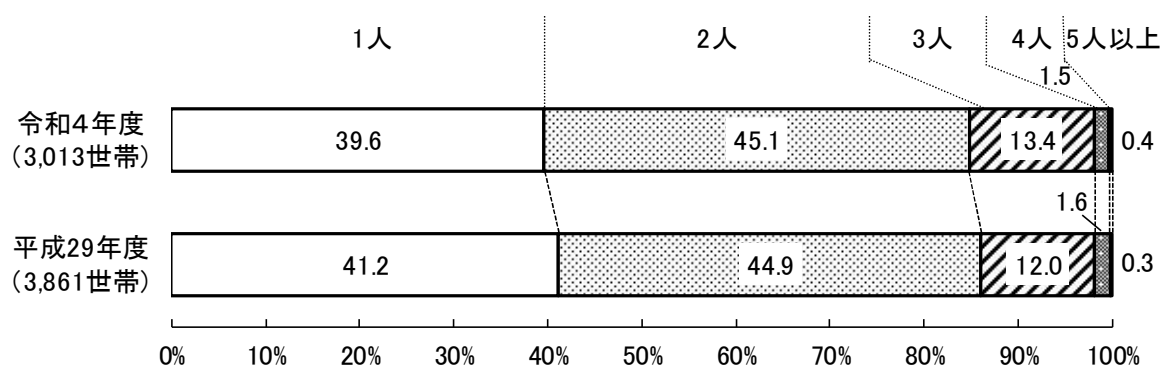
図 I-1-5 子供の状況－子供の性・年齢階級別



(2) 子供の人数－29 年度調査との比較

世帯の子供の人数は、「2 人」の割合が 45.1%で最も高く、次いで「1 人」が 39.6%となっている。(図 I-1-6)

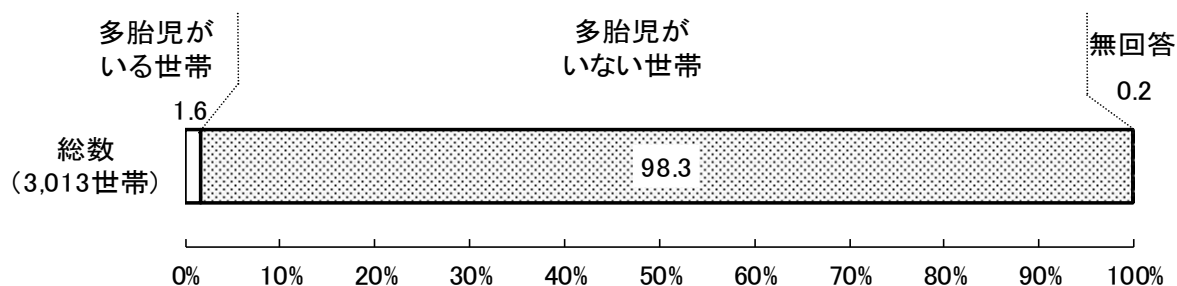
図 I-1-6 子供の人数－29 年度調査との比較



(3) 多胎児の状況

多胎児がいる世帯は、1.6%となっている。(図 I-1-7)

図 I-1-7 多胎児の状況

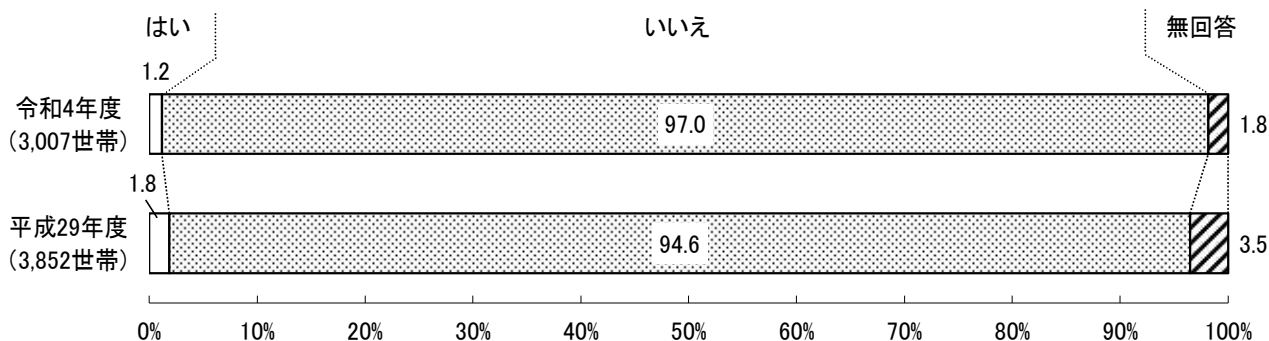


4 ステップファミリーの状況－29年度調査との比較

ステップファミリー(※)の状況について、「はい」(該当する)の割合は1.2%で、29年度調査(1.8%)から0.6ポイント低下している。(図 I-1-8)

(注) ※再婚等により血縁のない親子・兄弟などのいる家庭をいう。

図 I-1-8 ステップファミリーの状況－29年度調査との比較

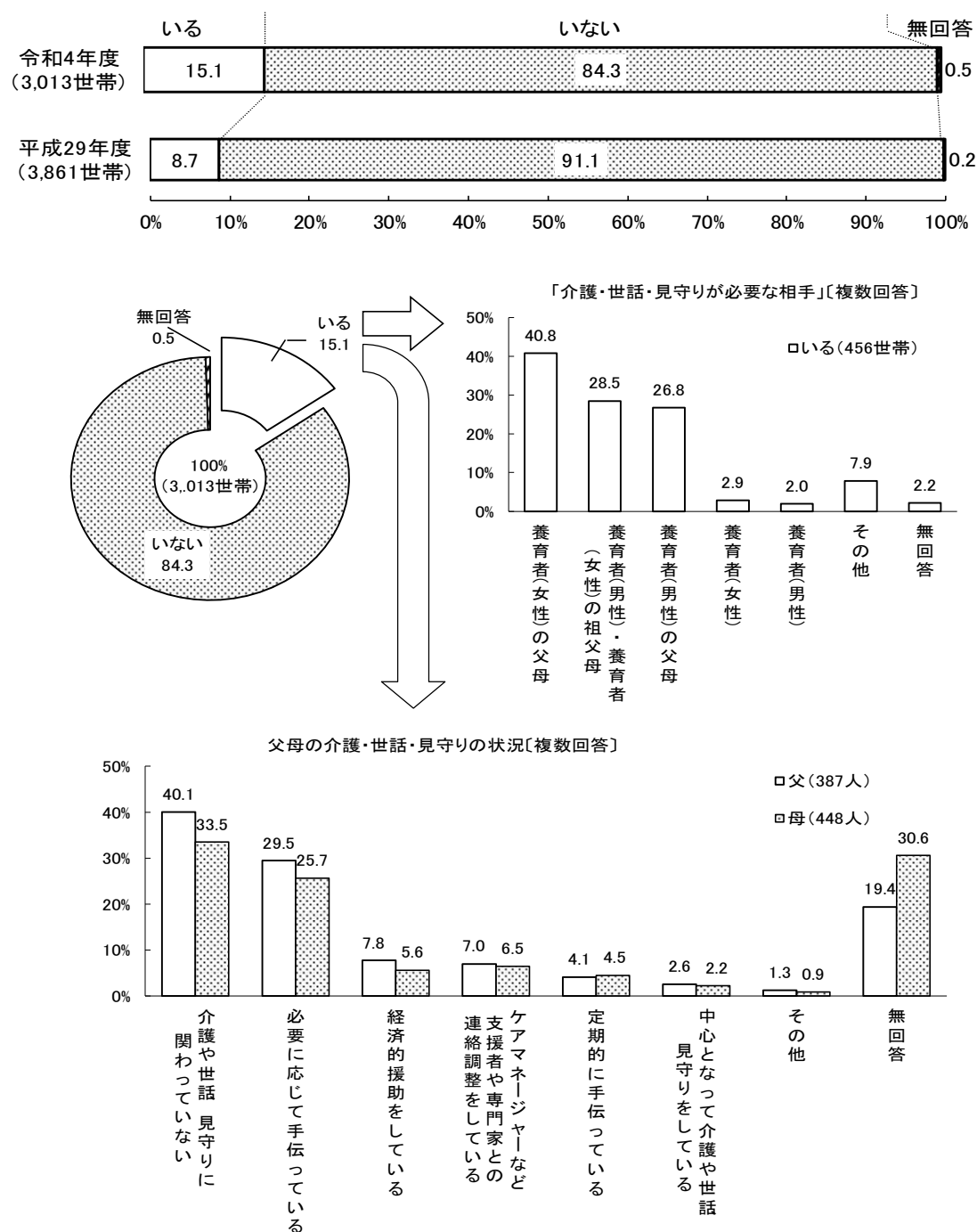


(注) 家族類型で、「親と子」「祖父母と親と子」「その他」のいずれかと回答した、3,007世帯に回答を求めた。

5 介護・世話・見守りの有無及びその状況〔複数回答〕-29年度調査との比較

子供以外の親族で、疾病・障害・認知症などの理由により、介護・世話・見守りが必要な人が「いる」と回答した世帯の割合は15.1%となっており、29年度調査（8.7%）から6.4ポイント増加している。介護・世話・見守りが必要な相手は「養育者（女性）の父母」が40.8%と最も高く、次いで「養育者（男性・女性）の祖父母」が28.5%、「養育者（男性）の父母」が26.8%となっている。また、「いる」と回答した世帯の父母それぞれに対して、どの程度介護・世話・見守りに関わっているか聞いたところ、「必要に応じて手伝っている」の割合は、父が29.5%、母は25.7%で、父の方が3.8ポイント高くなっている。（図I-1-9）

図I-1-9 介護・世話・見守りの有無及びその状況〔複数回答〕-29年度調査との比較



6 住居の状況

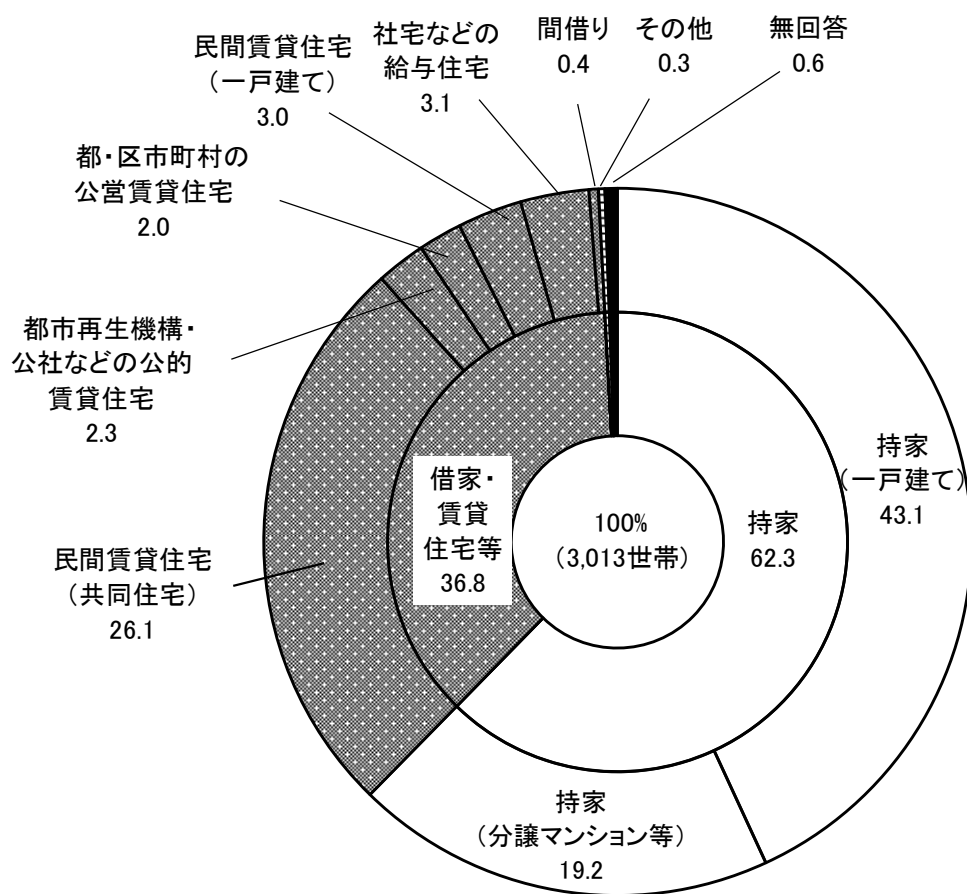
(1) 住居の種類

「持家」の割合は約6割で、「借家・賃貸住宅等」の割合よりも高い

住居の種類を、「持家」か「借家・賃貸住宅等」で分けると、「持家」の割合が62.3%で、「借家・賃貸住宅等」は36.8%となっている。

住居の種類は、「持家（一戸建て）」の割合が43.1%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅（共同住宅）」が26.1%となっている。（図I-1-10）

図I-1-10 住居の種類



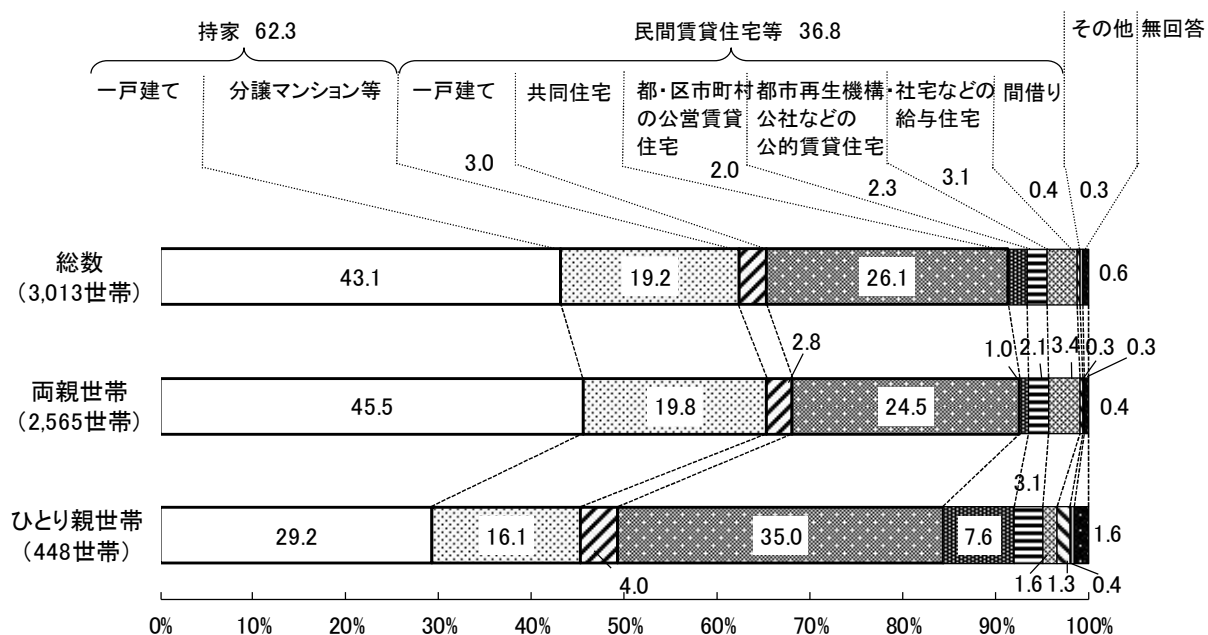
(2) 住居の種類－両親の有無別

両親世帯では「持家（一戸建て）」、「ひとり親世帯では「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が最も高い

住居の種類を両親の有無別にみると、両親世帯では「持家（一戸建て）」の割合が45.5%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が24.5%となっている。

一方、ひとり親世帯では「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が35.0%で最も高く、次いで「持家（一戸建て）」の割合が29.2%となっている。（図 I-1-11）

図 I-1-11 住居の種類－両親の有無別



(3) 子供部屋の有無－世帯類型（子供の就学状況）別

小学生以下の子供がいない世帯では、「個室あり」の割合は約 6 割

子供部屋の有無は、「個室あり」の割合が 31.9%、「他の兄弟姉妹と共用」は 15.8%となっている。

世帯類型（子供の就学状況）別にみると、「個室あり」の割合は、小学生以下の子供がいる世帯が 29.2%、小学生以下の子供がいない世帯は 59.5%で、小学生以下の子供がいない世帯の方が 30.3 ポイント高くなっている。（表 I-1-2）

表 I-1-2 子供部屋の有無－世帯類型（子供の就学状況）別

	総 数	個 室 あ り	共 他 の 兄 弟 姉 妹 と 共 用	個 一 室 あ り の 子 供 に	な し	無 回 答
総数	100.0 (3,013)	<u>31.9</u>	<u>15.8</u>	9.1	42.3	1.0
小学生以下の子供がいる世帯	100.0 (2,748)	<u>29.2</u>	16.6	8.9	44.3	0.9
就学前の子供のみがいる世帯	100.0 (946)	24.0	5.5	1.0	68.9	0.6
就学前と小学生の子供がいる世帯	100.0 (514)	20.6	29.0	9.5	39.9	1.0
就学前と小学生と中学生の子供が いる世帯	100.0 (26)	30.8	30.8	26.9	11.5	－
就学前と小学生と中学生と高校生以上 の子供がいる世帯	100.0 (1)	－	100.0	－	－	－
就学前と中学生の子供がいる世帯	100.0 (18)	11.1	11.1	50.0	22.2	5.6
就学前と中学生と高校生以上子供が いる世帯	100.0 (4)	25.0	25.0	25.0	25.0	－
就学前と高校生以上子供がいる世帯	100.0 (1)	－	－	100.0	－	－
小学生の子供のみがいる世帯	100.0 (758)	39.1	15.3	4.7	39.6	1.3
小学生と中学生の子供がいる世帯	100.0 (300)	34.7	30.3	20.0	14.0	1.0
小学生と中学生と高校生以上の子供が いる世帯	100.0 (54)	18.5	37.0	38.9	5.6	－
小学生と高校生以上の子供がいる世帯	100.0 (126)	38.9	15.1	38.9	7.1	－
小学生以下の子供がいない世帯	100.0 (252)	<u>59.5</u>	6.0	11.9	21.0	1.6

7 父母の就労状況

(1) 就業状況

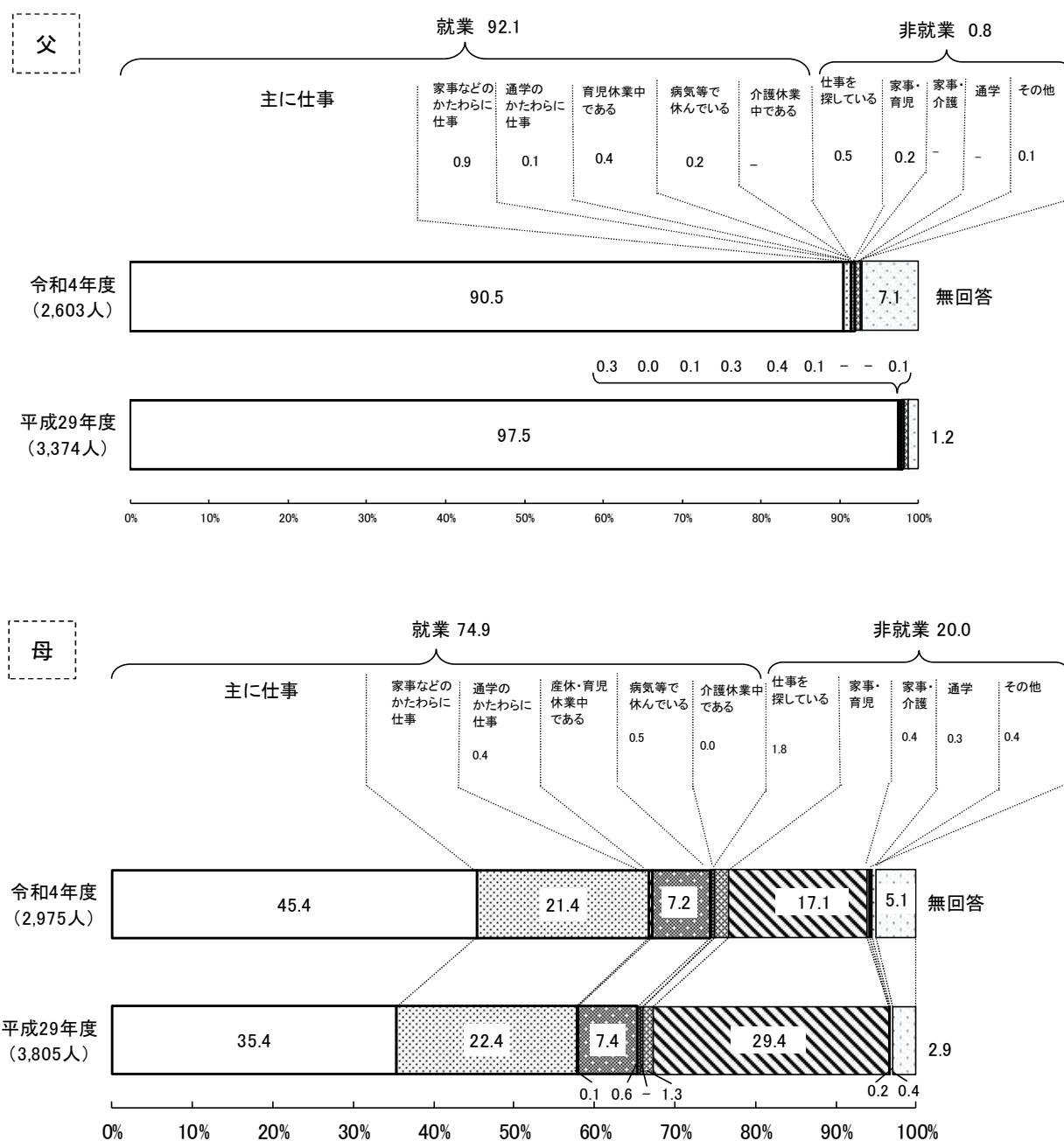
母の「就業」の割合は、7割超

「就業」の割合は、父が92.1%、母は74.9%となっている。(図I-1-12)

(注)「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」「介護休業中である」と回答した人である。

また、「介護休業中である」と「家事・介護」は令和4年度調査で新たに追加した選択肢である。

図I-1-12 就業状況

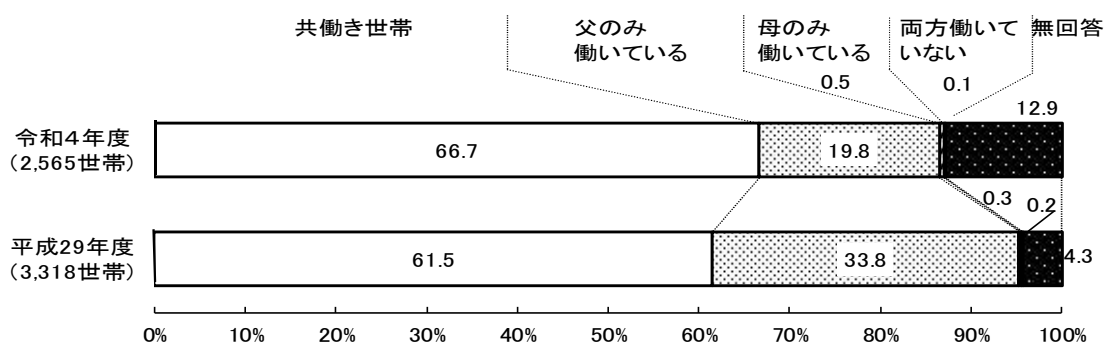


(2) 共働きの状況－29 年度調査との比較

「共働き世帯」の割合が増加し、6 割超

両親のいる世帯 (2,565 世帯) の共働きの状況をみると、「共働き世帯」の割合が 66.7%で、29 年度調査 (61.5%) から 5.2 ポイント増加している。(図 I-1-13)

図 I-1-13 共働きの状況－29 年度調査との比較

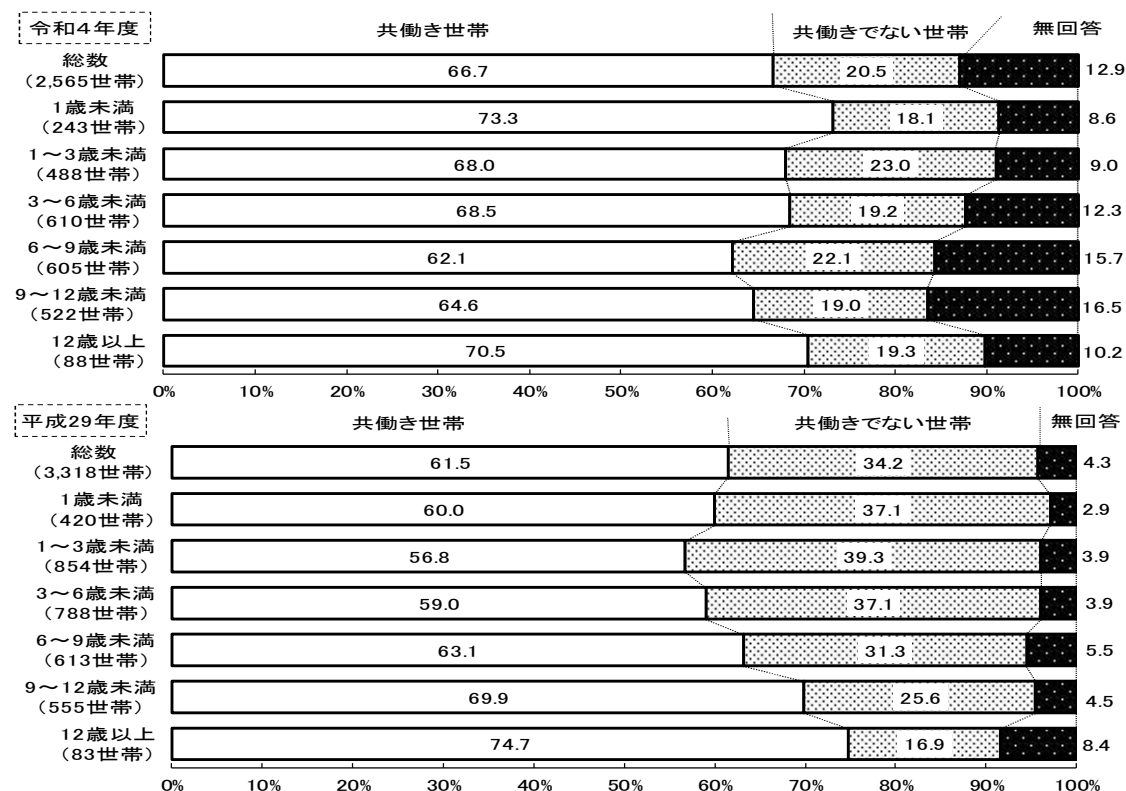


(3) 共働きの状況－1 番下の子供の年齢別

1 番下の子供の年齢階級において、「共働き世帯」の割合は全体的に増加

共働きの状況を 1 番下の子供の年齢別にみると、「共働き世帯」の割合は、「6～9 歳未満」及び「12 歳以上」世帯を除き、29 年度調査より増加している。「1 歳未満」では 73.3%で、29 年度調査 (60.0%) から 13.3 ポイント増加している。(図 I-1-14)

図 I-1-14 共働きの状況－1 番下の子供の年齢別



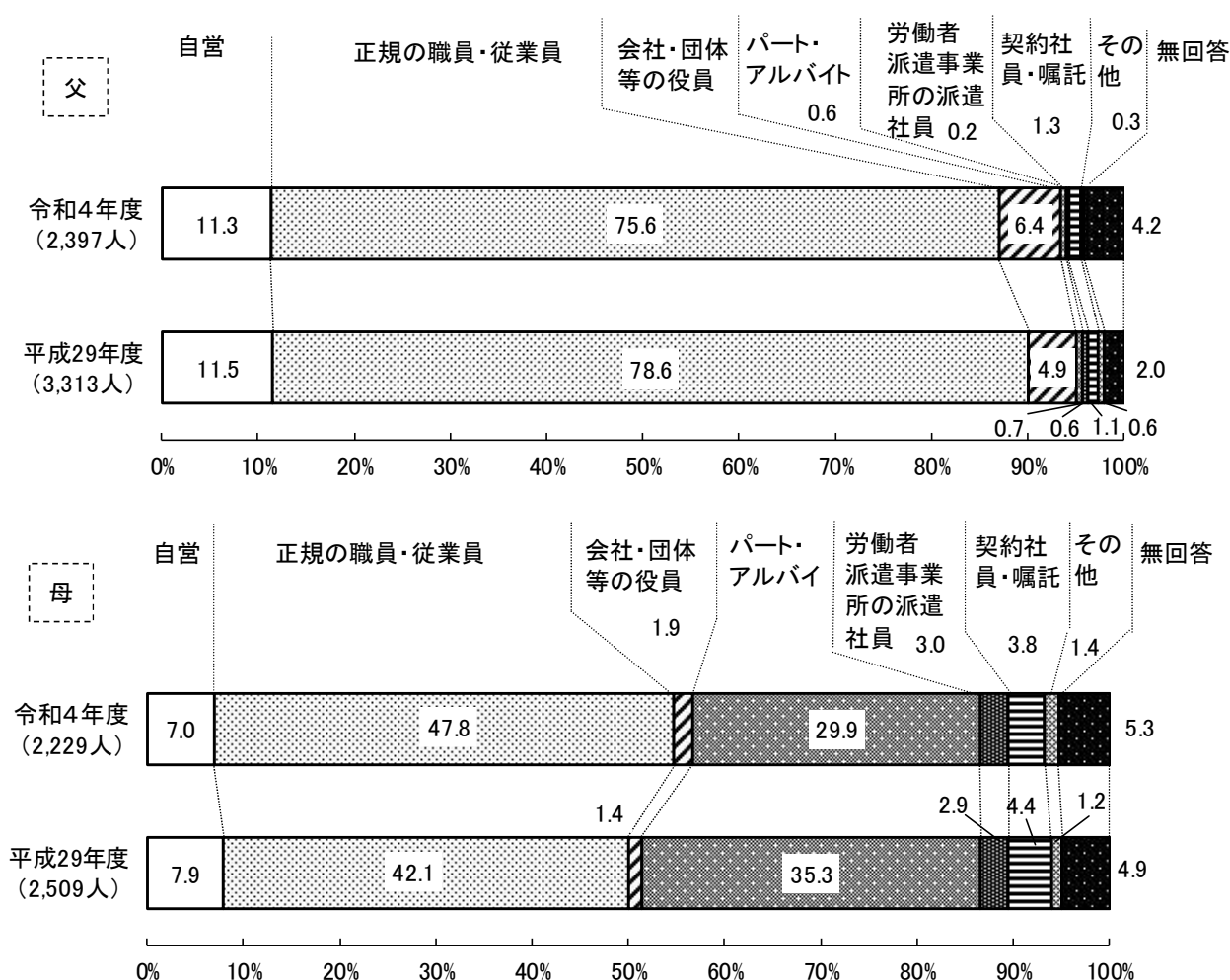
(4) 従業上の地位－29 年度調査との比較

母の「正規の職員・従業員」の割合は、29 年度調査から 5.7 ポイント増加し、4 割超

就業している父母（4,626 人）の従業上の地位は、父母ともに「正規の職員・従業員」の割合が最も高く、父が 75.6%、母は 47.8%となっている。母の「正規の職員・従業員」の割合は、29 年度調査（42.1%）から 5.7 ポイント増加し、「パート・アルバイト」の割合は 29.9%で、29 年度調査（35.3%）から 5.4 ポイント減少している。（図 I-1-15）

（注）「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」「介護休業中である」と回答した人である。

図 I-1-15 従業上の地位－29 年度調査との比較

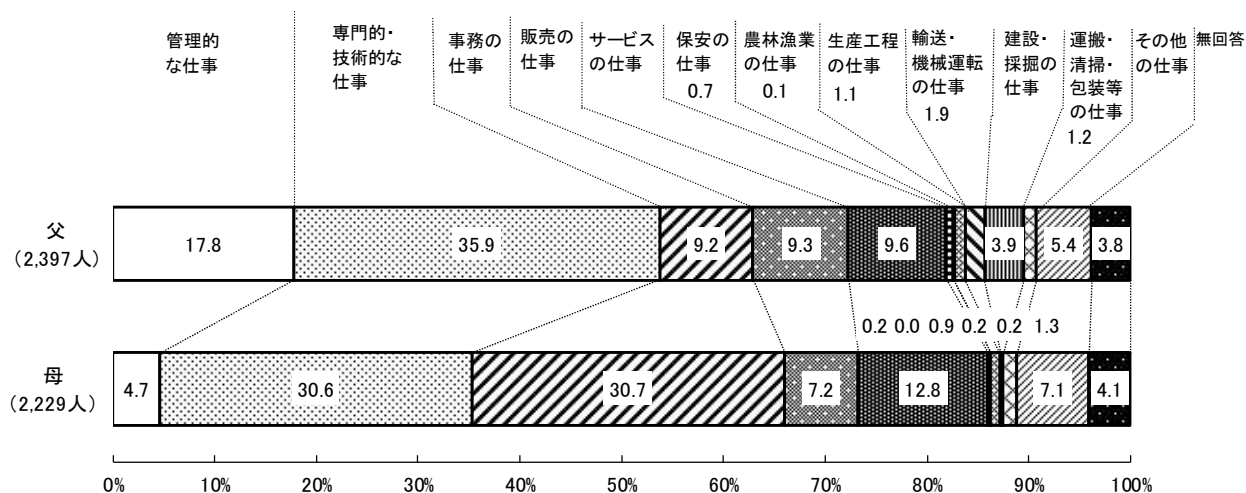


(5) 仕事の種類

就業している父母（4,626人）の仕事の種類について、父は「専門的・技術的な仕事」の割合が35.9%で最も高く、母は「事務の仕事」の割合が30.7%で最も高くなっている。（図I-1-16）

（注）「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」「介護休業中である」と回答した人である。

図I-1-16 仕事の種類



(6) 通勤時間―地域別

働いている父母（4,381人）の通勤時間は、父母ともに「31～60分」の割合が最も高く、父が39.3%、母は32.7%となっている。

父母の通勤時間を現在住んでいる地域別にみると、父の「15分以内」、「16～30分」、「31～60分」を合わせた「60分以内」の割合は、区部が67.9%、市・町・村部は45.9%で、区部の方が22.0ポイント高くなっている。

母の「60分以内」の割合は、区部が79.1%、市・町・村部は74.0%となっている。（表I-1-3）

（注）「働いている」人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

表 I-1-3 通勤時間―地域別

	総 数	1 5 分 以 内	1 6 5 3 0 分	3 1 5 6 0 分	6 1 分 5 9 0 分	9 1 分 5 1 2 0 分	1 2 1 分 以 上	自 宅 就 労	無 回 答
父									
総数	100.0 (2,382)	9.5	13.1	<u>39.3</u>	19.3	4.5	0.9	9.7	3.7
区部	100.0 (1,739)	<u>9.7</u>	<u>13.5</u>	<u>44.7</u>	14.3	3.3	0.6	10.2	3.7
			<u>67.9</u>						
市・町・村部	100.0 (643)	<u>9.2</u>	<u>12.1</u>	<u>24.6</u>	32.7	7.5	1.9	8.4	3.7
			<u>45.9</u>						
母									
総数	100.0 (1,999)	25.5	19.6	<u>32.7</u>	8.0	1.1	0.3	10.9	2.1
区部	100.0 (1,464)	<u>24.2</u>	<u>19.0</u>	<u>35.9</u>	6.5	0.6	0.0	11.3	2.5
			<u>79.1</u>						
市・町・村部	100.0 (535)	<u>29.0</u>	<u>21.1</u>	<u>23.9</u>	12.0	2.2	0.9	9.7	1.1
			<u>74.0</u>						

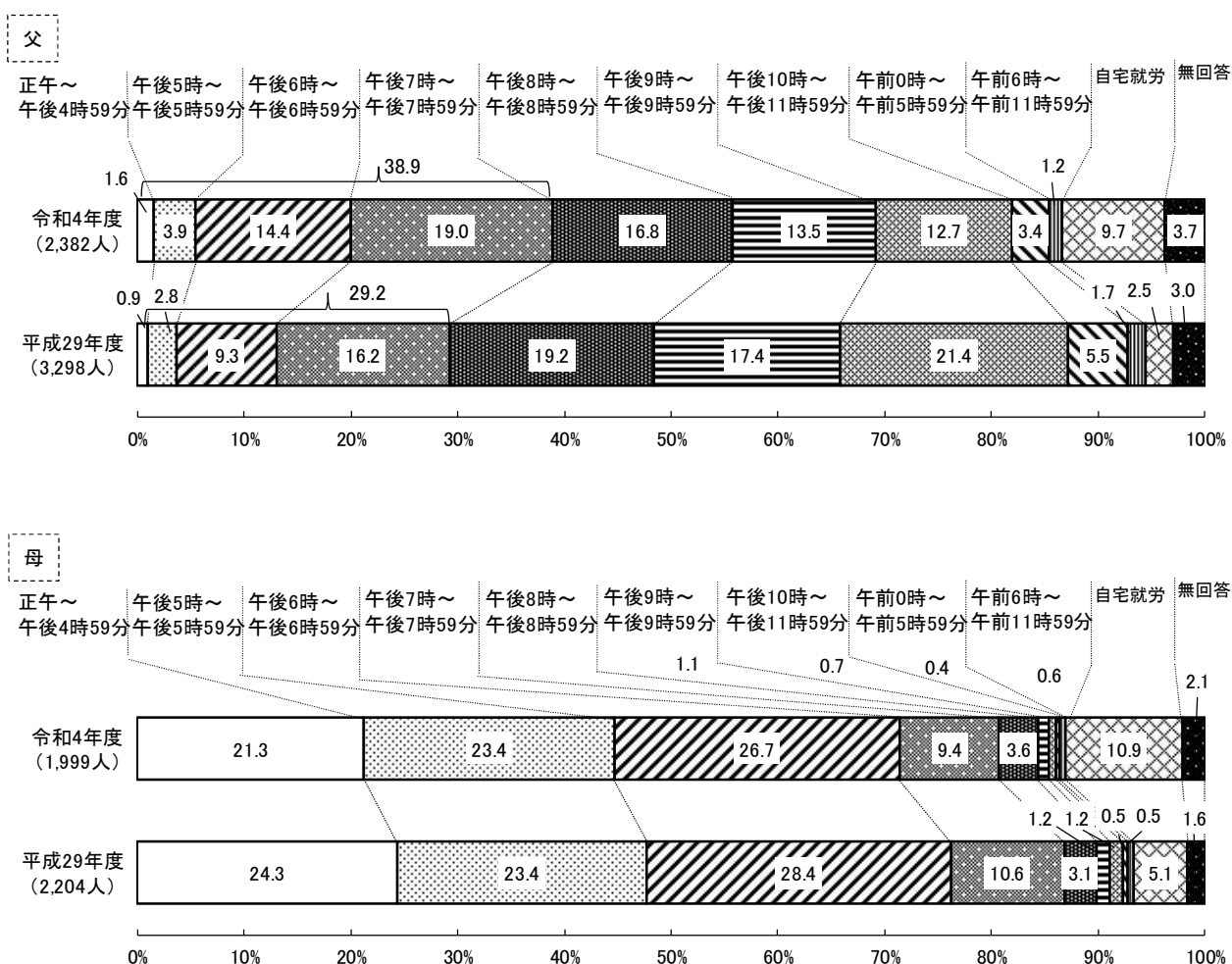
(7) 帰宅時間－29年度調査との比較

働いている父母(4,381人)の帰宅時間は、父は、「午後7時～午後7時59分」の割合が19.0%で最も高く、次いで「午後8時～午後8時59分」が16.8%となっている。母は、「午後6時～午後6時59分」の割合が26.7%で最も高くなっている。

また、父は、「正午～午後4時59分」、「午後5時～5時59分」、「午後6時～6時59分」、「午後7時～7時59分」を合わせた「午後7時59分前」の割合は38.9%で、29年度調査(29.2%)と比較して9.7ポイント増加している。(図I-1-17)

(注)「働いている」とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

図I-1-17 帰宅時間－29年度調査との比較



(8) 帰宅時間－1番下の子供の年齢

父母の帰宅時間を1番下の子供の年齢別にみると、父は、1番下の子供の年齢が「1歳未満」では「午後6時～午後6時59分」の割合が最も高く21.1%、「1～3歳未満」では「午後7時～午後7時59分」の割合が最も高く18.4%、「3～6歳未満」では「午後8時～午後8時59分」の割合が最も高く18.5%となっている。

母は、「1歳未満」及び「3～6歳未満」では、「午後6時～午後6時59分」の割合が最も高く(26.2%、29.8%)、「1～3歳未満」では「午後5時～午後5時59分」の割合が最も高く40.0%となっている。(表I-1-4)

表I-1-4 帰宅時間－1番下の子供の年齢

父	総 数	午 正 後 4 時 5 9 分	午 正 後 5 時 5 9 分	午 正 後 6 時 5 9 分	午 正 後 7 時 5 9 分	午 正 後 8 時 5 9 分	午 正 後 9 時 5 9 分	午 正 後 1 0 時 5 9 分	午 前 5 時 5 9 分	午 前 6 時 5 9 分	自 宅 就 労	無 回 答
総数	100.0 (2,382)	1.6	3.9	14.4	19.0	16.8	13.5	12.7	3.4	1.2	9.7	3.7
1歳未満	100.0 (213)	1.9	3.8	<u>21.1</u>	19.7	12.2	11.7	12.2	3.8	-	11.3	2.3
1～3歳未満	100.0 (462)	1.3	3.9	15.6	<u>18.4</u>	15.6	12.8	13.2	2.2	1.1	11.5	4.5
3～6歳未満	100.0 (562)	1.8	4.8	12.5	18.0	<u>18.5</u>	12.6	14.4	5.3	0.7	9.6	1.8
6～9歳未満	100.0 (552)	1.6	4.2	11.2	19.2	18.8	13.2	12.9	3.3	0.9	10.3	4.3
9～12歳未満	100.0 (476)	1.3	3.2	15.8	20.0	16.2	14.9	11.3	2.7	2.7	7.8	4.2
12歳以上	100.0 (108)	1.9	2.8	18.5	21.3	15.7	15.7	8.3	1.9	1.9	5.6	6.5

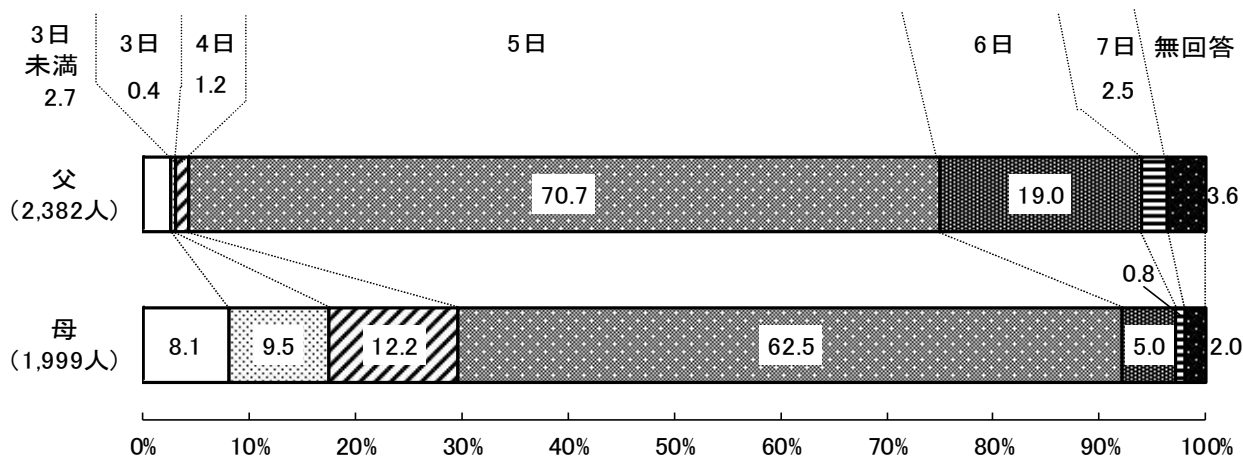
母	総 数	午 正 後 4 時 5 9 分	午 正 後 5 時 5 9 分	午 正 後 6 時 5 9 分	午 正 後 7 時 5 9 分	午 正 後 8 時 5 9 分	午 正 後 9 時 5 9 分	午 正 後 1 0 時 5 9 分	午 前 5 時 5 9 分	午 前 6 時 5 9 分	自 宅 就 労	無 回 答
総数	100.0 (1,999)	21.3	23.4	26.7	9.4	3.6	1.1	0.7	0.4	0.6	10.9	2.1
1歳未満	100.0 (42)	11.9	21.4	<u>26.2</u>	9.5	2.4	-	2.4	-	2.4	21.4	2.4
1～3歳未満	100.0 (295)	16.9	<u>40.0</u>	28.5	2.7	0.7	-	0.3	-	-	8.1	2.7
3～6歳未満	100.0 (467)	18.2	26.1	<u>29.8</u>	7.1	1.5	0.6	0.4	-	0.9	14.6	0.9
6～9歳未満	100.0 (455)	22.6	21.8	27.3	8.8	3.1	0.9	0.2	0.9	0.7	11.9	2.0
9～12歳未満	100.0 (441)	31.3	15.6	22.9	11.3	3.4	1.4	0.9	-	0.2	10.2	2.7
12歳以上	100.0 (288)	14.2	16.3	25.3	17.4	11.5	2.8	1.7	1.0	0.7	6.3	2.8

(9) 1週間の就労日数

働いている父母（4,381人）の1週間の就労日数は、父母ともに「5日」の割合が最も高く、父が70.7%、母は62.5%となっている。（図I-1-18）

（注）「働いている」とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

図I-1-18 1週間の就労日数



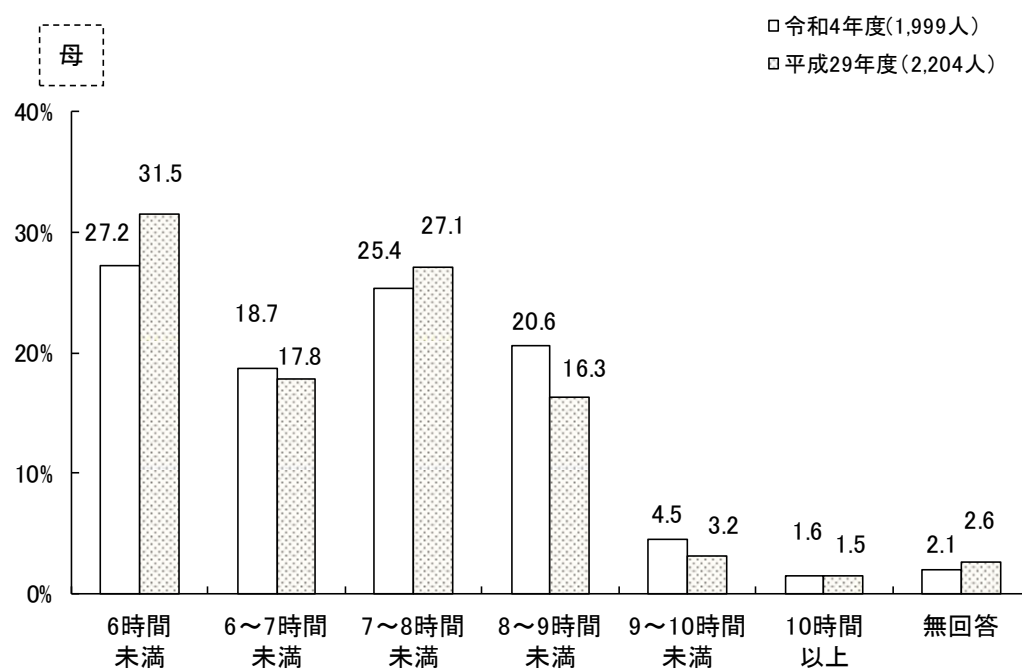
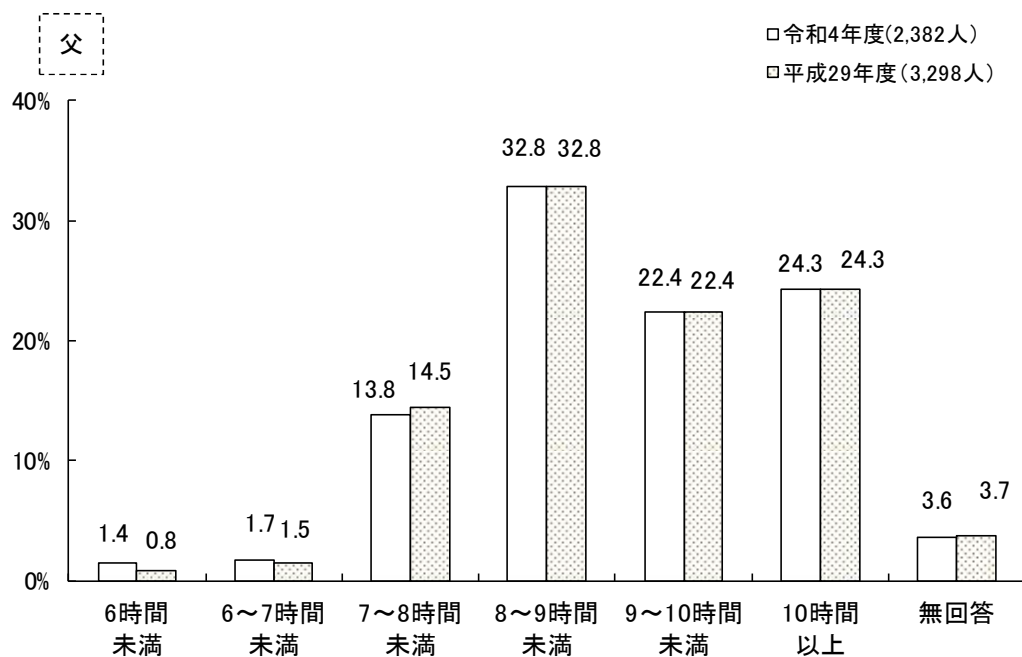
(10) 1日あたりの実労働時間－29年度調査との比較

働いている父母（4,381人）の1日あたりの実労働時間は、父は、「8～9時間未満」の割合が32.8%で最も高くなっている。

母は、「6時間未満」の割合が27.2%で最も高くなっている。（図I-1-19）

（注）「働いている」とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

図I-1-19 1日あたりの実労働時間－29年度調査との比較



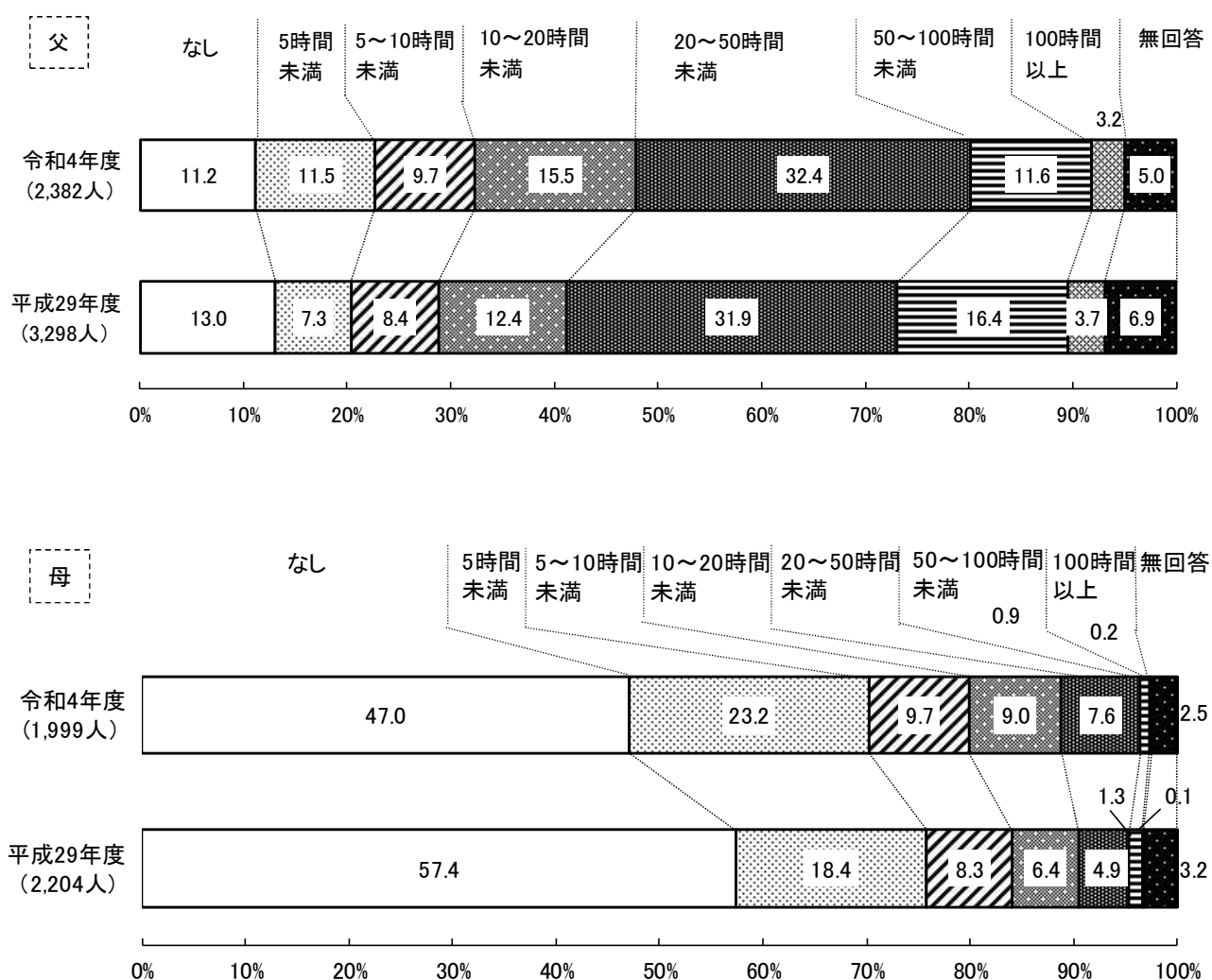
(11) 1か月の残業時間－29年度調査との比較

働いている父母(4,381人)の1か月の残業時間は、父は「20～50時間未満」の割合が32.4%で最も高くなっている。

母は「なし」の割合が47.0%で最も高くなっている。(図I-1-20)

(注)「働いている」人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかわりに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

図I-1-20 1か月の残業時間－29年度調査との比較



8 父母の学歴

父母の学歴は、父母ともに卒業では「大学」の割合が最も高く、父が47.2%、母は40.0%となっている。（表 I-1-5）

表 I-1-5 父母の学歴

	総 数	中 学 校	高 等 学 校	専 門 学 校	高 等 短 期 大 学 ・ 専 門 学 校	大 学	大 学 院	そ の 他	無 回 答
父	100.0 (2,603)								
卒業	100.0 (2,307)	2.1	12.4	9.7	2.3	<u>47.2</u>	11.7	0.1	14.6
在学中	100.0 (12)	－	16.7	16.7	－	16.7	41.7	8.3	－
母	100.0 (2,957)								
卒業	100.0 (2,708)	1.6	13.6	14.1	13.0	<u>40.0</u>	4.8	0.3	12.6
在学中	100.0 (24)	－	4.2	37.5	－	25.0	8.3	20.8	4.2

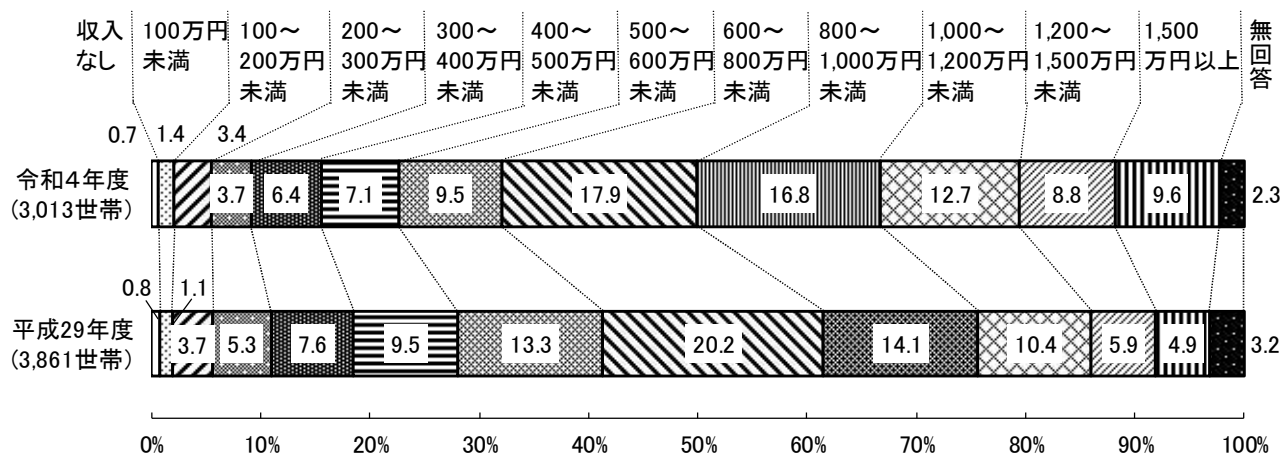
9 世帯収入の状況

(1) 世帯の年間収入－29年度調査との比較

世帯の年間収入は「600～800万円未満」の割合が最も高い

世帯の年間収入は、「600～800万円未満」の割合が17.9%で最も高く、次いで「800～1000万円未満」が16.8%、「1,000～1,200万円未満」が12.7%となっている。（図 I-1-21）

図 I-1-21 世帯の年間収入－29年度調査との比較



(2) 世帯の年間収入－世帯類型（母子・父子世帯）別

世帯の年間収入は、両親世帯では「600～800 万円未満」、ひとり親世帯では、「100～200 万円未満」の割合が最も高い

世帯の年間収入を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯では「600～800 万円未満」の割合が 19.4%で最も高くなっている。ひとり親世帯では「100～200 万円未満」の割合が 18.8%で最も高くなっている。（表 I-1-6）

表 I-1-6 世帯の年間収入－世帯類型（母子・父子世帯）別

	総 数	収 入 な し	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 万 円 未 満	4 0 0 万 円 未 満	5 0 0 万 円 未 満	6 0 0 万 円 未 満	8 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	無 回 答
総数	100.0 (3,013)	0.7	1.4	3.4	3.7	6.4	7.1	9.5	17.9	16.8	12.7	8.8	9.6	2.3	
両親世帯	100.0 (2,565)	0.3	0.5	0.7	1.2	4.6	6.9	9.8	19.4	18.9	14.5	10.0	11.1	2.1	
ひとり親世帯	100.0 (448)	2.9	6.5	18.8	17.4	16.7	8.3	7.6	8.9	4.5	2.5	1.8	0.9	3.3	
母子世帯	100.0 (410)	3.2	6.8	20.5	18.3	16.6	8.3	7.3	7.8	3.7	2.2	1.0	0.7	3.7	
父子世帯	100.0 (38)	—	2.6	—	7.9	18.4	7.9	10.5	21.1	13.2	5.3	10.5	2.6	—	

(3) 世帯の年間収入－父母の従業上の地位別

正規の職員・従業員では、父母ともに「800～1,000万円未満」の割合が最も高く、約2割

世帯の年間収入を父母の従業上の地位別にみると、正規の職員・従業員では、父母ともに「800～1,000万円未満」の割合が最も高く、父が21.5%、母は19.4%となっている。

契約社員・嘱託では、父母ともに「600～800万円未満」の割合が最も高く、父が22.6%、母は23.8%となっている。(表I-1-7)

表I-1-7 世帯の年間収入－父母の従業上の地位別

父		総 数	収 入 な し	1 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	3 2 0 0 万 円 未 満	4 3 0 0 万 円 未 満	5 4 0 0 万 円 未 満	6 5 0 0 万 円 未 満	8 6 0 0 万 円 未 満	1 8 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 1 5 2 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 以 上	無 回 答
総数		100.0 (2,603)	0.3	0.5	0.7	1.3	4.8	6.9	9.8	19.4	18.9	14.3	10.0	10.9	2.1
就業		100.0 (2,397)	0.2	0.4	0.8	1.3	4.9	6.8	9.5	19.4	19.4	14.7	10.0	11.0	1.8
自営業	100.0 (272)	0.4	1.8	3.3	2.6	9.6	9.6	12.1	19.5	10.7	8.1	6.6	12.1	3.7	
正規の職員・従業員	100.0 (1,813)	0.1	0.2	0.2	0.7	3.9	5.8	9.4	19.6	21.5	16.0	11.0	10.0	1.5	
会社・団体等の役員	100.0 (154)	0.6	－	1.3	1.9	1.9	7.8	8.4	14.9	14.9	12.3	11.0	24.0	0.6	
パート・アルバイト	100.0 (15)	－	－	26.7	13.3	26.7	20.0	－	6.7	－	－	－	6.7	－	
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (5)	－	－	－	－	－	60.0	20.0	20.0	－	－	－	－	－	
契約社員・嘱託	100.0 (31)	－	3.2	－	12.9	19.4	3.2	9.7	22.6	12.9	6.5	3.2	6.5	－	
非就業		100.0 (20)	－	10.0	5.0	－	20.0	10.0	5.0	25.0	10.0	－	10.0	5.0	－

母		総 数	収 入 な し	1 0 0 万 円 未 満	2 1 0 0 万 円 未 満	3 2 0 0 万 円 未 満	4 3 0 0 万 円 未 満	5 4 0 0 万 円 未 満	6 5 0 0 万 円 未 満	8 6 0 0 万 円 未 満	1 8 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 1 5 2 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 以 上	無 回 答
総数		100.0 (2,975)	0.7	1.4	3.5	3.6	6.3	7.1	9.4	17.8	16.8	12.8	8.7	9.6	2.3
就業		100.0 (2,229)	0.4	1.3	4.1	4.0	6.6	6.9	8.5	17.2	16.7	13.1	9.2	9.8	2.2
自営業	100.0 (155)	－	3.9	3.9	4.5	7.1	6.5	6.5	16.1	12.3	14.2	7.1	13.5	4.5	
正規の職員・従業員	100.0 (1,066)	0.5	－	1.5	2.0	5.2	4.9	6.3	15.8	19.4	15.5	13.2	14.1	1.8	
会社・団体等の役員	100.0 (42)	－	－	－	－	7.1	4.8	9.5	4.8	19.0	14.3	9.5	23.8	7.1	
パート・アルバイト	100.0 (666)	0.3	3.3	8.7	6.2	8.7	10.4	12.3	19.5	12.3	8.4	4.1	3.9	2.0	
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (67)	－	－	1.5	11.9	6.0	6.0	6.0	13.4	25.4	9.0	13.4	4.5	3.0	
契約社員・嘱託	100.0 (84)	－	－	4.8	7.1	7.1	6.0	8.3	23.8	15.5	14.3	8.3	2.4	2.4	
非就業		100.0 (595)	2.0	1.7	1.5	2.7	6.1	8.2	13.6	19.2	15.5	11.3	7.1	9.1	2.2

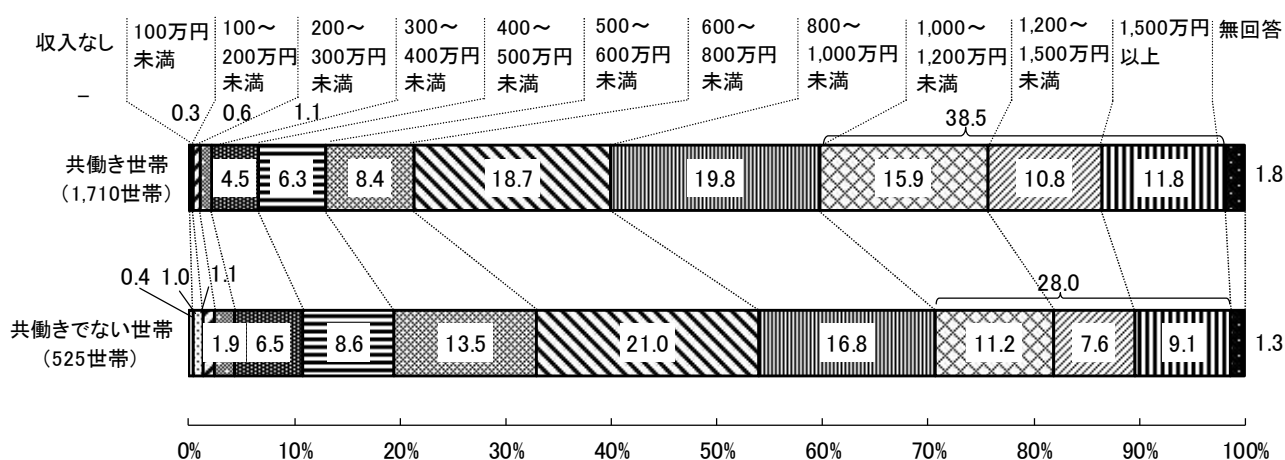
(4) 世帯の年間収入－共働きの状況別

年間収入が「1,000万円以上」の世帯は、共働き世帯では約4割

世帯の年間収入を共働きの状況別にみると、共働き世帯は「800～1,000万円未満」の割合が最も高く19.8%、共働きでない世帯は「600～800万円未満」の割合が最も高く21.0%となっている。

「1,000～1,200万円未満」、「1,200～1,500万円未満」、「1,500万円以上」を合わせた「1,000万円以上」の世帯は、共働き世帯が38.5%、共働きでない世帯が28.0%となっている。(図I-1-22)

図I-1-22 世帯の年間収入－共働きの状況別



(注) 両親世帯2,565世帯から、共働きかどうか不明な世帯330世帯を除いた、2,235世帯について集計した。

(5) 主な世帯収入の種類―世帯類型（母子・父子世帯）別

両親世帯、ひとり親世帯ともに「賃金・給料」の割合が最も高い

主な世帯収入の種類は、「賃金・給料」の割合が最も高く、91.1%となっている。

主な世帯収入の種類を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯、ひとり親世帯ともに、「賃金・給料」の割合が最も高く、それぞれ93.5%、77.5%となっている。（表 I-1-8）

表 I-1-8 主な世帯収入の種類―世帯類型（母子・父子世帯）別

	総 数	賃 金 ・ 給 料	事 業 所 得	利 子 ・ 家 賃 ・ 配 当 ・ 地 代 ・	仕 送 り	養 育 費 ・ 慰 謝 料	年 金 ・ 恩 給	生 活 保 護	給 付 金 ・ 其 他 の 社 会 保 障	雇 用 保 険	其 他 の 収 入	無 回 答
総数	100.0 (3,013)	<u>91.1</u>	4.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	0.3	0.2	0.3	1.5
両親世帯	100.0 (2,565)	<u>93.5</u>	4.4	0.2	0.2	0.1	0.0	—	0.2	0.2	0.2	1.0
ひとり親世帯	100.0 (448)	<u>77.5</u>	3.8	0.9	1.1	2.7	2.9	4.0	1.3	0.7	1.1	4.0
母子世帯	100.0 (410)	75.9	3.9	1.0	1.2	2.9	3.2	4.4	1.5	0.7	1.0	4.4
父子世帯	100.0 (38)	94.7	2.6	—	—	—	—	—	—	—	2.6	—

第2章 就学前の子供がいる世帯

就学前の子供がいる世帯 1,515 世帯の、就学前の子供 1,939 人の状況について述べる。

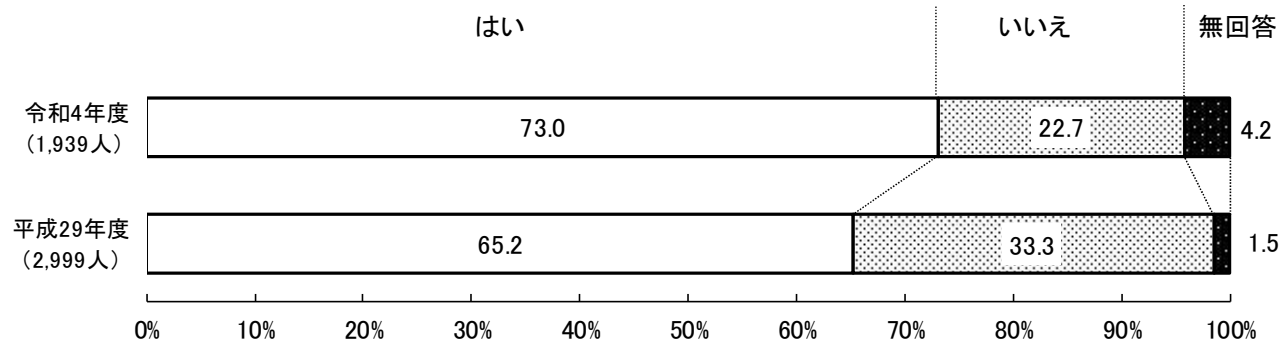
1 就学前の子供の日中の世話

(1) 就学前の子供の日中の世話－29 年度調査との比較

就学前の子供を平日の日中預けている割合は 7 割超

就学前の子供（1,939 人）について、平日の日中、通園させたり預けたりしているか聞いたところ、「はい」の割合は 73.0%で、29 年度調査（65.2%）から 7.8 ポイント増加している。
（図 I-2-1）

図 I-2-1 就学前の子供の日中の世話－29 年度調査との比較

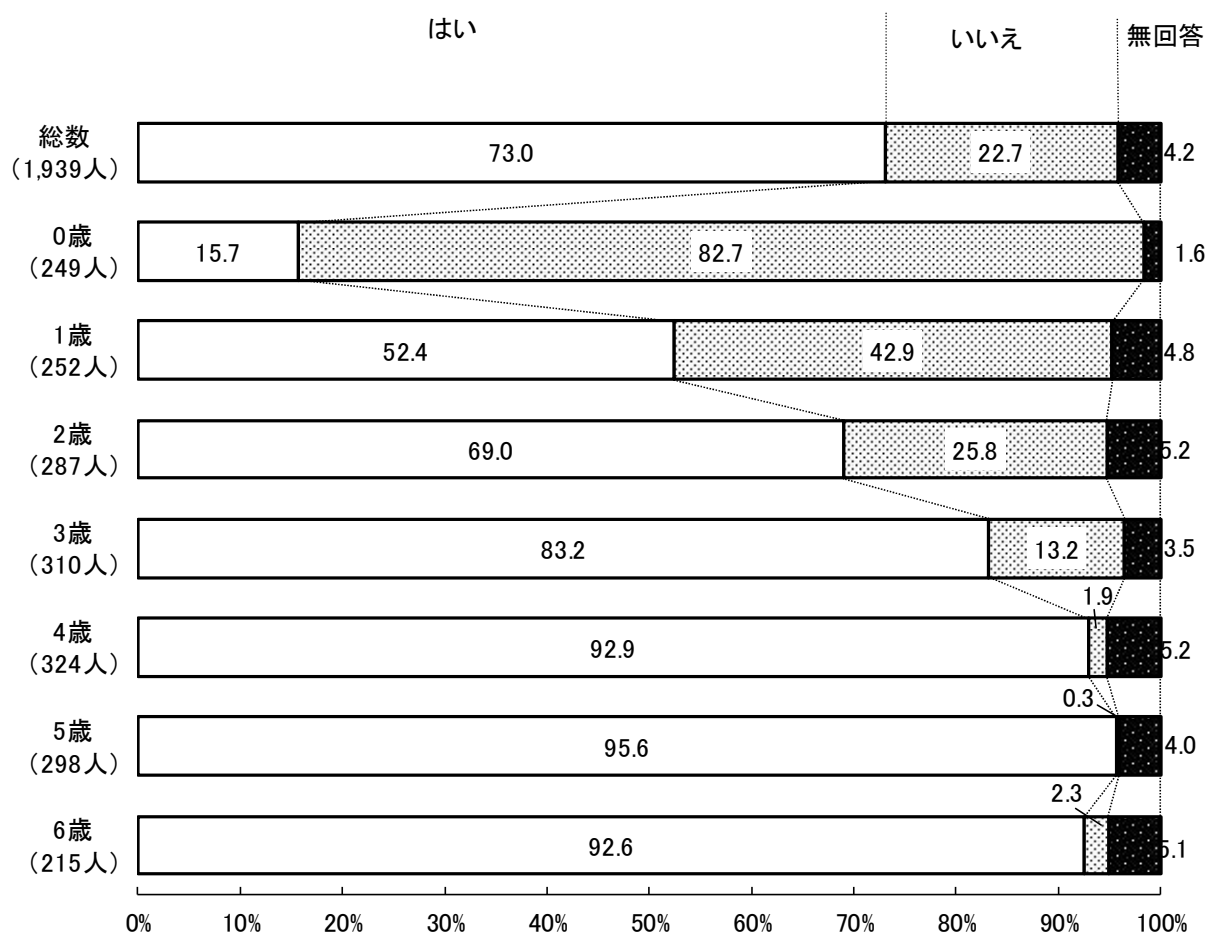


(2) 就学前の子供の日中の世話－子供の年齢別

就学前の子供を平日の日中預けている割合は、5歳では9割超

就学前の子供について、平日の日中、通園させたり預けたりしているかを子供の年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「はい」の割合が増えていき、5歳では95.6%となっている。
(図 I-2-2)

図 I-2-2 就学前の子供の日中の世話－子供の年齢別



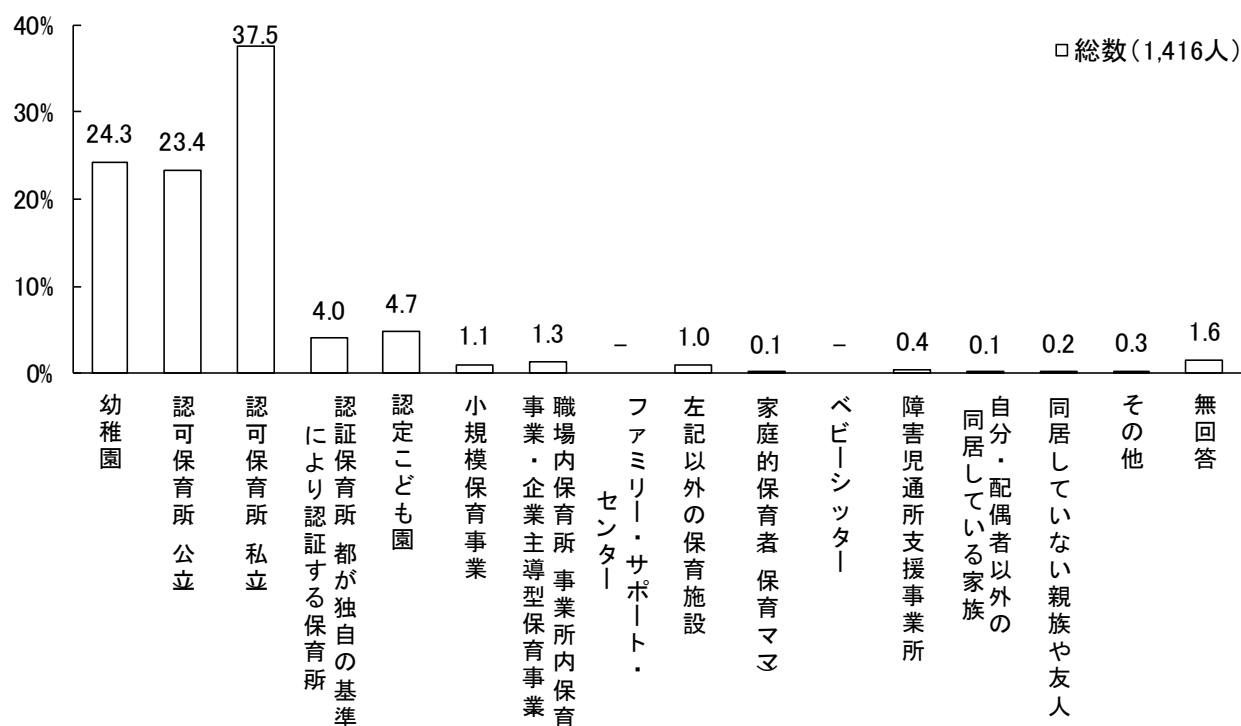
2 日中の子供の預け先（主なところ）

（1） 日中の子供の預け先（主なところ）

「認可保育所（私立）」の割合が最も高く、3割超

平日の日中、通園させたり預けたりしている子供（1,416人）の主な預け先について聞いたところ、「認可保育所（私立）」の割合が37.5%で最も高く、次いで「幼稚園」が24.3%、「認可保育所（公立）」が23.4%となっている。（図 I-2-3）

図 I-2-3 日中の子供の預け先（主なところ）



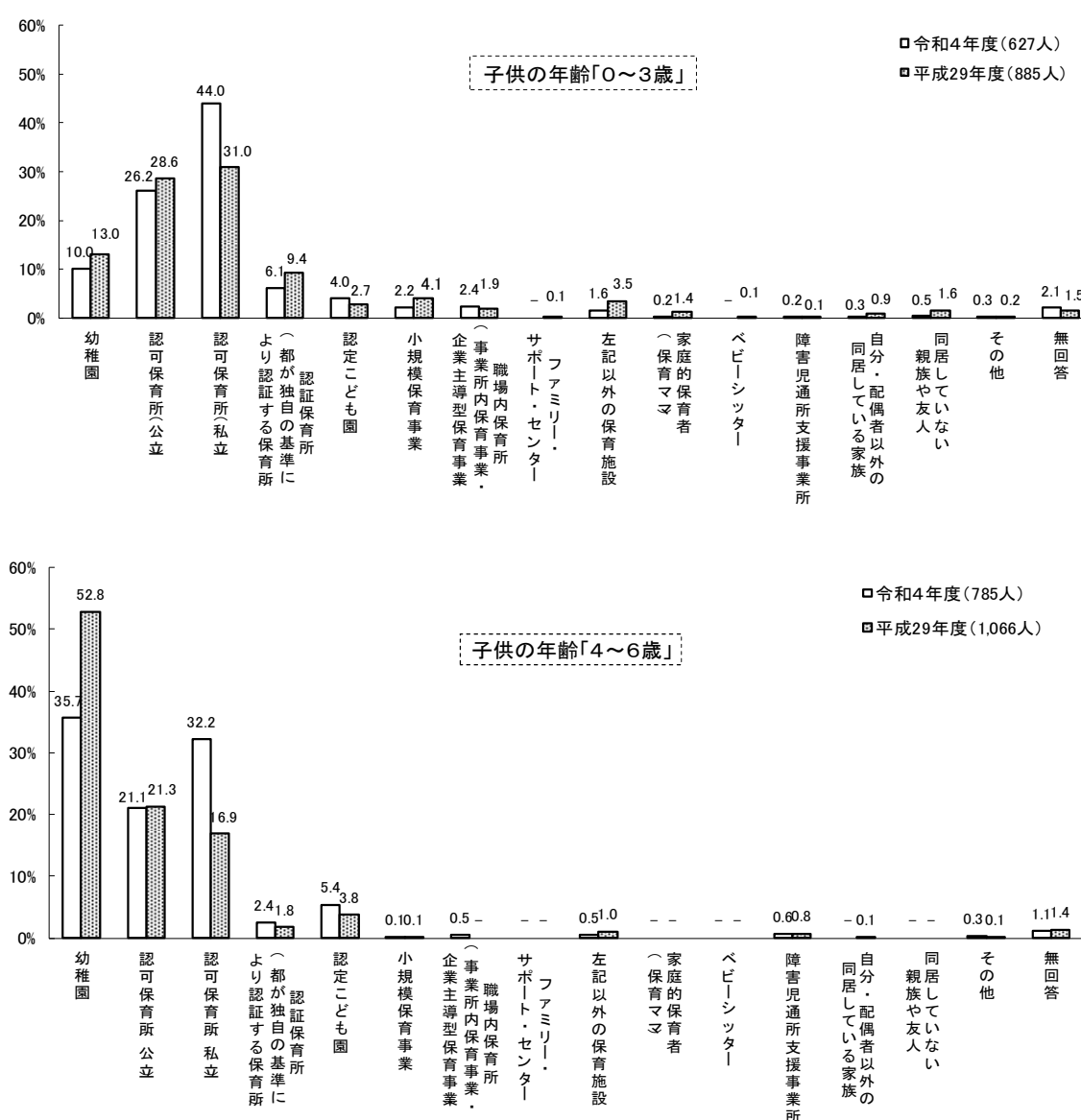
(2) 日中の子供の預け先（主なところ）－子供の年齢別、29 年度調査との比較

0～3 歳では「認可保育所（私立）」、4～6 歳では「幼稚園」の割合がそれぞれ最も高い

日中の子供の主な預け先を子供の年齢別にみると、子供の年齢が 0～3 歳では、「認可保育所（私立）」の割合が 44.0%で最も高く、次いで「認可保育所（公立）」の割合が 26.2%となっている。「認可保育所（私立）」の割合は、29 年度調査（31.0%）から 13.0 ポイント増加している。

また、子供の年齢が 4～6 歳では、「幼稚園」の割合が 35.7%で最も高いが、29 年度調査（52.8%）から 17.1 ポイント減少している。（図 I-2-4）

図 I-2-4 日中の子供の預け先（主なところ）－子供の年齢別、29 年度調査との比較



(注) 令和4年度の合計が1,416人（通園させたり預けたりしている子供の合計）にならないのは、年齢不明の子供が4人いるためである。同じく、29年度の合計が1,955人にならないのも、年齢不明の子供が4人いるためである。

(3) 日中の子供の預け先（主なところ）－両親の有無別

両親世帯では「幼稚園」、ひとり親世帯では「認可保育所（公立）」、「認可保育所（私立）」の割合が最も高い

日中の子供の主な預け先を両親の有無別にみると、両親世帯では、「認可保育所（私立）」の割合が38.0%で最も高く、次いで、「幼稚園」が24.9%、「認可保育所（公立）」が22.7%となっている。

ひとり親世帯では、「認可保育所（公立）」が42.3%で最も高く、「認可保育所（私立）」が25.0%、「認定こども園」が13.5%となっている。（表I-2-1）

表I-2-1 日中の子供の預け先（主なところ）－両親の有無別

	総数	幼稚園	認可保育所（公立）	認可保育所（私立）	認証保育所（都が独自の基準により認証する保育所）	認定こども園	小規模保育事業	職場内保育所（事業所内保育事業・企業主導型保育事業）	ファミリー・センター	左記以外の保育施設	家庭的保育者（保育ママ）	ベビーシッター	障害児通所支援事業所	自分・配偶者以外の同居している家族	同居していない親族や友人	その他	無回答
総数	100.0 (1,416)	24.3	23.4	37.5	4.0	4.7	1.1	1.3	0.0	1.0	0.1	0.0	0.4	0.1	0.2	0.3	1.6
両親世帯	100.0 (1,364)	<u>24.9</u>	<u>22.7</u>	<u>38.0</u>	4.0	4.4	1.1	1.3	0.0	1.0	0.1	0.0	0.4	0.1	0.2	0.3	1.5
ひとり親世帯	100.0 (52)	9.6	<u>42.3</u>	<u>25.0</u>	3.8	<u>13.5</u>	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9

(4) 日中の子供の預け先（主なところ）－共働きの状況別

共働き世帯は、「認可保育所（公立）」、「認可保育所（私立）」を合わせた割合が約 7 割。
共働きでない世帯は、「幼稚園」の割合が約 8 割

日中の子供の主な預け先を共働きの状況別にみると、共働き世帯は、「認可保育所（私立）」の割合が 45.8%で最も高く、次いで「認可保育所（公立）」が 26.5%となっており、「認可保育所（公立）」、「認可保育所（私立）」を合わせた割合は 72.2%となっている。

共働きでない世帯は、「幼稚園」の割合が 78.0%で最も高くなっている。（表 I-2-2）

表 I-2-2 日中の子供の預け先（主なところ）－共働きの状況別

	総 数	幼 稚 園	認 可 保 育 所 （ 公 立 ）	認 可 保 育 所 （ 私 立 ）	認 証 保 育 所 （ 都 が 独 自 の 基 準 に よ り 認 証 す る 保 育 所 ）	認 定 こ ど も 園	小 規 模 保 育 事 業	職 場 内 保 育 所 （ 事 業 所 内 保 育 事 業 ・ 企 業 主 導 型 保 育 事 業 ）	サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	左 記 以 外 の 保 育 施 設	家 庭 的 保 育 者 （ 保 育 マ マ ）	ベ ビ ー シ ッ タ ー	障 害 児 通 所 支 援 事 業 所	自 分 ・ 配 偶 者 以 外 の 同 居 し て い る 家 族	同 居 し て い な い 親 族 や 友 人	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,364)	24.9	22.6	38.0	4.0	4.4	1.1	1.3	-	1.0	0.1	-	0.4	0.1	0.2	0.3	1.6
共働き世帯	100.0 (1,027)	12.9	<u>26.5</u>	<u>45.8</u>	4.7	4.4	1.1	1.7	-	1.0	0.1	-	0.2	0.1	0.3	0.2	1.3
				<u>72.2</u>													
共働きでない世帯	100.0 (209)	<u>78.0</u>	3.8	4.8	1.4	5.3	1.0	-	-	1.9	0.0	-	1.0	-	-	1.0	1.9

（注）総数は、平日の日中、通園させたり預けたりしている子供 1,416 人のうち、両親世帯の子供 1,364 人である。

(5) 日中の子供の預け先（主なところ）の保育開始時間

一日中の子供の預け先（主なところ）別

幼稚園、認証保育所、認定こども園では「午前9時～午前9時29分」の割合が、認可保育所（公立）、認可保育所（私立）では「午前8時～午前8時29分」の割合が最も高い

日中の子供の主な預け先の保育開始時間を聞いたところ、「午前9時～午前9時29分」の割合が37.4%で最も高く、次いで「午前8時～午前8時29分」が23.2%、「午前8時30分～午前8時59分」が20.3%となっている。

日中の子供の預け先（主なところ）別にみると、幼稚園、認証保育所（都が独自の基準により認証する保育所）、認定こども園は、いずれも「午前9時～午前9時29分」の割合が最も高くなっている（63.4%、47.4%、43.3%）。一方、認可保育所（公立）と認可保育所（私立）は、「午前8時～午前8時29分」の割合が最も高くなっている（30.8%、28.2%）。（表I-2-3）

表I-2-3 日中の子供の預け先（主なところ）の保育開始時間

一日中の子供の預け先（主なところ）別

	総 数	午 前 6 時 5 9 分 以 前	午 前 7 時 2 9 分	午 前 7 時 3 0 分	午 前 8 時 2 9 分	午 前 8 時 3 0 分	午 前 8 時 3 0 分	午 前 9 時 2 9 分	午 前 9 時 3 0 分	午 前 1 0 時 以 降	無 回 答
総数	100.0 (1,416)	-	2.3	10.2	<u>23.2</u>	<u>20.3</u>	<u>37.4</u>	3.5	1.3	1.8	
幼稚園	100.0 (344)	-	-	2.3	10.2	16.0	<u>63.4</u>	5.5	2.3	0.3	
認可保育所（公立）	100.0 (331)	-	3.6	9.4	<u>30.8</u>	26.6	26.3	1.2	0.3	1.8	
認可保育所（私立）	100.0 (531)	-	3.6	16.9	<u>28.2</u>	19.4	27.3	3.2	0.2	1.1	
認証保育所 （都が独自の基準により認証する保育所）	100.0 (57)	-	-	3.5	24.6	22.8	<u>47.4</u>	1.8	-	-	
認定こども園	100.0 (67)	-	-	10.4	20.9	23.9	<u>43.3</u>	1.5	-	-	
小規模保育事業	100.0 (15)	-	-	6.7	13.3	13.3	40.0	6.7	13.3	6.7	
職場内保育所 （事業所内保育事業・企業主導型保育事業）	100.0 (19)	-	-	26.3	31.6	15.8	15.8	5.3	5.3	-	
ファミリー・サポート・センター	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上記以外の保育施設	100.0 (14)	-	-	-	7.1	28.6	42.9	21.4	-	-	
家庭的保育者（保育ママ）	100.0 (1)	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
ベビーシッター	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
障害児通所支援事業所	100.0 (6)	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	
自分・配偶者以外の同居している家族	100.0 (2)	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	
同居していない親族や友人	100.0 (3)	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	
その他	100.0 (4)	-	-	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0	
平成29年度調査	100.0 (1,955)	0.1	3.2	9.4	18.6	18.5	39.5	3.6	2.1	5.0	

(6) 日中の子供の預け先（主なところ）の保育終了時間

一日中の子供の預け先（主なところ）別

幼稚園では「午後 2 時～午後 2 時 59 分」の割合が、認可保育所（公立）、認証保育所では「午後 5 時～午後 5 時 59 分」の割合が、認可保育所（私立）では「午後 6 時～午後 6 時 59 分」の割合が最も高い

日中の子供の主な預け先の保育終了時間を聞いたところ、「午後 5 時～午後 5 時 59 分」の割合が 29.3%で最も高くなっており、次いで「午後 6 時～午後 6 時 59 分」の割合が 29.0%となっている。

日中の子供の預け先（主なところ）別にみると、幼稚園では「午後 2 時～午後 2 時 59 分」の割合が 62.5%で最も高くなっている。一方で、認可保育所（公立）及び認証保育所では「午後 5 時～午後 5 時 59 分」の割合が最も高く（42.0%、57.9%）、認可保育所（私立）は「午後 6 時～午後 6 時 59 分」の割合が 42.0%で最も高くなっている。（表 I-2-4）

表 I-2-4 日中の子供の預け先（主なところ）の保育終了時間

一日中の子供の預け先（主なところ）別

	総 数	午 後 1 時 5 9 分 以 前	午 後 2 時 5 9 分	午 後 3 時 5 9 分	午 後 4 時 5 9 分	午 後 5 時 5 9 分	午 後 6 時 5 9 分	午 後 7 時 5 9 分	午 後 8 時 5 9 分	午 後 9 時 5 9 分	午 後 1 0 時 以 降	無 回 答
総数	100.0 (1,416)	4.0	17.0	3.0	11.5	29.3	29.0	4.0	0.1	-	-	2.1
幼稚園	100.0 (344)	12.2	62.5	10.2	6.4	4.1	3.2	0.3	-	-	-	1.2
認可保育所（公立）	100.0 (331)	-	0.3	-	13.0	42.0	38.4	4.5	-	-	-	1.8
認可保育所（私立）	100.0 (531)	0.2	0.6	0.9	13.2	36.0	42.0	5.8	0.2	-	-	1.1
認証保育所 （都が独自の基準により認証する保育所）	100.0 (57)	-	-	1.8	10.5	57.9	22.8	7.0	-	-	-	-
認定こども園	100.0 (67)	4.5	20.9	1.5	16.4	23.9	25.4	7.5	-	-	-	-
小規模保育事業	100.0 (15)	6.7	13.3	-	20.0	40.0	13.3	-	-	-	-	6.7
職場内保育所 （事業所内保育事業・企業主導型保育事業）	100.0 (19)	-	-	-	5.3	47.4	42.1	5.3	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	- (0)											
上記以外の保育施設	100.0 (14)	35.7	14.3	-	21.4	21.4	7.1	-	-	-	-	-
家庭的保育者（保育ママ）	100.0 (1)	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	- (0)											
障害児通所支援事業所	100.0 (6)	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-
自分・配偶者以外の同居している家族	100.0 (2)	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0
同居していない親族や友人	100.0 (3)	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7
その他	100.0 (4)	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0
平成29年度調査	100.0 (1,955)	4.8	25.8	4.6	8.8	21.0	24.4	4.3	0.4	0.1	0.3	5.5

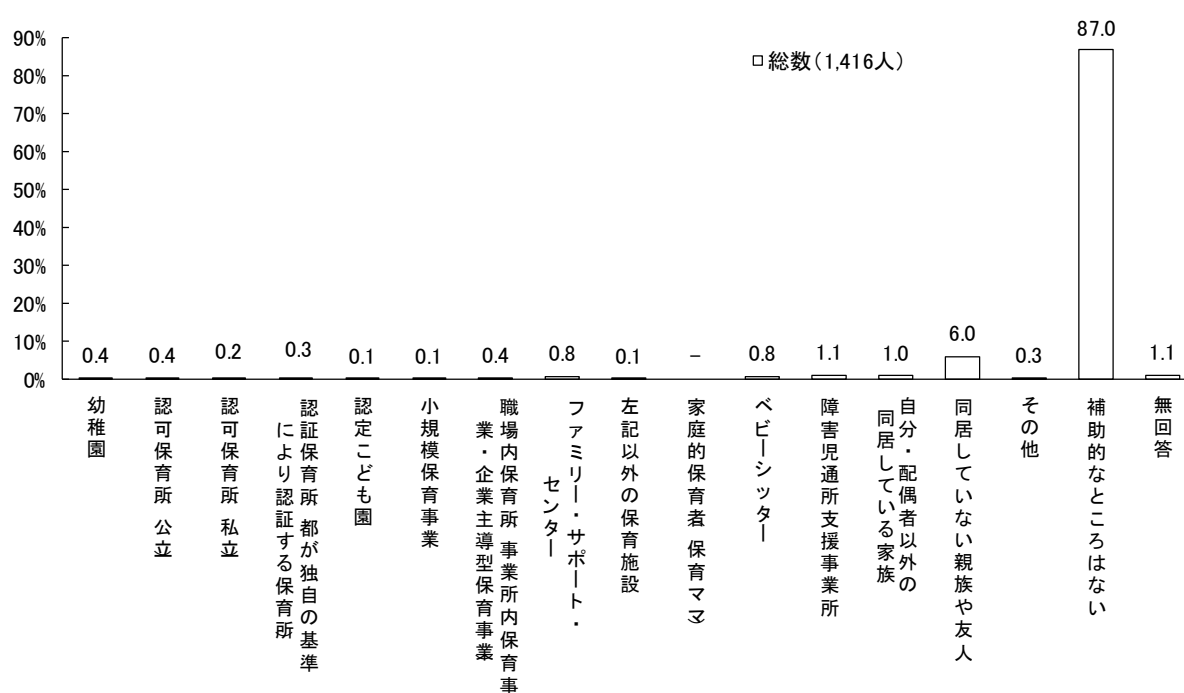
3 日中の子供の預け先（補助的なところ）

「補助的なところはない」の割合が最も高いが、補助的なところがある人の預け先は、「同居していない親族や友人」の割合が最も高い

平日の日中、通園させたり預けたりしている子供（1,416人）の補助的な預け先について聞いたところ、「補助的なところはない」の割合が87.0%となっている。

補助的なところがある人の預け先は、「同居していない親族や友人」の割合が6.0%で最も高く、次いで「障害児通所支援事業所」が1.1%となっている。（図 I-2-5）

図 I-2-5 日中の子供の預け先（補助的なところ）



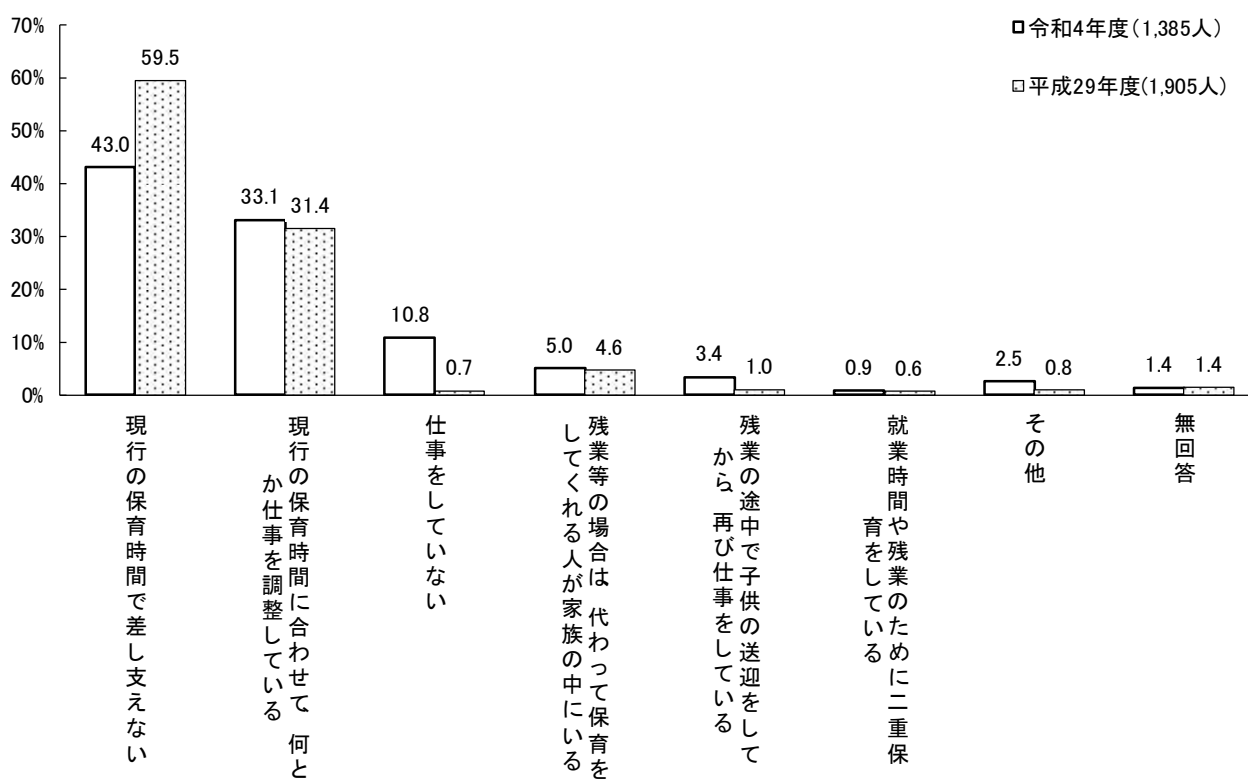
4 保育時間と勤務時間の関係

(1) 保育時間と勤務時間の関係－29 年度調査との比較

「現行の保育時間で差し支えない」の割合が4割超

平日の日中の預け先が、「自分・配偶者以外の同居している家族」、「同居していない親族や友人」、「その他」、「無回答」以外である子供（1,385 人）について、保育時間と勤務時間の関係を聞いたところ、「現行の保育時間で差し支えない」の割合が 43.0%で最も高く、次いで、「現行の保育時間に合わせて、何とか仕事を調整している」は 33.1%となっている。（図 I-2-6）

図 I-2-6 保育時間と勤務時間の関係－29 年度調査との比較

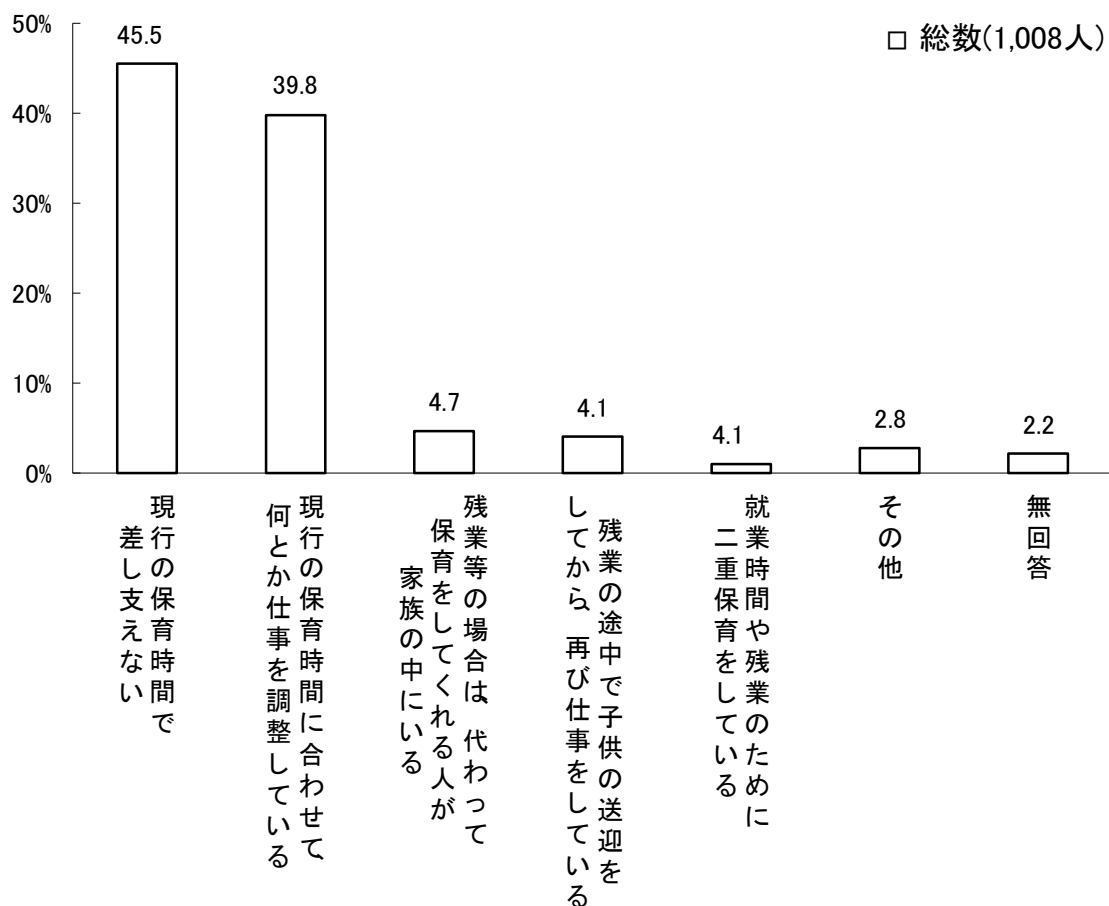


(2) 保育時間と勤務時間の関係（共働き世帯）

共働き世帯では、「現行の保育時間で差し支えない」が4割超

共働き世帯では、「現行の保育時間で差し支えない」の割合が45.5%、「現行の保育時間に合わせて、何とか仕事を調整している」の割合が39.8%となっている。（図 I-2-7）

図 I-2-7 保育時間と勤務時間の関係（共働き世帯）



（注）平日の日中の預け先が、「自分・配偶者以外の同居している家族」、「同居していない親族や友人」、「その他」、「無回答」以外である子供1,385人から、ひとり親世帯の子供50人と、共働きでない世帯の子供203人、両親世帯であるが共働きかどうか不明な世帯の子供124人を除いた1,008人について集計した。

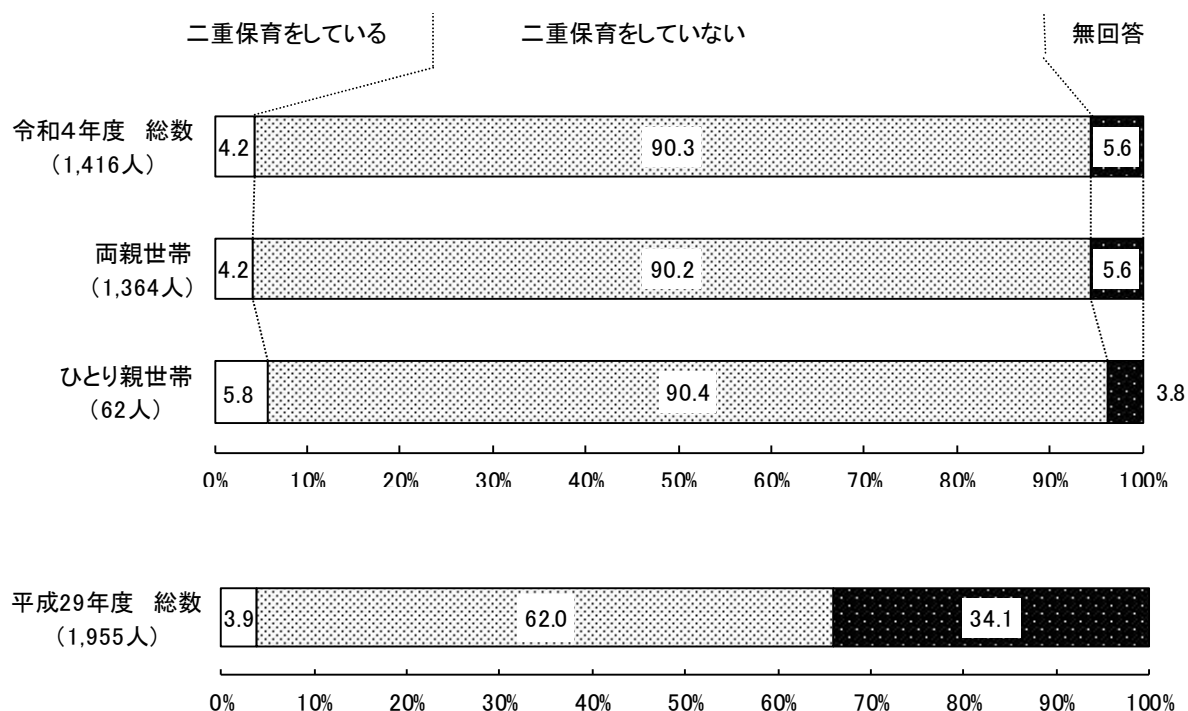
5 二重保育－両親の有無別

二重保育をしている子供の割合は1割未満

平日の日中、通園させたり預けたりしている子供（1,416人）について、主な預け先を利用した前後に、補助的な預け先を利用する、二重保育の有無を聞いたところ、「二重保育をしている」割合は、4.2%となっている。

また、両親の有無別にみると、「二重保育をしている」割合は両親世帯が4.2%、ひとり親世帯は5.8%となっている。（図I-2-8）

図I-2-8 二重保育－両親の有無別



(注)「日中子供を通園させたり、預けたりしている」と答えた世帯の子供1,416人について、①日中の主な預け先と補助的な預け先にそれぞれ預けている時間から、二重保育をしていると見受けられる子供と、②「保育時間と勤務時間との関係」で「二重保育をしている」と答えた子供を合わせて「二重保育をしている」として集計した。

6 子供を預けていて不満に思うこと

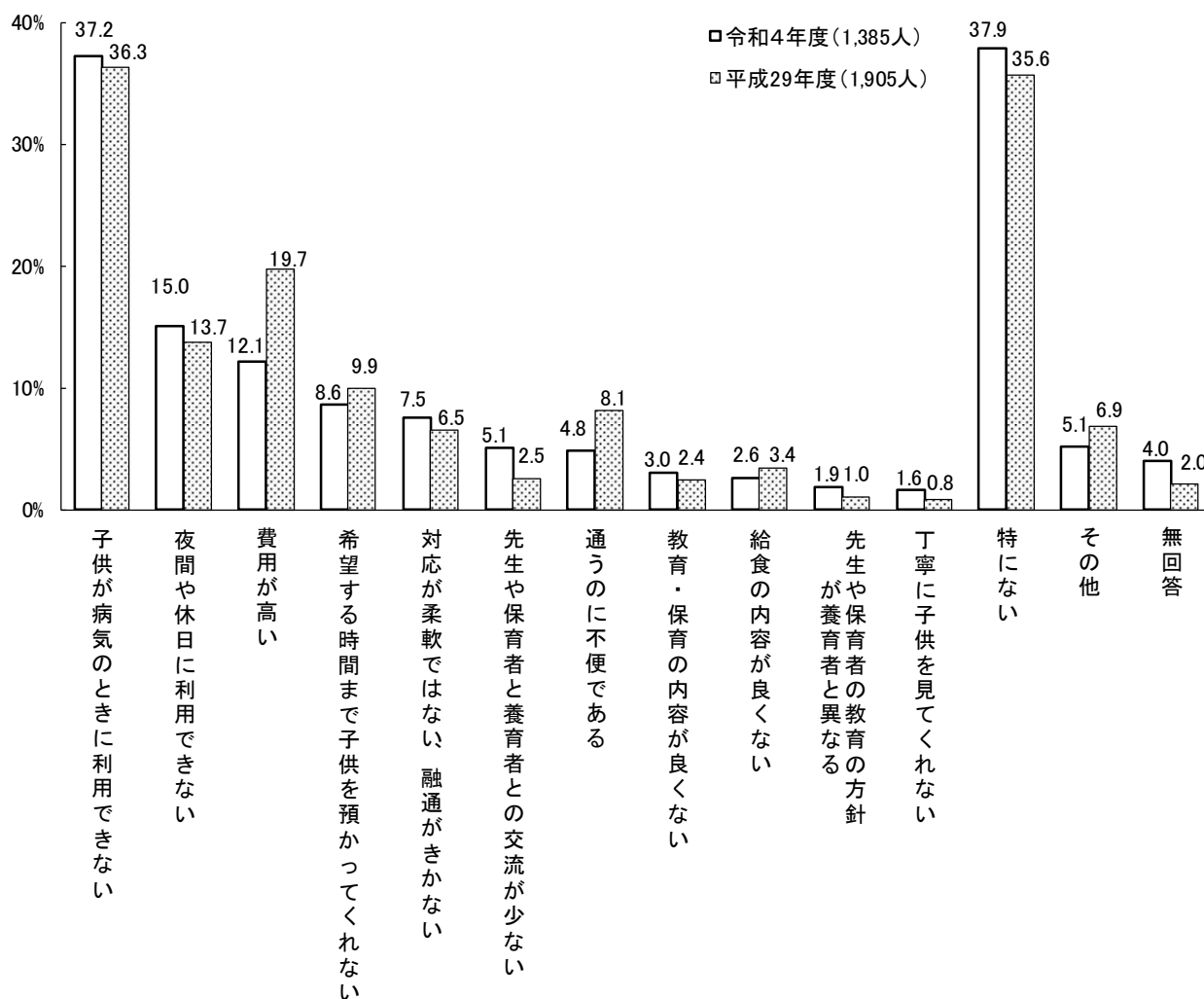
(1) 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕－29 年度調査との比較

「特に無い」の割合が最も高く、3 割超

平日の日中の預け先が、「自分・配偶者以外の同居している家族」、「同居していない親族や友人」、「その他」、「無回答」以外である子供（1,385 人）について、子供の預け先に関して困ることや不満に思うことを聞いたところ、「特にない」の割合が 37.9% で最も高くなっている。

「特にない」を除くと、「子供が病気のときに利用できない」の割合が 37.2% で最も高くなっている。（図 I-2-9）

図 I-2-9 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕－29 年度調査との比較



(2) 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕－両親の有無別

両親世帯は「特にない」の割合が最も高く、ひとり親世帯は「子供が病気のときに利用できない」の割合が最も高い

子供の預け先に関して困ることや不満に思うことを両親の有無別にみると、両親世帯は「特にない」の割合が 38.1%と最も高く、次いで子供が病気のときに利用できない」が 36.9%、「夜間や休日に利用できない」が 14.8%となっている。ひとり親世帯は「子供が病気のときに利用できない」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 34.0%、「夜間や休日に利用できない」の割合が 20.0%となっている。(表 I-2-5)

表 I-2-5 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕－両親の有無別

	総数	希望する時間まで子供を預かってくれない	夜間や休日に利用できない	子供が病気のときに利用できない	教育・保育の内容が良くない	費用が高い	対応が柔軟ではない、融通がきかない	先生や保育者の教育の方針が養育者と異なる	先生や保育者と養育者との交流が少ない	給食の内容が良くない	丁寧な子供を見てくれない	通うのに不便である	その他	特にない	無回答
総数	100.0 (1,385)	8.6	15.0	37.2	3.0	12.1	7.5	1.9	5.1	2.6	1.6	4.8	5.1	37.9	4.0
両親世帯	100.0 (1,335)	8.6	<u>14.8</u>	<u>36.9</u>	3.1	12.1	7.4	1.8	5.2	2.5	1.6	4.9	5.3	<u>38.1</u>	3.9
ひとり親世帯	100.0 (50)	8.0	<u>20.0</u>	<u>46.0</u>	-	14.0	10.0	4.0	-	6.0	2.0	4.0	-	<u>34.0</u>	6.0

(3) 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕一日中の子供の預け先（主なところ）別

幼稚園では「特にない」、認可保育所では「子供が病気のときに利用できない」の割合が最も高い

子供の預け先に関して困ることや不満に思うことを、日中の子供の主な預け先別にみると、幼稚園では「特にない」の割合が43.3%と最も高く、次いで「子供が病気のときに利用できない」が20.6%、「費用が高い」が16.9%となっている。

認可保育所（公立）及び認可保育所（私立）では、「子供が病気のときに利用できない」の割合が最も高く（42.0%、46.9%）次いで、「特にない」（38.4%、35.4%）、「夜間や休日に利用できない」（18.7%、16.8%）となっている。（表 I-2-6）

表 I-2-6 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕

一日中の子供の預け先（主なところ）別

	総 数	を 預 か っ て く れ な い	希 望 す る 時 間 ま で 子 供	夜 間 や 休 日 に 利 用 で き な い	子 供 が 病 気 の と き に 利 用 で き な い	良 く な い 教 育 ・ 保 育 の 内 容 が	費 用 が 高 い	融 通 が き か な い	対 応 が 柔 軟 で は な い、	方 針 が 養 育 者 と 異 な る	先 生 や 保 育 者 と 養 育 者 の 交 流 が 少 な い	給 食 の 内 容 が 良 く な い	不 満 に 子 供 を 見 て く れ な い	通 う の に 不 便 で あ る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (1,385)	8.6	15.0	37.2	3.0	12.1	7.5	1.9	5.1	2.6	1.6	4.8	5.1	37.9	4.0		
幼稚園	100.0 (344)	11.6	11.9	<u>20.6</u>	1.2	<u>16.9</u>	7.0	1.5	3.8	8.1	0.9	4.1	4.9	<u>43.3</u>	5.5		
認可保育所（公立）	100.0 (331)	12.7	<u>18.7</u>	<u>42.0</u>	1.8	6.0	6.9	2.7	4.2	0.6	1.2	5.7	4.5	<u>38.4</u>	1.8		
認可保育所（私立）	100.0 (531)	4.7	<u>16.8</u>	<u>46.9</u>	5.5	8.7	8.3	2.1	5.8	0.6	2.3	2.8	4.5	<u>35.4</u>	3.6		
認証保育所 （都が独自の基準により 認証する保育所）	100.0 (57)	-	1.8	40.4	-	28.1	1.8	-	3.5	1.8	-	8.8	5.3	43.9	1.8		
認定こども園	100.0 (67)	10.4	13.4	19.4	3.0	20.9	13.4	1.5	11.9	3.0	3.0	4.5	11.9	31.3	9.0		
小規模保育事業	100.0 (15)	6.7	20.0	53.3	-	20.0	13.3	-	6.7	-	-	33.3	6.7	13.3	-		
職場内保育所 （事業所内保育事業・ 企業主導型保育事業）	100.0 (19)	-	10.5	36.8	-	21.1	-	-	-	-	-	10.5	10.5	36.8	10.5		
ファミリー・サポート・センター	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
上記以外の保育施設	100.0 (14)	7.1	-	14.3	-	50.0	-	-	7.1	-	7.1	21.4	7.1	35.7	7.1		
家庭的保育者（保育ママ）	100.0 (1)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
ベビーシッター	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
障害児通所支援事業所	100.0 (6)	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7		
その他	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

7 認可保育所への入所希望

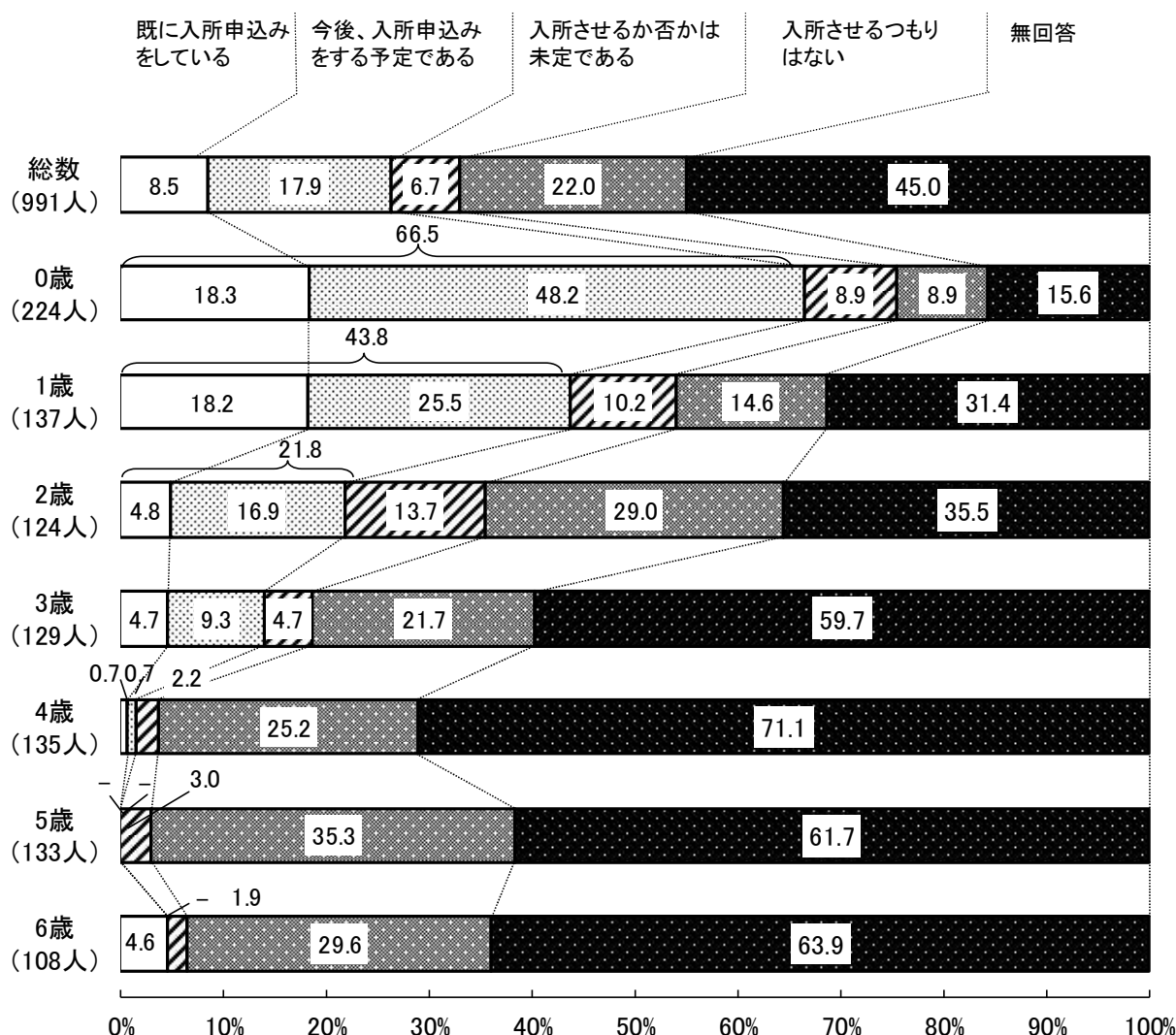
(1) 認可保育所への入所希望－子供の年齢別

0歳児の入所希望の割合は6割超

平日の日中の預け先が認可保育所以外である子供（991人）について、認可保育所への入所希望を聞いたところ、「既に入所申込みをしている」の割合は8.5%、「今後、入所申込みをする予定である」の割合は17.9%となっている。一方、「入所させるつもりはない」の割合は22.0%となっている。

また、認可保育所への入所希望を、子供の年齢別にみると、「既に入所申込みをしている」、「今後、入所申込みをする予定である」を合わせた割合は、0歳が66.5%で最も高く、次いで、1歳が43.8%、2歳が21.8%で、年齢が上がるにつれて低くなっている。（図I-2-10）

図I-2-10 認可保育所への入所希望－子供の年齢別



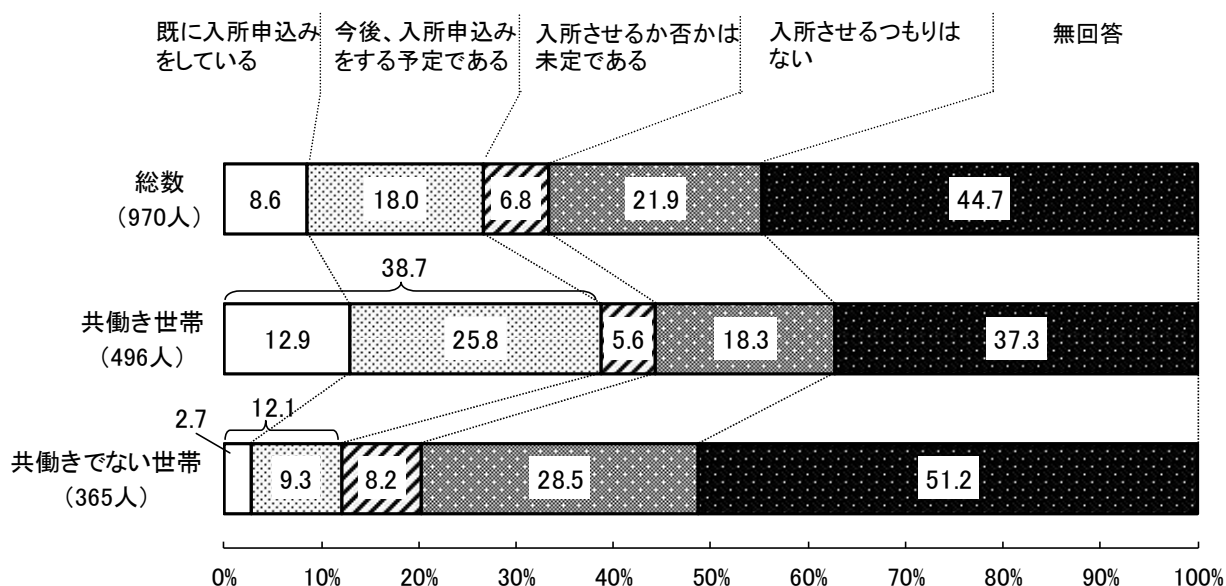
(2) 認可保育所への入所希望－共働きの状況別

認可保育所への入所希望は、共働き世帯が約 4 割、共働きでない世帯は約 1 割

認可保育所への入所希望を、共働きの状況別にみると、「既に入所申込みをしている」、「今後、入所申込みをする予定である」を合わせた割合は、共働き世帯が 38.7%、共働きでない世帯は 12.1%で、共働き世帯の方が 26.6 ポイント高くなっている。

また、「入所させるつもりはない」の割合は、共働き世帯は 18.3%で、共働きでない世帯は 28.5%となっている。(図 I-2-11)

図 I-2-11 認可保育所への入所希望－共働きの状況別



(注) 総数は、平日の日中の預け先が認可保育所以外である子供 991 人のうち、両親世帯の子供 970 人である。

8 子供の預け先を選ぶ際に重視すること

(1) 子供の預け先を選ぶ際に重視すること〔複数回答〕と、最も重視すること

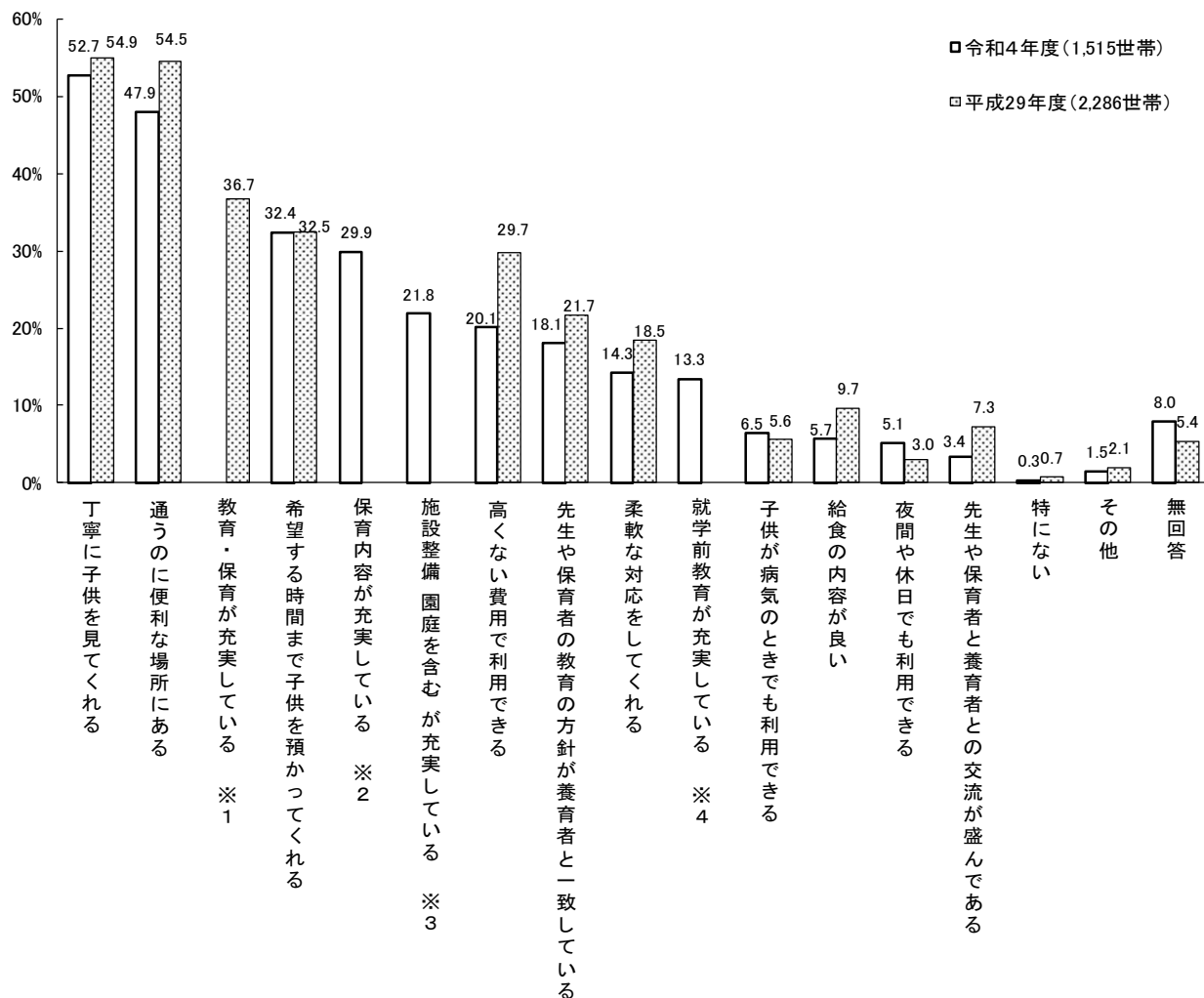
－29 年度調査との比較

子供の預け先を選ぶ際に最も重視することは「丁寧に子供を見てくれる」の割合が約 3 割

就学前の子供がいる 1,515 世帯に、子供の預け先を選ぶ際に重視することを聞いたところ、「丁寧に子供を見てくれる」の割合が 52.7%で最も高く、次いで「通うのに便利な場所にある」が 47.9%、「希望する時間まで預かってくれる」が 32.4%となっている。(図 I-2-12)

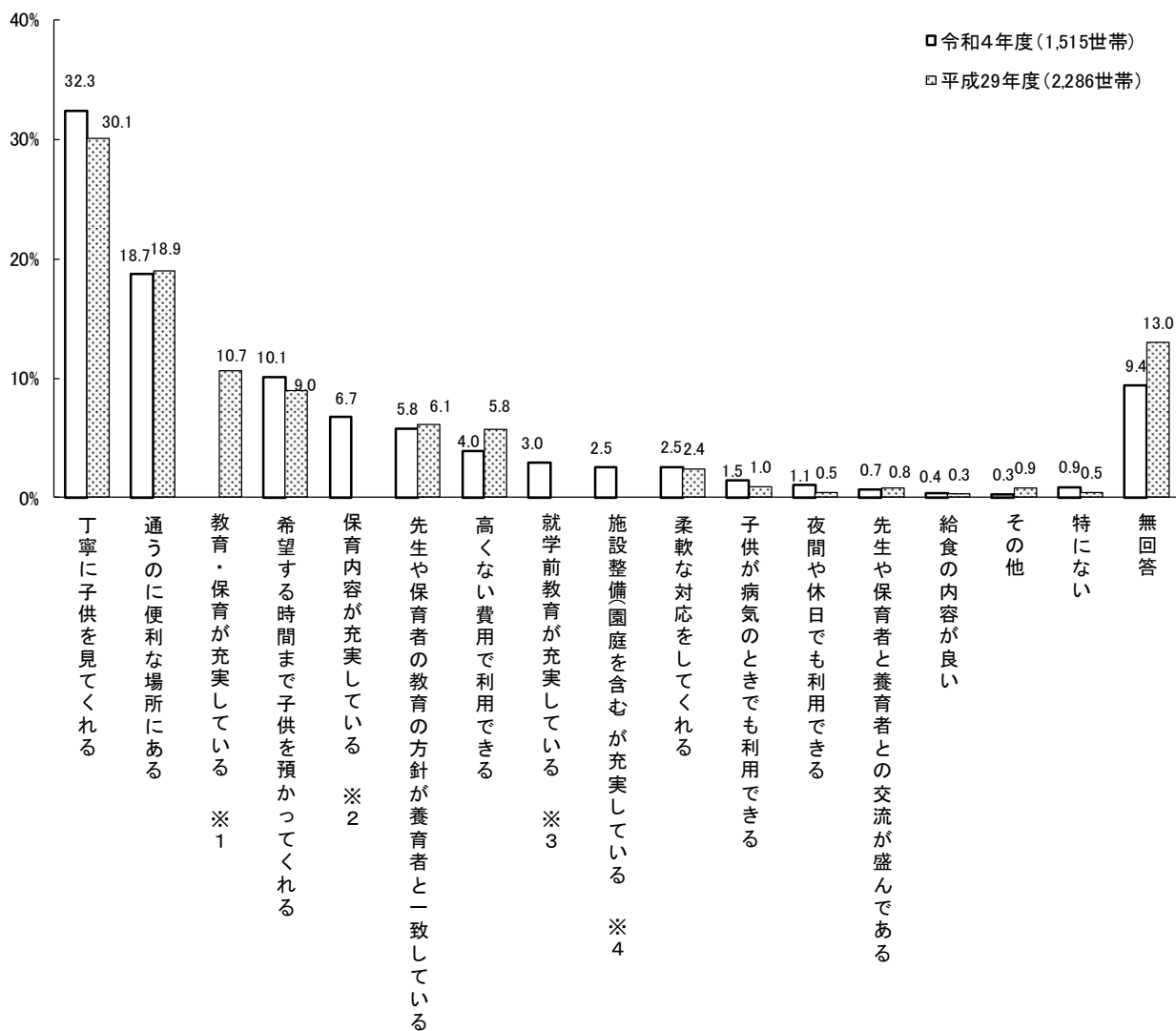
また、最も重視することは、「丁寧に子供を見てくれる」の割合が 32.3%で最も高く、次いで「通うのに便利な場所にある」が 18.7%、「希望する時間まで子供を預かってくれる」が 10.1%となっている。(図 I-2-13)

図 I-2-12 子供の預け先を選ぶ際に重視すること〔複数回答〕－29 年度調査との比較



(注) 平成 29 年度調査では※ 1 としていた選択肢について、令和 4 年度調査では※ 2、※ 3 及び※ 4 の選択肢に再構築して調査を実施したため、※ 1 の令和 4 年度データは存在せず、また、※ 2、※ 3 及び※ 4 については平成 29 年度のデータは存在しない。

図 I -2-13 子供の預け先を選ぶ際に最も重視すること－29 年度調査との比較



(注) 平成 29 年度調査では※1 としていた選択肢について、令和 4 年度調査では※2、※3 及び※4 の選択肢に再構築して調査を実施したため、※1 の令和 4 年度データは存在せず、また、※2、※3 及び※4 については平成 29 年度のデータは存在しない。

(2) 子供の預け先を選ぶ際に重視すること〔複数回答〕

一日中の子供の預け先（主なところ）別

幼稚園では「丁寧に子供を見てくれる」の割合が最も高く 5 割超、認可保育所（私立）では「通うのに便利な場所にある」の割合が最も高く約 6 割

平日の日中、通園させたり預けたりしている子供（1,416 人）の預け先を選ぶ際に重視することを、日中の子供の主な預け先別にみると、幼稚園と認可保育所（公立）では、「丁寧に子供を見てくれる」の割合が最も高く（58.7%、55.0%）、次いで「通うのに便利な場所にある」となっている（39.0%、53.8%）。認可保育所（私立）は、「通うのに便利な場所にある」の割合が 59.1%で最も高く、次いで「丁寧に子供を見てくれる」が 52.4%となっている。（表 I-2-7）

表 I-2-7 子供の預け先を選ぶ際に重視すること〔複数回答〕

一日中の子供の預け先（主なところ）別

	総 数	預 希 望 す る 時 間 ま で 子 供 を	夜 間 や 休 日 で も 利 用 で き る	子 供 が 病 気 の と き で も 利 用 で き る	就 学 前 教 育 が 充 実 し て い る	保 育 内 容 が 充 実 し て い る	施 設 整 備 （ 園 庭 を 含 む ） が 充 実 し て い る	高 く な い 費 用 で 利 用 で き る	柔 軟 な 対 応 を し て く れ る	先 生 や 保 育 者 の 教 育 の 方 針 が 養 育 者 と 一 致 し て い る	先 生 や 保 育 者 と の 交 流 が 盛 ん で あ る	給 食 の 内 容 が 良 い	丁 寧 に 子 供 を 見 て く れ る	通 う の に 便 利 な 場 所 に あ る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (1,416)	36.4	4.9	6.3	13.7	32.3	23.4	18.6	14.8	19.0	3.6	6.1	54.1	51.3	1.4	0.3	3.6
幼稚園	100.0 (344)	24.7	4.9	2.3	23.8	31.4	25.6	24.7	11.9	31.7	2.9	4.1	<u>58.7</u>	<u>39.0</u>	0.6	1.2	2.9
認可保育所（公立）	100.0 (331)	41.7	3.6	6.6	9.1	24.5	26.0	18.7	20.5	13.6	4.5	5.7	<u>55.0</u>	<u>53.8</u>	2.1	-	3.9
認可保育所（私立）	100.0 (531)	42.6	6.0	7.2	9.2	34.5	20.5	14.9	12.8	12.6	3.8	7.3	<u>52.4</u>	<u>59.1</u>	1.3	-	4.1
認証保育所 （都が独自の基準により認証する保育所）	100.0 (57)	35.1	-	10.5	10.5	49.1	14.0	14.0	19.3	31.6	1.8	10.5	54.4	49.1	-	-	-
認定こども園	100.0 (67)	32.8	6.0	9.0	25.4	40.3	25.4	17.9	9.0	16.4	3.0	7.5	47.8	55.2	-	-	1.5
小規模保育事業	100.0 (15)	40.0	6.7	20.0	26.7	20.0	13.3	26.7	26.7	6.7	6.7	6.7	20.0	46.7	13.3	-	6.7
職場内保育所 （事業所内保育事業・企業主導型保育事業）	100.0 (19)	15.8	-	5.3	-	36.8	26.3	21.1	26.3	26.3	-	-	63.2	47.4	-	-	10.5
ファミリー・サポート・センター	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上記以外の保育施設	100.0 (14)	35.7	-	-	-	71.4	21.4	7.1	21.4	28.6	-	7.1	71.4	35.7	-	-	-
家庭的保育者（保育ママ）	100.0 (1)	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	- (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害児通所支援事業所	100.0 (6)	-	-	-	-	33.3	50.0	33.3	-	50.0	16.7	-	50.0	16.7	-	-	16.7
自分・配偶者以外の同居している家族	100.0 (2)	50.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
同居していない親族や友人	100.0 (3)	66.7	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-
その他	100.0 (4)	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-

9 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由

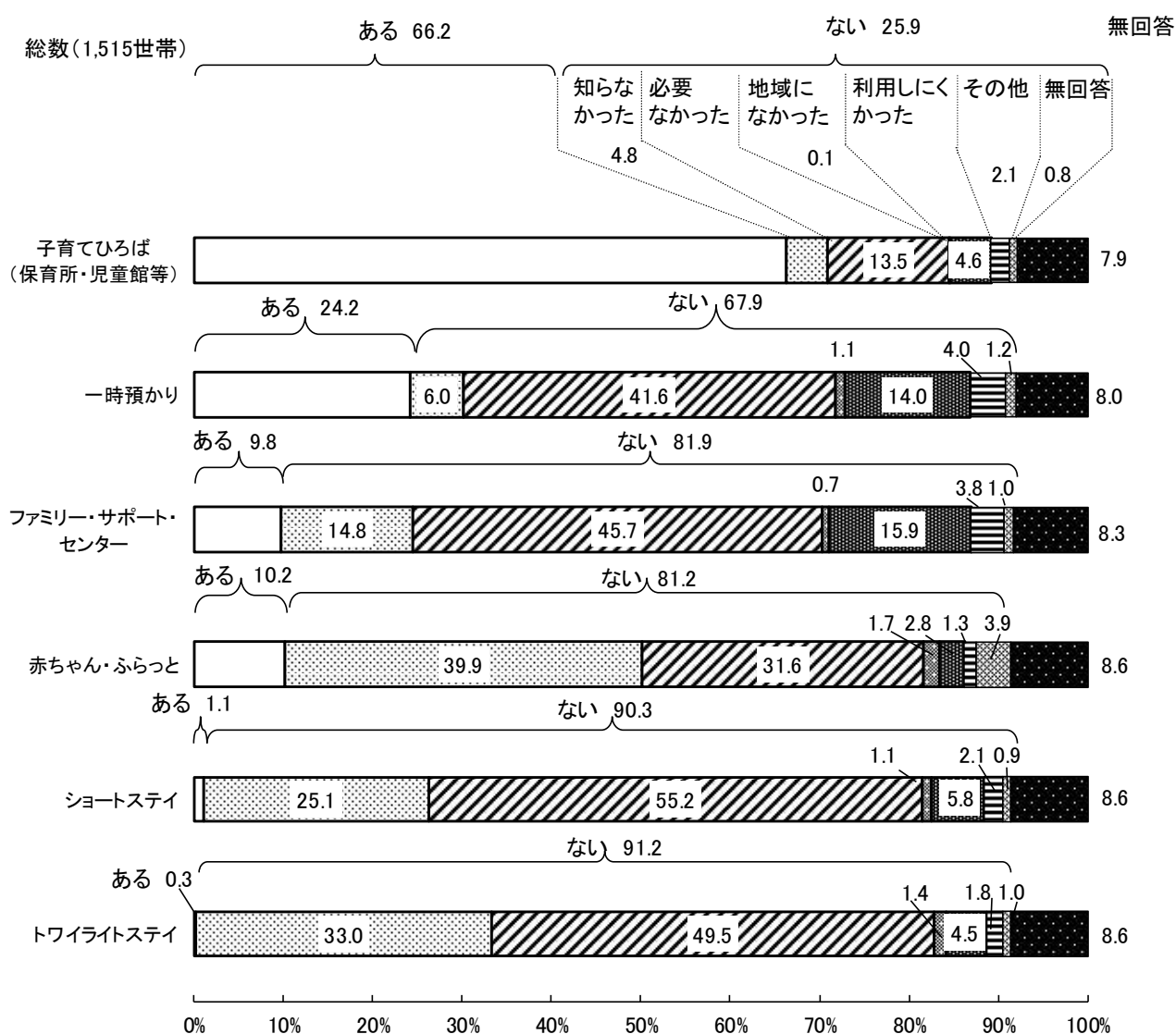
(1) 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由

「子育てひろば」を利用したことがある割合は6割超

就学前の子供がいる1,515世帯に、子育て支援サービスの利用の有無について聞いたところ、利用したことが「ある」の割合は、「子育てひろば（保育所・児童館等）」が66.2%で最も高くなっている。

「赤ちゃん・ふらっと」は、「利用したことがない」割合が81.2%で、理由は「知らなかったから」の割合が39.9%で最も高くなっている。（図I-2-14）

図I-2-14 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由



(2) 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由－両親の有無別

「子育てひろば（保育所・児童館等）」を「利用したことがある」割合は、両親世帯が6割超、ひとり親世帯は約6割

子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由を、両親の有無別にみると、「子育てひろば（保育所・児童館等）」を「利用したことがある」割合は、両親世帯が66.5%、ひとり親世帯は59.3%で、両親世帯が7.2ポイント高くなっている。

「ファミリー・サポート・センター」を「利用したことがある」割合は、ひとり親世帯が16.7%、両親世帯は9.5%で、ひとり親世帯が7.2ポイント高くなっている。（表I-2-8）

表I-2-8 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由－両親の有無別

		総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	地域になかったから	利用しにくかったから	その他	無回答	無回答
子育てひろば （保育所・児童館等）	総数	100.0 (1,515)	66.2	25.9	4.7	13.5	0.1	4.6	2.1	0.9	7.9
	両親世帯	100.0 (1,461)	66.5	25.9	4.7	13.6	0.1	4.5	2.1	0.9	7.6
	ひとり親世帯	100.0 (54)	59.3	24.1	3.7	11.1	－	5.6	3.7	－	16.7
一時預かり	総数	100.0 (1,515)	24.2	67.9	5.9	41.6	1.1	14.0	4.0	1.3	8.0
	両親世帯	100.0 (1,461)	24.2	68.2	6.0	42.0	1.2	13.9	3.9	1.3	7.6
	ひとり親世帯	100.0 (54)	24.1	57.4	3.7	31.5	－	16.7	5.6	－	18.5
ファミリー・サポート・センター	総数	100.0 (1,515)	9.8	81.9	14.7	45.7	0.7	15.8	3.8	1.1	8.3
	両親世帯	100.0 (1,461)	9.5	82.5	14.9	46.3	0.8	15.7	3.6	1.2	8.0
	ひとり親世帯	100.0 (54)	16.7	66.7	11.1	29.6	－	18.5	7.4	－	16.7
赤ちゃん・ふらっと	総数	100.0 (1,515)	10.2	81.2	39.8	31.5	1.7	2.8	1.3	4.1	8.6
	両親世帯	100.0 (1,461)	10.4	81.3	39.9	31.5	1.7	2.8	1.2	4.2	8.3
	ひとり親世帯	100.0 (54)	3.7	77.8	37.0	31.5	1.9	3.7	3.7	－	18.5
ショートステイ	総数	100.0 (1,515)	1.1	90.3	25.0	55.1	1.1	5.8	2.1	1.1	8.4
	両親世帯	100.0 (1,461)	1.1	90.7	25.3	55.4	1.2	5.6	2.1	1.2	8.2
	ひとり親世帯	100.0 (54)	1.9	79.6	18.5	46.3	－	11.1	3.7	－	18.5
トワイライトステイ	総数	100.0 (1,515)	0.3	91.2	32.9	49.4	1.4	4.5	1.8	1.2	8.6
	両親世帯	100.0 (1,461)	0.3	91.5	33.2	49.6	1.4	4.4	1.6	1.2	8.2
	ひとり親世帯	100.0 (54)	－	81.5	24.1	44.4	－	7.4	5.6	－	18.5

(3) 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由―多胎児がいる世帯別

多胎児がいる世帯の「ファミリー・サポート・センター」の利用割合は約2割

子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由を、多胎児がいる世帯別にみると、「ファミリー・サポート・センター」を「利用したことがある」の割合は、多胎児がいる世帯で20.0%、多胎児がいない世帯で9.6%となっている。

多胎児がいる世帯では、全ての子育て支援サービスにおいて、利用したことがない理由が「利用しにくかったから」の割合が、多胎児がいない世帯を上回っている（子育てひろば（保育所・児童館）10.0%、一時預かり25.0%、ファミリー・サポート・センター30.0%、赤ちゃん・ふらっと10.0%、ショートステイ10.0%、トワイライトステイ10.0%）。（表I-2-9）

表I-2-9 子育て支援サービスの利用の有無とサービスを利用しない理由

―多胎児がいる世帯別

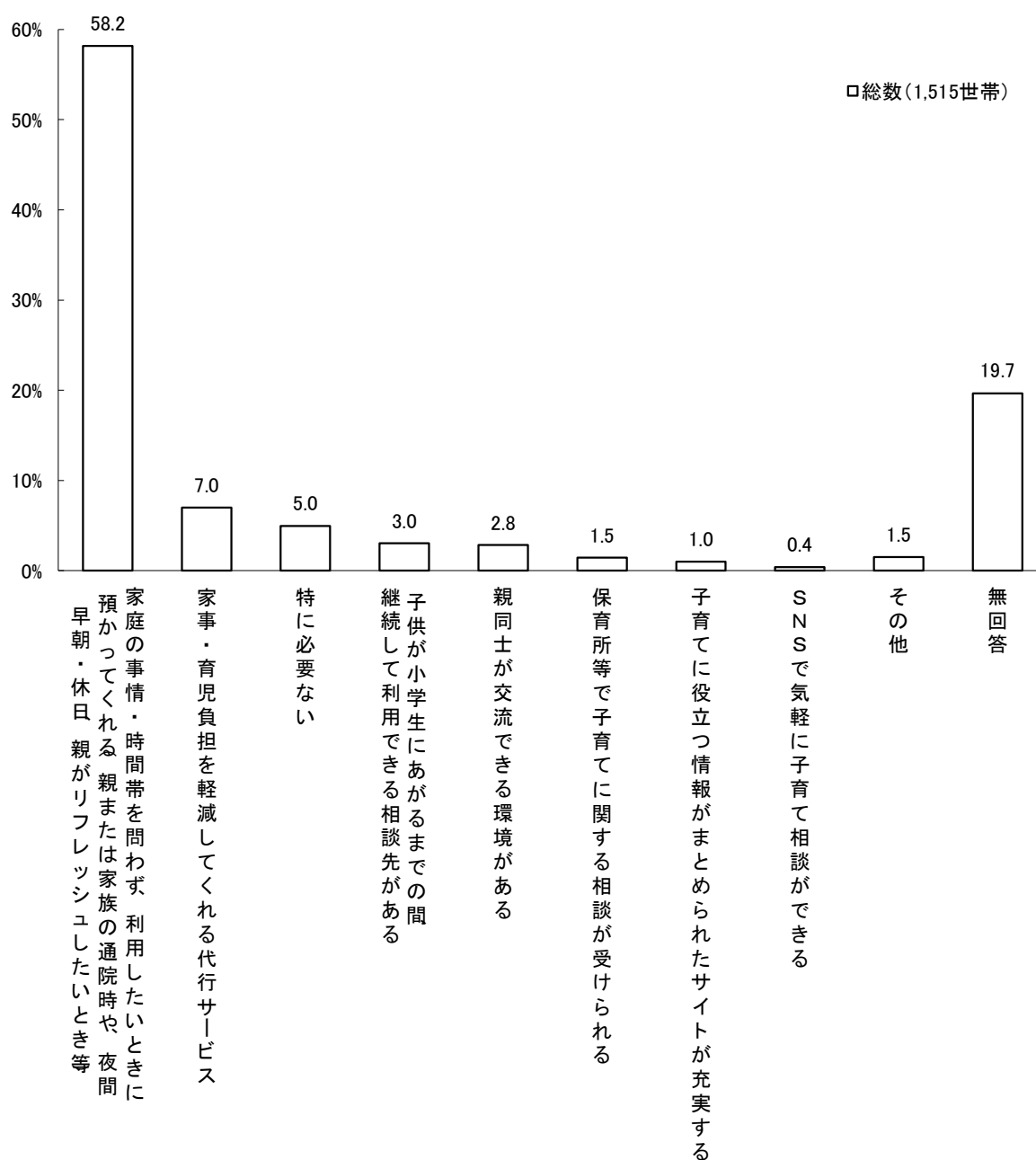
		総 数	利 用 し た こ と が あ る	利 用 し た こ と が な い	知 ら な か つ た か ら	必 要 な か つ た か ら	地 域 に な か つ た か ら	利 用 し にく か つ た か ら	そ の 他	無 回 答	無 回 答
子育てひろば (保育所・児童館等)	総数	100.0 (1,515)	66.2	25.9	4.7	13.5	0.1	4.6	2.1	0.9	7.9
	多胎児がいる世帯	100.0 (20)	80.0	15.0	－	－	－	<u>10.0</u>	－	5.0	5.0
	多胎児がいない世帯	100.0 (1,493)	66.0	26.1	4.8	13.7	0.1	<u>4.5</u>	2.1	0.8	8.0
一時預かり	総数	100.0 (1,515)	24.2	67.9	5.9	41.6	1.1	14.0	4.0	1.3	8.0
	多胎児がいる世帯	100.0 (20)	40.0	50.0	5.0	15.0	－	<u>25.0</u>	－	5.0	10.0
	多胎児がいない世帯	100.0 (1,493)	23.9	68.1	6.0	42.0	1.1	<u>13.8</u>	4.0	1.2	8.0
ファミリー・サポート ・センター	総数	100.0 (1,515)	9.8	81.9	14.7	45.7	0.7	15.8	3.8	1.1	8.3
	多胎児がいる世帯	100.0 (20)	<u>20.0</u>	70.0	10.0	15.0	－	<u>30.0</u>	10.0	5.0	10.0
	多胎児がいない世帯	100.0 (1,493)	<u>9.6</u>	82.0	14.8	46.2	0.7	<u>15.5</u>	3.7	1.1	8.3
赤ちゃん・ふらっと	総数	100.0 (1,515)	10.2	81.2	39.8	31.5	1.7	2.8	1.3	4.1	8.6
	多胎児がいる世帯	100.0 (20)	5.0	85.0	30.0	35.0	－	<u>10.0</u>	－	10.0	10.0
	多胎児がいない世帯	100.0 (1,493)	10.2	81.1	39.9	31.5	1.7	<u>2.7</u>	1.3	4.0	8.6
ショートステイ	総数	100.0 (1,515)	1.1	90.3	25.0	55.1	1.1	5.8	2.1	1.1	8.6
	多胎児がいる世帯	100.0 (20)	5.0	85.0	10.0	60.0	－	<u>10.0</u>	－	5.0	10.0
	多胎児がいない世帯	100.0 (1,493)	1.1	90.4	25.3	55.1	1.1	<u>5.7</u>	2.1	1.1	8.6
トワイライトステイ	総数	100.0 (1,515)	0.3	91.2	32.9	49.4	1.4	4.5	1.8	1.2	8.6
	多胎児がいる世帯	100.0 (20)	－	90.0	30.0	45.0	－	<u>10.0</u>	－	5.0	10.0
	多胎児がいない世帯	100.0 (1,493)	0.3	91.2	33.0	49.5	1.4	<u>4.2</u>	1.8	1.1	8.6

10 養育者自身で平日の日中も子育てを行う家庭に対し、あればいいと思うサービス

「家庭の事情・時間帯を問わず、利用したいときに預かってくれる」の割合は約6割

就学前の子供がいる1,515世帯に、養育者自身で平日の日中も子育てを行う家庭に対し、どのようなサービスがあればよいと思うか聞いたところ、「家庭の事情・時間帯を問わず、利用したいときに預かってくれる」の割合が58.2%で最も高く、次いで「家事・育児負担を軽減してくれる代行サービス」が7.0%、「特に必要ない」が5.0%となっている。（図I-2-15）

図I-2-15 養育者自身で平日の日中も子育てを行う家庭に対し、あればいいと思うサービス



第3章 小学生の子供がいる世帯

小学生の子供がいる 1,779 世帯の小学生の子供 2,251 人の状況について述べる。

1 放課後過ごしている場所

(1) 放課後過ごしている場所〔複数回答〕と主に過ごしている場所

放課後主に過ごしている場所は、「自宅」が約5割

小学生の子供 2,251 人について、放課後をどこで過ごしているか聞いたところ、「自宅」の割合が 73.6%で最も高く、次いで「塾や習い事（地域のスポーツクラブを含む）」が 52.5%となっている。（図 I-3-1）

また、主に過ごしている場所では、「自宅」の割合が 52.3%、次いで「学童クラブ」が 20.0%、「塾や習い事（地域のスポーツクラブを含む）」が 10.4%となっている。（図 I-3-2）

図 I-3-1 放課後過ごしている場所〔複数回答〕

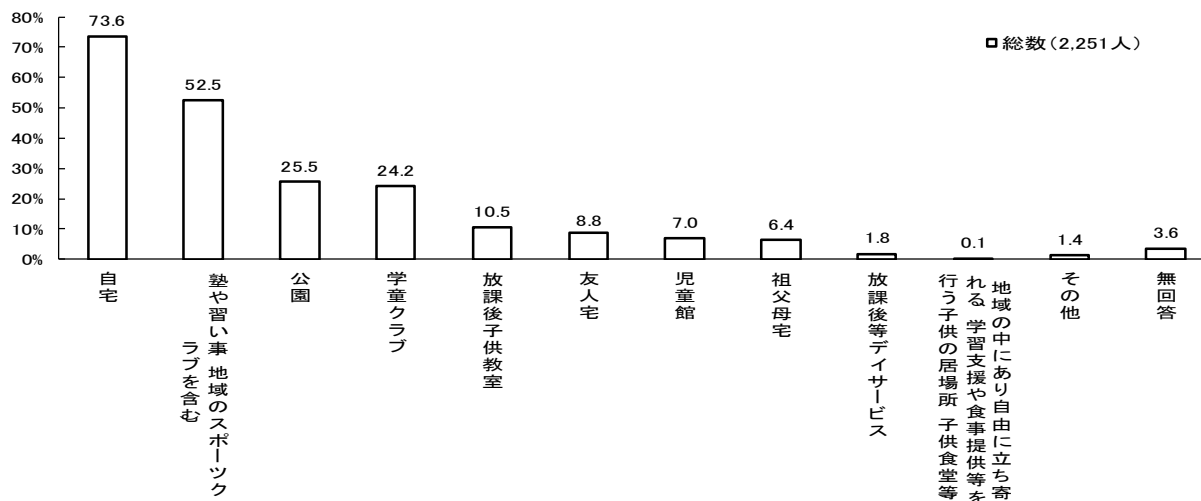
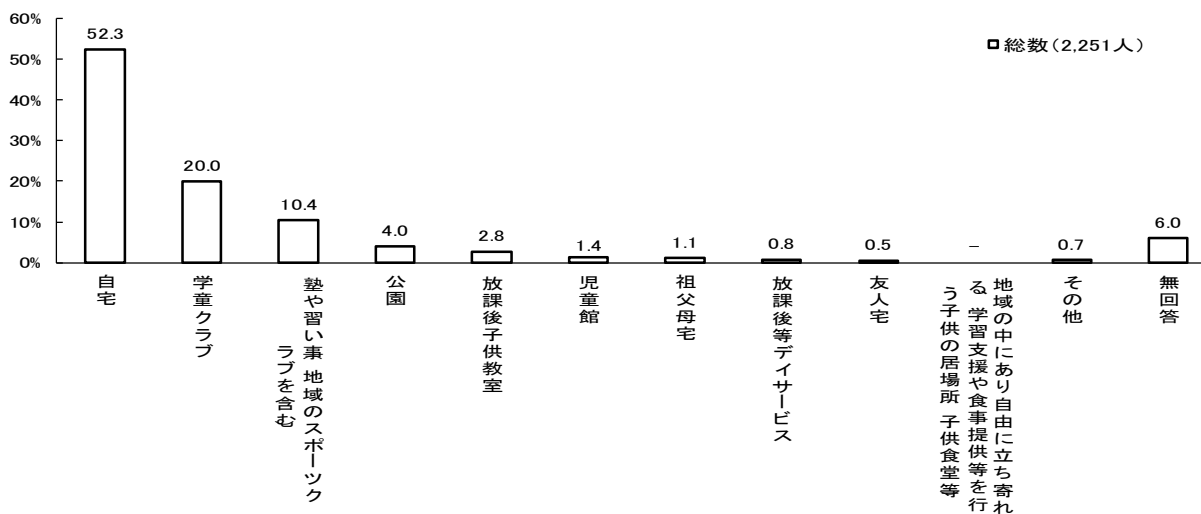


図 I-3-2 放課後主に過ごしている場所



(2) 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－家族類型別

「自宅」で過ごす割合は、親と子の世帯、祖父母と親と子の世帯で7割超

放課後過ごしている場所を家族類型別にみると、「自宅」の割合は、祖父母と親と子の世帯が77.9%、親と子の世帯は73.2%で、祖父母と親と子の世帯の方が4.7ポイント高くなっている。

一方、「放課後子供教室」の割合は、親と子の世帯が10.6%、祖父母と親と子の世帯は8.8%で、親と子の世帯の方が1.8ポイント高くなっている。(表I-3-1)

表 I-3-1 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－家族類型別

	総 数	学 童 ク ラ ブ	放 課 後 子 供 教 室	児 童 館	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	塾 や 習 い 事 (地 域 の ス ポ ー ツ ク ラ ブ を 含 む)	自 宅	祖 父 母 宅	友 人 宅	公 園	地 域 の 中 に あ り 自 由 に 立 ち 寄 れ る 学 習 支 援 や 食 事 提 供 等 を 行 う 子 供 の 居 場 所 (子 供 食 堂 等)	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,251)	24.2	10.5	7.0	1.8	52.5	73.6	6.4	8.8	25.5	0.1	1.4	3.6
親と子	100.0 (2,121)	24.4	<u>10.6</u>	7.0	1.9	52.2	<u>73.2</u>	6.2	8.8	25.1	0.1	1.4	3.6
祖父母と親と子	100.0 (113)	24.8	<u>8.8</u>	7.1	0.9	55.8	<u>77.9</u>	9.7	9.7	30.1	0.9	1.8	3.5
その他	100.0 (14)	－	14.3	14.3	－	64.3	92.9	7.1	7.1	50.0	－	7.1	－

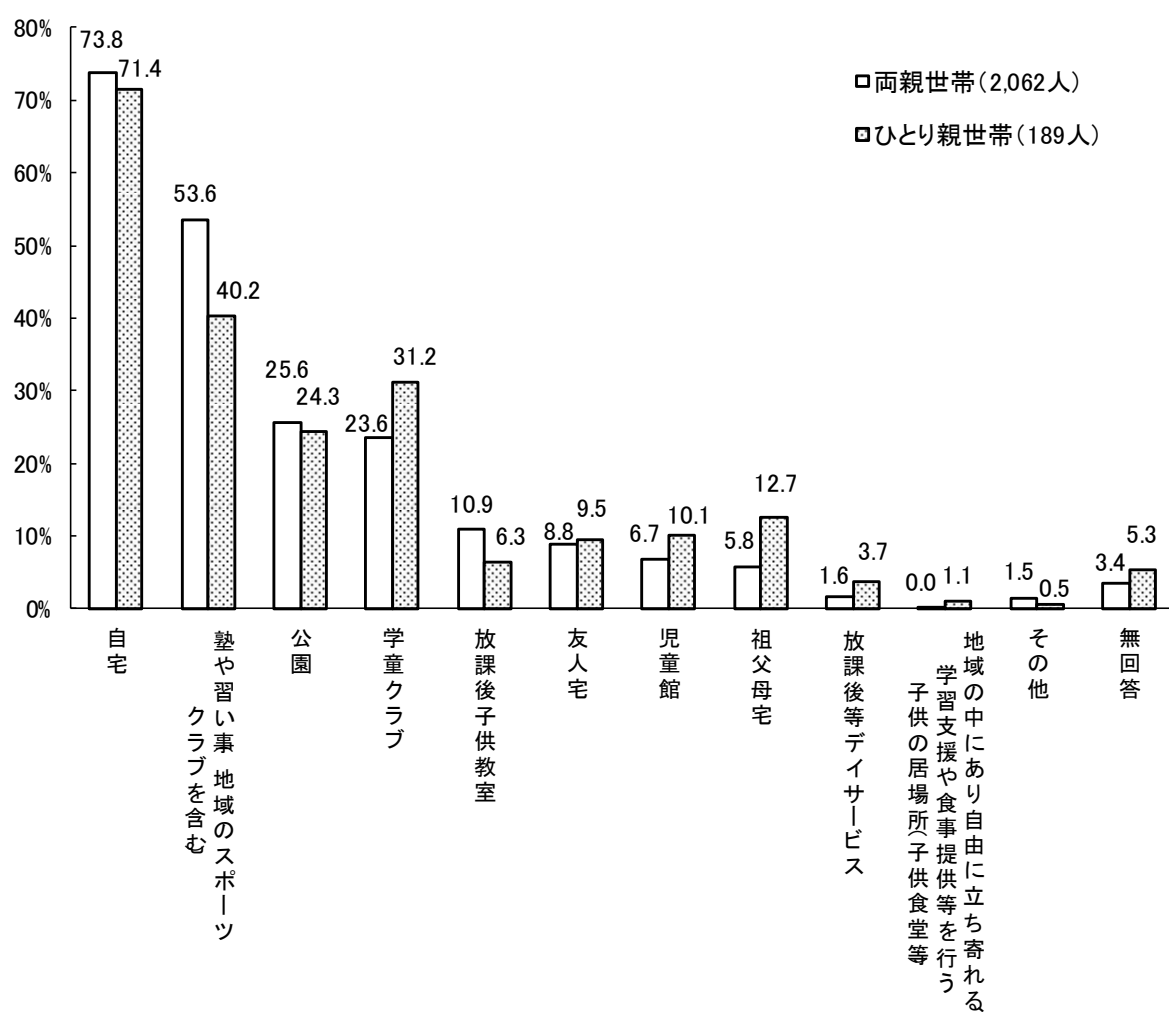
(3) 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－両親の有無別

「学童クラブ」で過ごす割合は両親世帯が2割超、ひとり親世帯が約3割

放課後過ごしている場所を両親の有無別にみると、「自宅」の割合が共に最も高く、両親世帯が73.8%、ひとり親世帯は71.4%となっている。また、「塾や習い事（地域のスポーツクラブを含む）」の割合は、両親世帯が53.6%、ひとり親世帯は40.2%で、両親世帯の方が13.4ポイント高くなっている。

一方、「学童クラブ」の割合は、ひとり親世帯が31.2%、両親世帯は23.6%で、ひとり親世帯の方が7.6ポイント高くなっている。（図I-3-3）

図I-3-3 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－両親の有無別



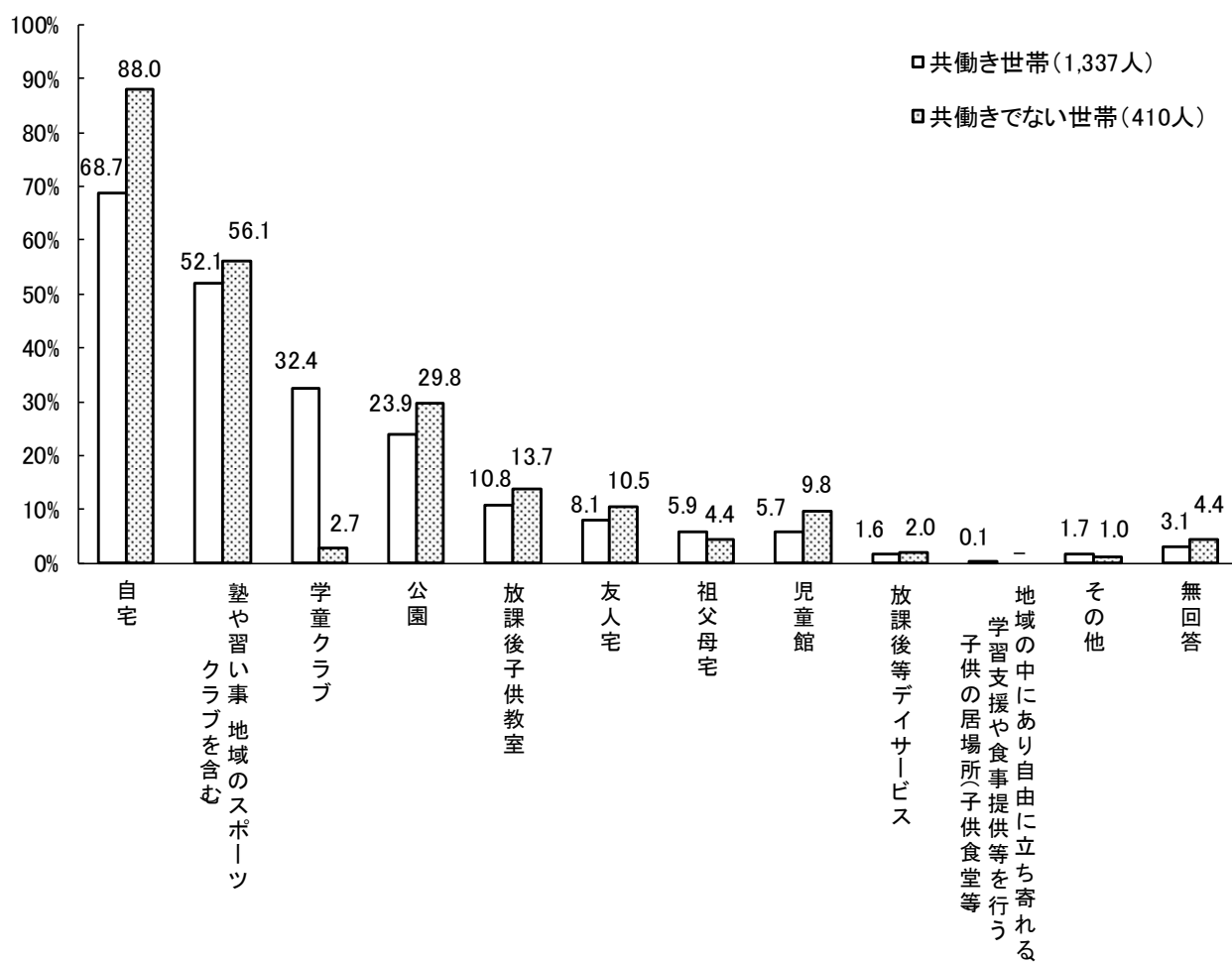
(4) 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－共働きの状況別

「学童クラブ」で過ごす割合は、共働き世帯では約 3 割

放課後過ごしている場所を共働きの状況別にみると、「学童クラブ」の割合は、共働き世帯が 32.4%、共働きでない世帯は 2.7%で、共働き世帯の方が 29.7 ポイント高くなっている。

一方、「自宅」の割合は、共働きでない世帯が 88.0%、共働き世帯は 68.7%で、共働きでない世帯の方が 19.3 ポイント高くなっている。(図 I-3-4)

図 I-3-4 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－共働きの状況別



(注) 小学生の子供 2,251 人から、ひとり親世帯の子供 189 人と、両親世帯だが、共働きかどうか不明な世帯の子供 315 人を除いた 1,747 人について集計した。

(5) 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－子供の学年別

「学童クラブ」の利用割合は、1～3年生では約3割～5割、4～6年生では1割以下

放課後過ごしている場所を子供の学年別にみると、「学童クラブ」の割合は、1年生が50.0%、2年生が42.8%、3年生が32.3%であるのに対し、4年生が8.1%、5年生が4.5%、6年生が3.1%となっている。

「自宅」の割合は、1年生が58.6%、2年生が61.1%、3年生が69.6%であるのに対し、4年生が83.0%、5年生が87.3%、6年生が85.0%となっている。（表I-3-2）

表I-3-2 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－子供の学年別

	総数	学童クラブ	放課後子供教室	児童館	放課後等デイサービス	塾や習い事（地域のスポーツクラブを含む）	自宅	祖父母宅	友人宅	公園	地域の中心にあり自由に行き来できる、学習支援や食事提供等を行う子供の居場所（子供食堂等）	その他	無回答
総数	100.0 (2,251)	24.2	10.5	7.0	1.8	52.5	73.6	6.4	8.8	25.5	0.1	1.4	3.6
1年生	100.0 (374)	<u>50.0</u>	13.1	5.3	1.9	46.5	<u>58.6</u>	8.6	3.7	13.1	－	0.5	2.9
2年生	100.0 (409)	<u>42.8</u>	14.4	5.1	2.4	50.1	<u>61.1</u>	5.6	6.6	21.0	－	1.7	3.9
3年生	100.0 (375)	<u>32.3</u>	12.0	7.2	1.9	53.3	<u>69.6</u>	9.3	7.5	27.2	0.5	0.8	3.7
4年生	100.0 (371)	<u>8.1</u>	12.7	10.0	0.5	52.0	<u>83.0</u>	5.1	12.1	34.5	0.3	1.6	3.2
5年生	100.0 (379)	<u>4.5</u>	5.5	9.2	1.8	59.1	<u>87.3</u>	4.7	11.1	30.1	－	2.6	3.4
6年生	100.0 (327)	<u>3.1</u>	4.0	5.2	2.1	54.7	<u>85.0</u>	4.9	13.1	28.4	－	1.2	4.3

2 学童クラブの利用状況

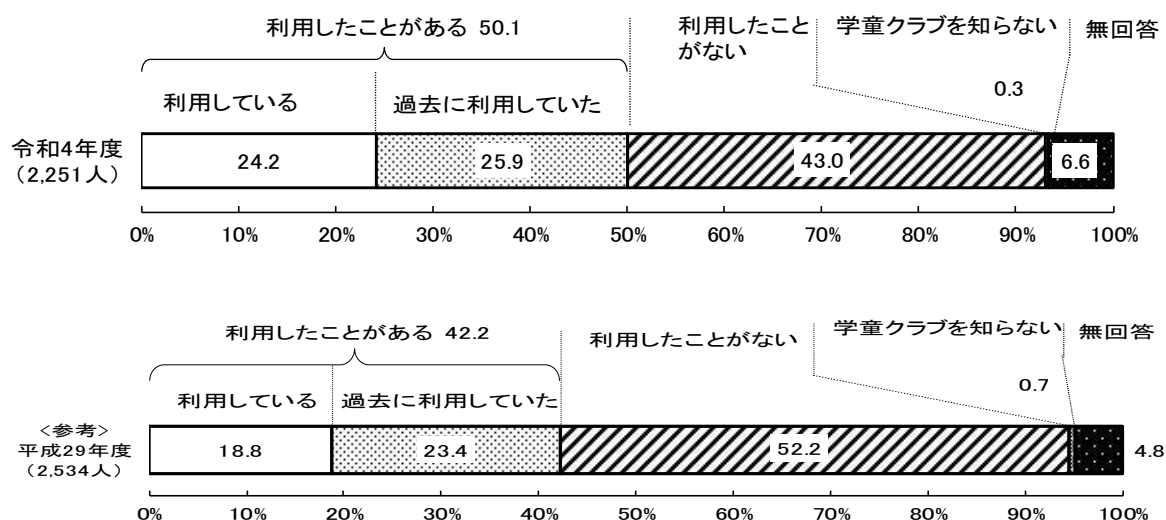
(1) 学童クラブの利用状況

「利用したことがある」割合が約5割

小学生の子供 2,251 人について、学童クラブの利用状況を聞いたところ、「利用している」、「過去に利用していた」を合わせた「利用したことがある」の割合は 50.1%となっている。

(図 I-3-5)

図 I-3-5 学童クラブの利用状況



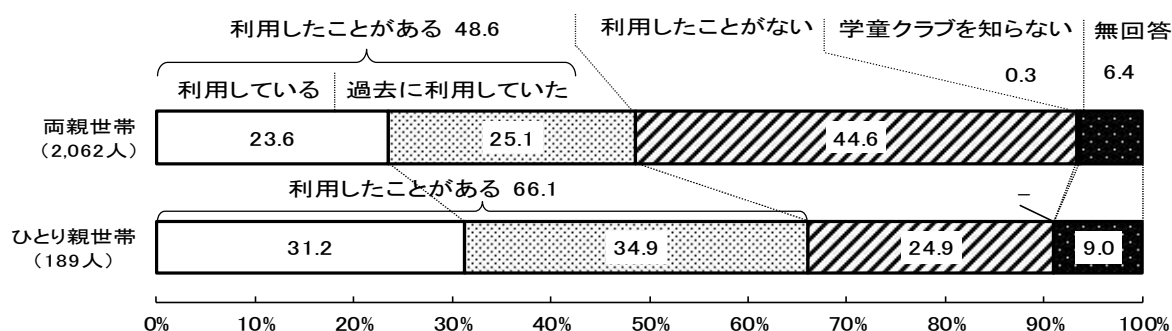
(2) 学童クラブの利用状況－両親の有無別

学童クラブを「利用したことがある」割合は、ひとり親世帯では6割超

学童クラブの利用状況を両親の有無別にみると、ひとり親世帯では、「利用している」、「過去に利用していた」を合わせた「利用したことがある」の割合は 66.1%で6割を超えている。

(図 I-3-6)

図 I-3-6 学童クラブの利用状況－両親の有無別



(3) 学童クラブの利用状況－母の従業上の地位別

学童クラブを「利用したことがある」割合は、母が正規の職員・従業員の世帯で8割超

学童クラブの利用状況を母の従業上の地位別にみると、「利用したことがある」の割合は、正規の職員・従業員では84.7%で8割を超えている。一方、非就業では13.2%となっている。(表I-3-3)

表I-3-3 学童クラブの利用状況－母の従業上の地位別

	総 数	利 用 し た こ と が あ る	利 用 し た こ と が な い	学 童 ク ラ ブ を 知 ら な い	無 回 答
総数	100.0 (2,232)	50.0	43.2	0.3	6.5
就業	100.0 (1,617)	61.8	32.3	0.2	5.7
自営業	100.0 (122)	51.6	44.3	－	4.1
正規の職員・従業員	100.0 (675)	84.7	11.6	－	3.7
会社・団体等の役員	100.0 (37)	56.8	40.5	－	2.7
パート・アルバイト	100.0 (583)	40.0	50.4	0.5	9.1
労働者派遣事業所の 派遣社員	100.0 (45)	57.8	37.8	－	4.4
契約社員・嘱託	100.0 (51)	74.5	21.6	－	3.9
その他	100.0 (25)	40.0	60.0	－	0.0
非就業	100.0 (469)	13.2	77.8	0.6	8.3

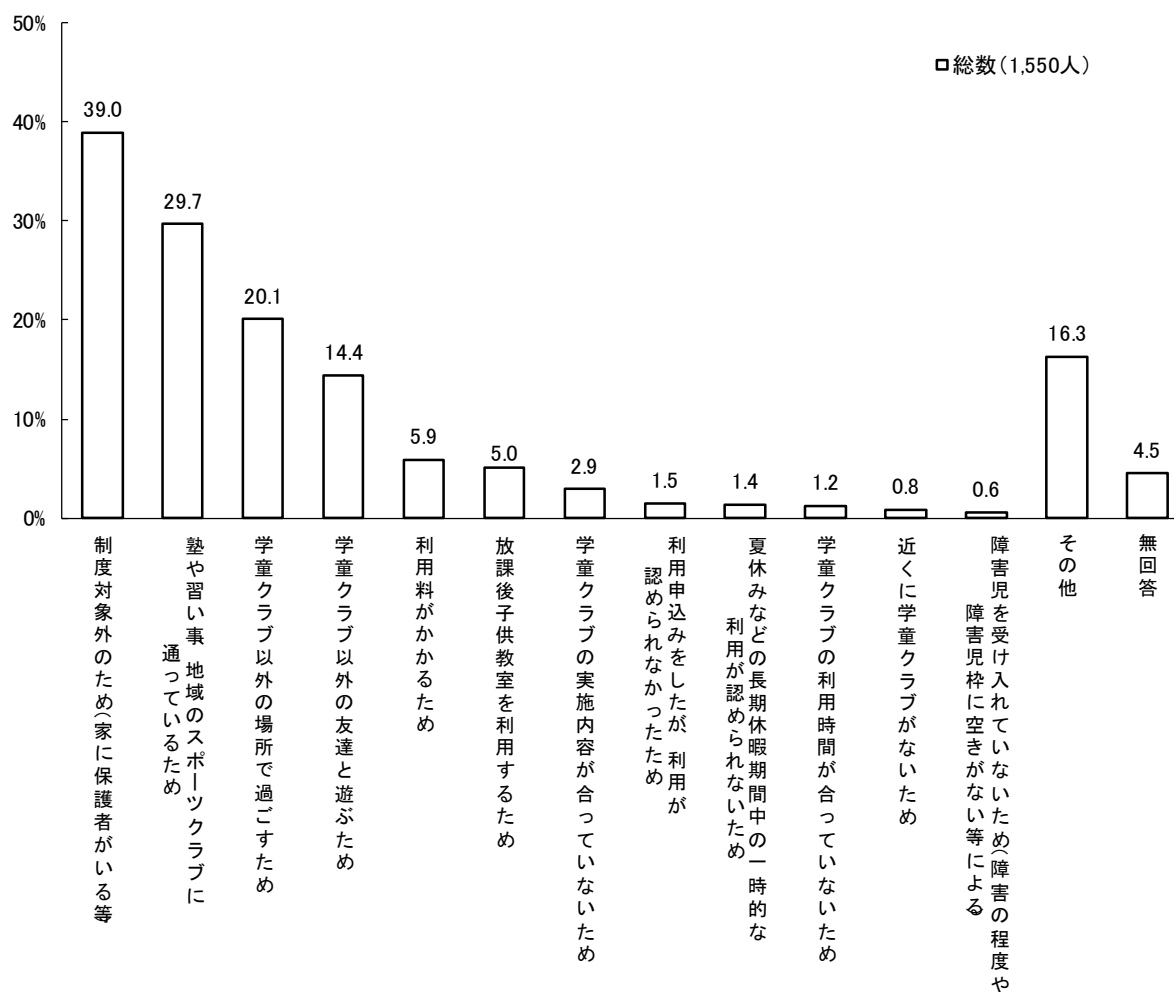
(注) 総数は小学生の子供2,251人のうち、父子世帯の子供19人を除いた2,232人である。

(4) 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕

「制度の対象外のため」が約4割

現在、学童クラブを利用していない子供（1,550人）について、学童クラブを利用しない理由を聞いたところ、「制度の対象外のため（家に保護者がいる等）」の割合が39.0%で最も高く、次いで「塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため」が29.7%、「学童クラブ以外の場所で過ごすため」が20.1%となっている。（図I-3-7）

図I-3-7 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕



(5) 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕―地域別

「制度の対象外のため」は、区部が3割強、市・町・村部が4割超

学童クラブを利用しない理由を地域別に見ると、「制度の対象外のため（家に保護者がいる等）」の割合は、市・町・村部が51.4%、区部は33.7%で、市・町・村部の方が高くなっている。

一方、「塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため」の割合は、区部が33.4%、市・町・村部は20.9%で、区部の方が高くなっている。（表I-3-4）

表I-3-4 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕―地域別

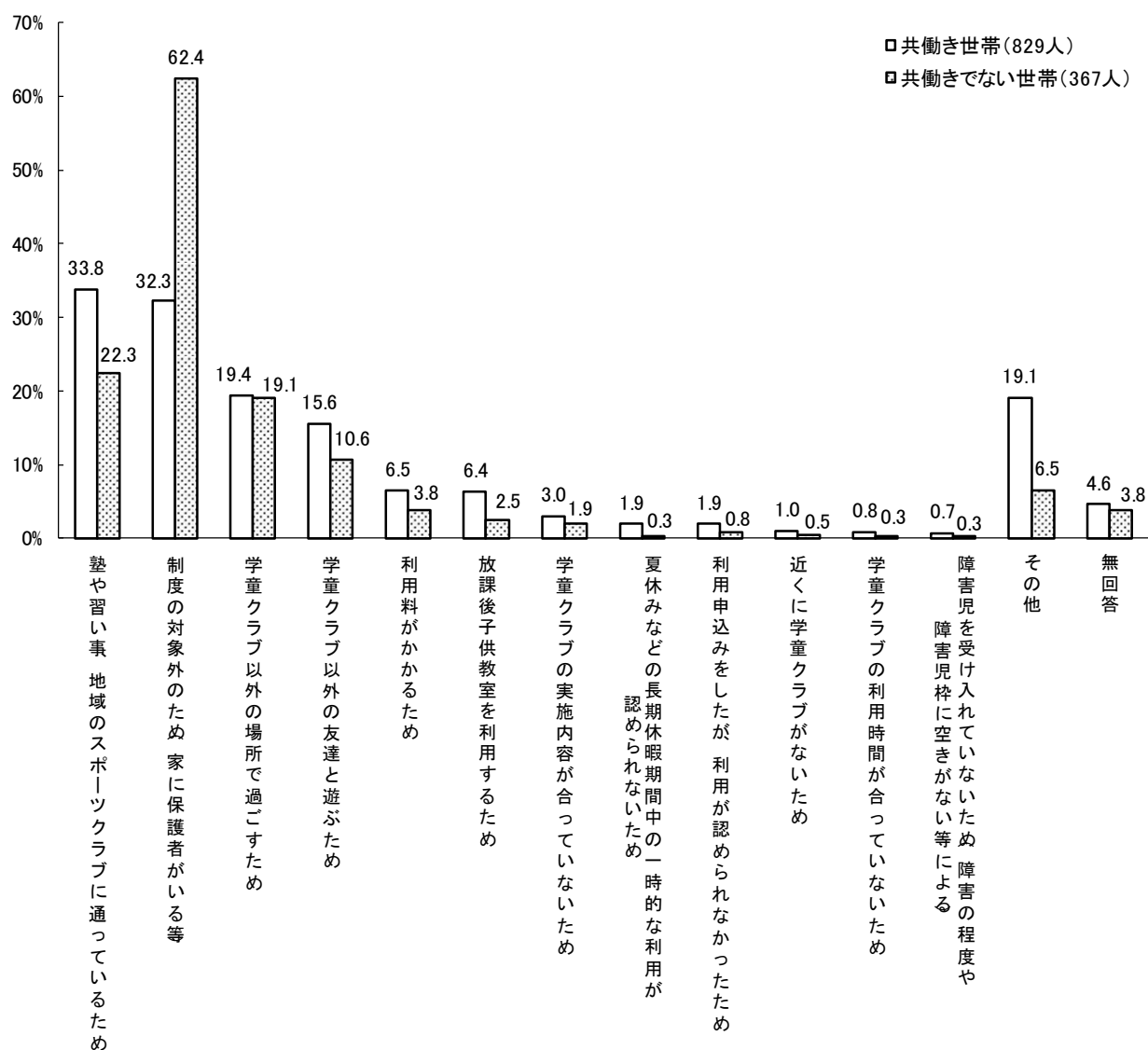
	総数	学童クラブ以外の友達と遊ぶため	学童クラブ以外の場所で過ごすため	放課後子供教室を利用するため	塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため	学童クラブの実施内容が合っていないため	学童クラブの利用時間が合っていないため	近くに学童クラブがないため	利用料がかかるため	障害児を受け入れていないため（障害の程度や障害児枠に空きがない等による）	一時的な利用が認められないため	夏休みなどの長期休暇期間中のため	利用申込みをしたが、利用が認められなかったため	利用の制限等（家に保護者がいる等）	その他	無回答
総数	100.0 (1,550)	14.4	20.1	5.0	29.7	2.9	1.2	0.8	5.9	0.6	1.4	1.5	39.0	16.3	4.5	
区部	100.0 (1,091)	14.8	21.3	5.1	33.4	2.9	1.5	0.9	5.3	0.5	1.2	1.7	33.7	17.2	5.3	
区中央部	100.0 (82)	7.3	20.7	4.9	34.1	1.2	-	-	1.2	-	1.2	4.9	37.8	15.9	4.9	
区南部	100.0 (115)	20.9	26.1	6.1	47.0	3.5	2.6	4.3	6.1	-	-	-	19.1	20.0	7.0	
区西南部	100.0 (162)	9.9	15.4	1.2	29.0	3.7	2.5	-	3.7	-	0.6	-	36.4	21.6	9.9	
区西部	100.0 (184)	12.5	23.4	2.7	28.8	1.6	0.5	0.5	1.1	0.5	1.6	1.6	39.1	15.8	3.3	
区西北部	100.0 (220)	14.5	20.5	5.0	30.9	1.4	1.8	0.9	5.9	-	1.4	0.5	35.5	19.1	5.9	
区東北部	100.0 (167)	17.4	16.8	9.0	35.9	5.4	1.8	1.2	11.4	1.2	3.0	5.4	34.7	12.0	1.2	
区東部	100.0 (161)	19.3	27.3	7.5	33.5	3.7	0.6	-	6.2	1.9	-	1.2	29.8	16.1	5.6	
市・町・村部	100.0 (459)	13.5	17.2	4.8	20.9	2.8	0.7	0.7	7.4	0.7	1.7	0.9	51.4	14.2	2.6	
西多摩	100.0 (42)	11.9	31.0	2.4	14.3	-	-	-	2.4	2.4	-	-	52.4	14.3	2.4	
南多摩	100.0 (131)	11.5	13.7	4.6	16.0	3.8	1.5	0.8	10.7	0.8	2.3	0.0	54.2	16.8	4.6	
北多摩西部	100.0 (42)	26.2	14.3	2.4	23.8	2.4	-	-	11.9	-	-	-	47.6	16.7	-	
北多摩南部	100.0 (133)	9.8	18.8	9.8	27.1	0.8	-	1.5	7.5	0.8	1.5	1.5	46.6	16.5	3.0	
北多摩北部	100.0 (111)	16.2	15.3	0.9	20.7	5.4	0.9	-	3.6	-	2.7	1.8	55.0	7.2	0.9	

(6) 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕－共働きの状況別

共働き世帯では、「塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため」の割合が最も高い

学童クラブを利用しない理由を共働きの状況別にみると、「塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため」の割合は、共働き世帯が 33.8%、共働きでない世帯は 22.3%で、共働き世帯の方が高くなっている。(図 I-3-8)

図 I-3-8 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕－共働きの状況別



(注) 学童クラブを利用していない子供 1,550 人から、ひとり親世帯の子供 113 人と、両親世帯だが、共働きかどうか不明な世帯の子供 241 人を除いた 1,196 人について集計した。

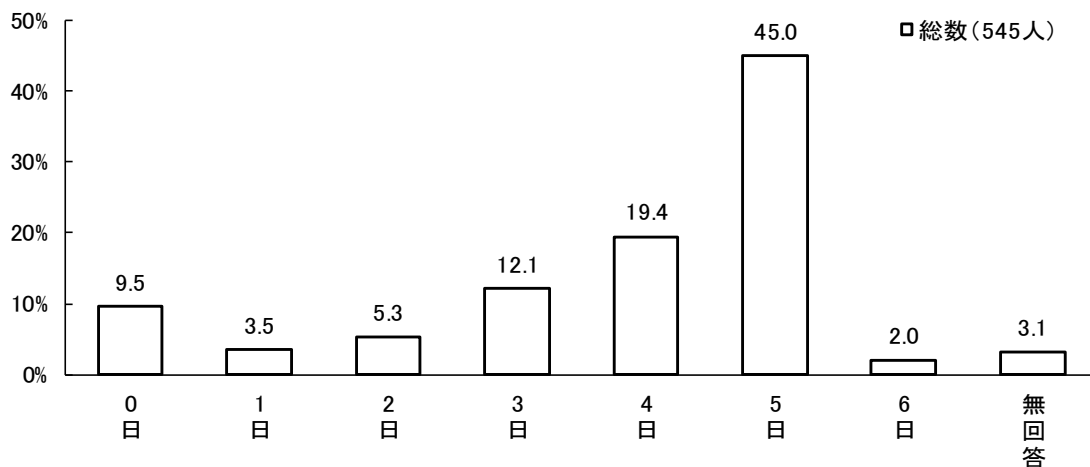
(7) 学童クラブの出席日数

1週間の出席日数は「5日」が4割超

学童クラブで過ごしている子供（545人）について、学童クラブの1週間の出席日数を聞いたところ、「5日」の割合が45.0%で最も高く、次いで「4日」の割合が19.4%となっている。

(図 I-3-9)

図 I-3-9 学童クラブの出席日数

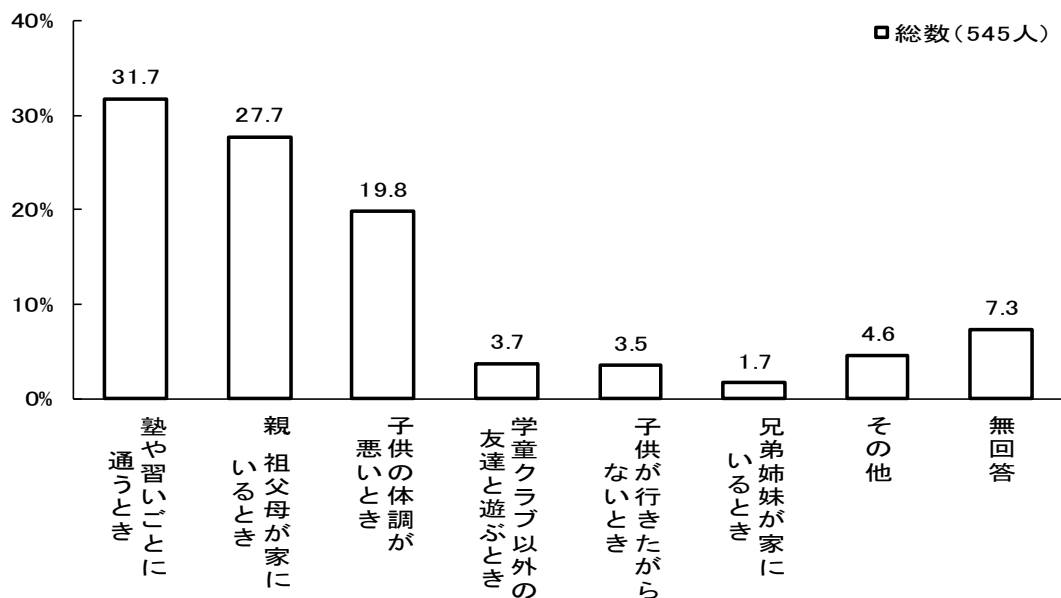


(8) 学童クラブを欠席する理由

「塾や習いごとに通うとき」が約3割

学童クラブで過ごしている子供（545人）について、学童クラブを欠席する理由を聞いたところ、「塾や習いごとに通うとき」の割合が31.7%で最も高く、次いで「親、祖父母が家にいるとき」の割合が27.7%、「子供の体調が悪いとき」が19.8%となっている。(図 I-3-10)

図 I-3-10 学童クラブを欠席する理由



(9) 学童クラブを欠席する理由－子供の学年別

1年生以は、「親、祖父母が家にいるとき」、2年生と3年生では、「塾や習い事に通うとき」の割合が最も高い

学童クラブを欠席する理由を子供の学年別にみると、1年生は「親、祖父母が家にいるとき」の割合が31.6%で最も高く、2年生と3年生では「塾や習いごとに通うとき」が最も高くなっている（34.3%、32.2%）。（表I-3-5）

表I-3-5 学童クラブを欠席する理由－子供の学年別

	総 数	塾 や 習 い 事 に 通 う と き	学 童 ク ラ ブ 以 外 の 友 達 と 遊 ぶ と き	親、 祖 父 母 が 家 に い る と き	兄 弟 姉 妹 が 家 に い る と き	子 供 が 行 き た が ら な い と き	子 供 の 体 調 が 悪 い と き	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (545)	31.7	3.7	27.7	1.7	3.5	19.8	4.6	7.3
1年生	100.0 (187)	30.5	1.1	<u>31.6</u>	1.6	2.1	20.3	7.5	5.3
2年生	100.0 (175)	<u>34.3</u>	2.3	31.4	1.7	2.9	20.6	4.0	2.9
3年生	100.0 (121)	<u>32.2</u>	10.7	19.0	1.7	6.6	21.5	2.5	5.8
4年生	100.0 (30)	33.3	－	20.0	3.3	3.3	16.7	－	23.3
5年生	100.0 (17)	11.8	5.9	17.6	－	－	5.9	5.9	52.9
6年生	100.0 (10)	20.0	－	40.0	－	20.0	20.0	－	－

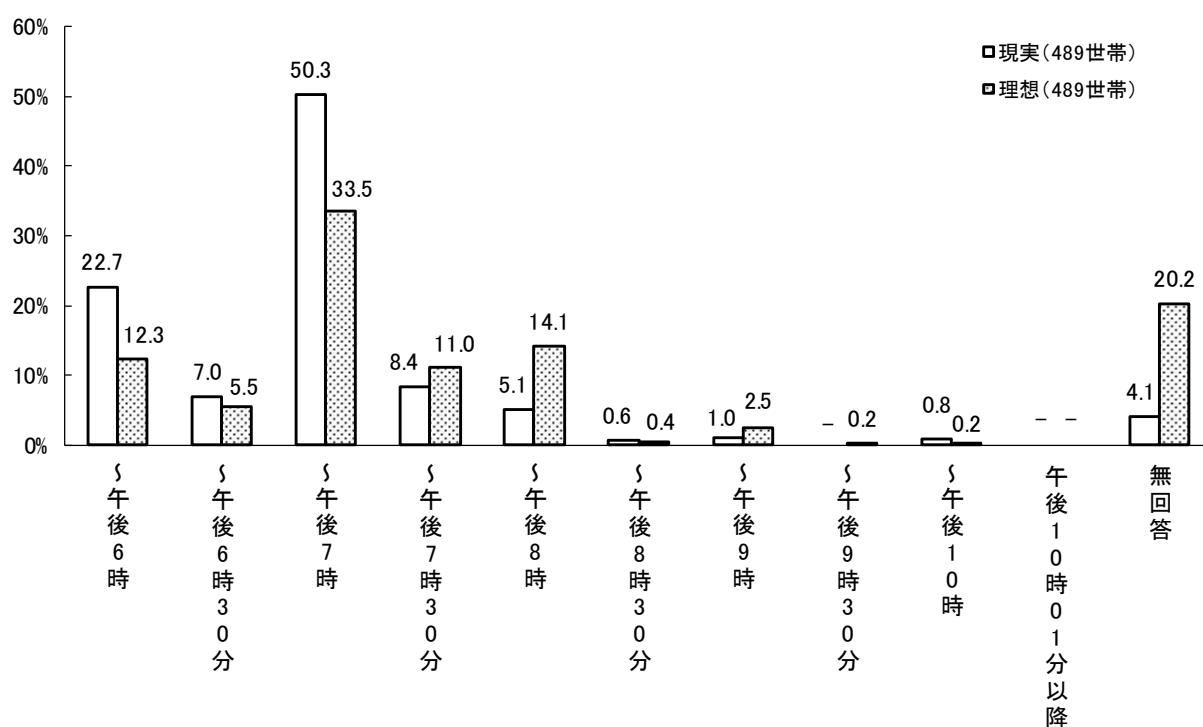
(10) 学童クラブの終了時間－現実と理想

現実の終了時間は、「～午後 7 時」の割合が最も高く、次いで「～午後 6 時」の割合が高い。理想は「～午後 7 時」の割合が最も高く、次いで「～午後 8 時」の割合が高い

現在、学童クラブを利用している子がいる世帯（489 世帯）に、現在利用している学童クラブは何時まで開いているか（現実）を聞いたところ、「～午後 7 時」の割合が 50.3%で最も高く、次いで「～午後 6 時」が 22.7%となっている。

一方、学童クラブに何時まで開いてほしいか（理想）を聞いたところ、「～午後 7 時」の割合が 33.5%で最も高く、次いで「～午後 8 時」の割合が 14.1%となっている。（図 I -3-11）

図 I -3-11 学童クラブの終了時間－現実と理想



(11) 長期休暇時の学童クラブの開始時間－現実と理想

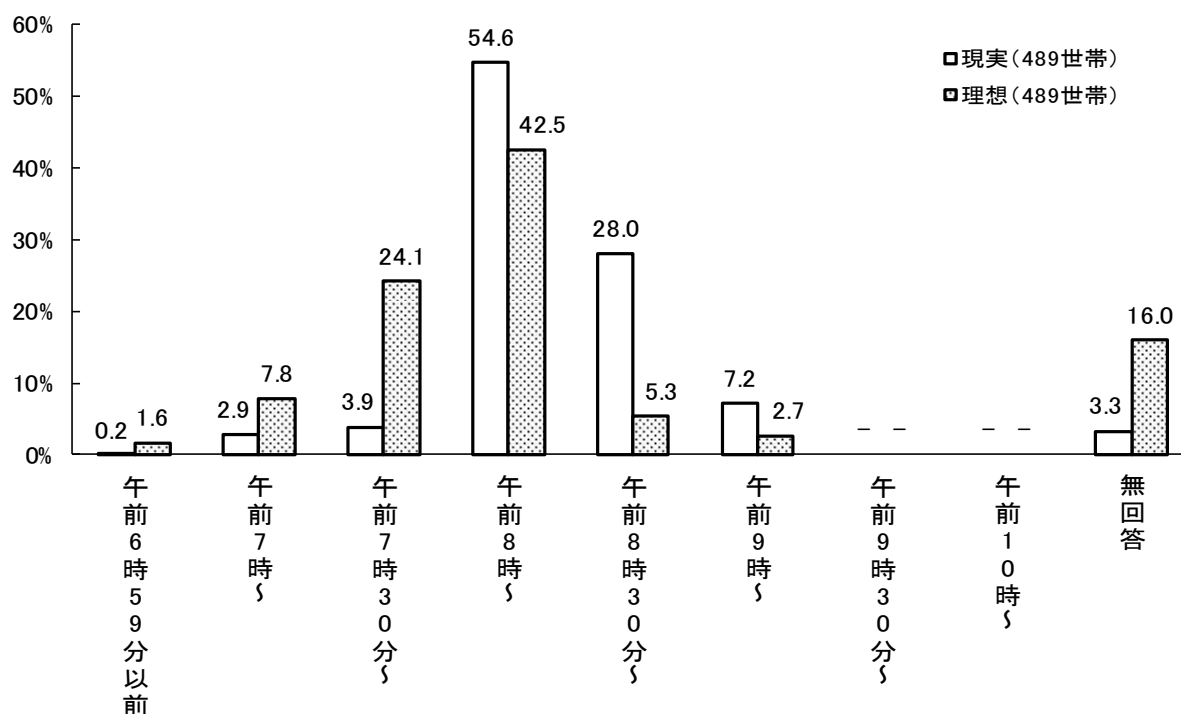
現実、理想ともに「午前 8 時～」の割合が最も高い

現在、学童クラブを利用している子がいる世帯（489 世帯）に、夏休みなどの長期休暇時に、現在利用している学童クラブが何時から開いているか（現実）を聞いたところ、「午前 8 時～」の割合が 54.6%で最も高く、次いで「午前 8 時 30 分～」の割合が 28.0%となっている。

一方、学童クラブが何時から開いてほしいか（理想）を聞いたところ、「午前 8 時～」の割合が 42.5%で最も高く、次いで「午前 7 時 30 分～」の割合が 24.1%となっている。

（図 I-3-12）

図 I-3-12 長期休暇時の学童クラブの開始時間－現実と理想

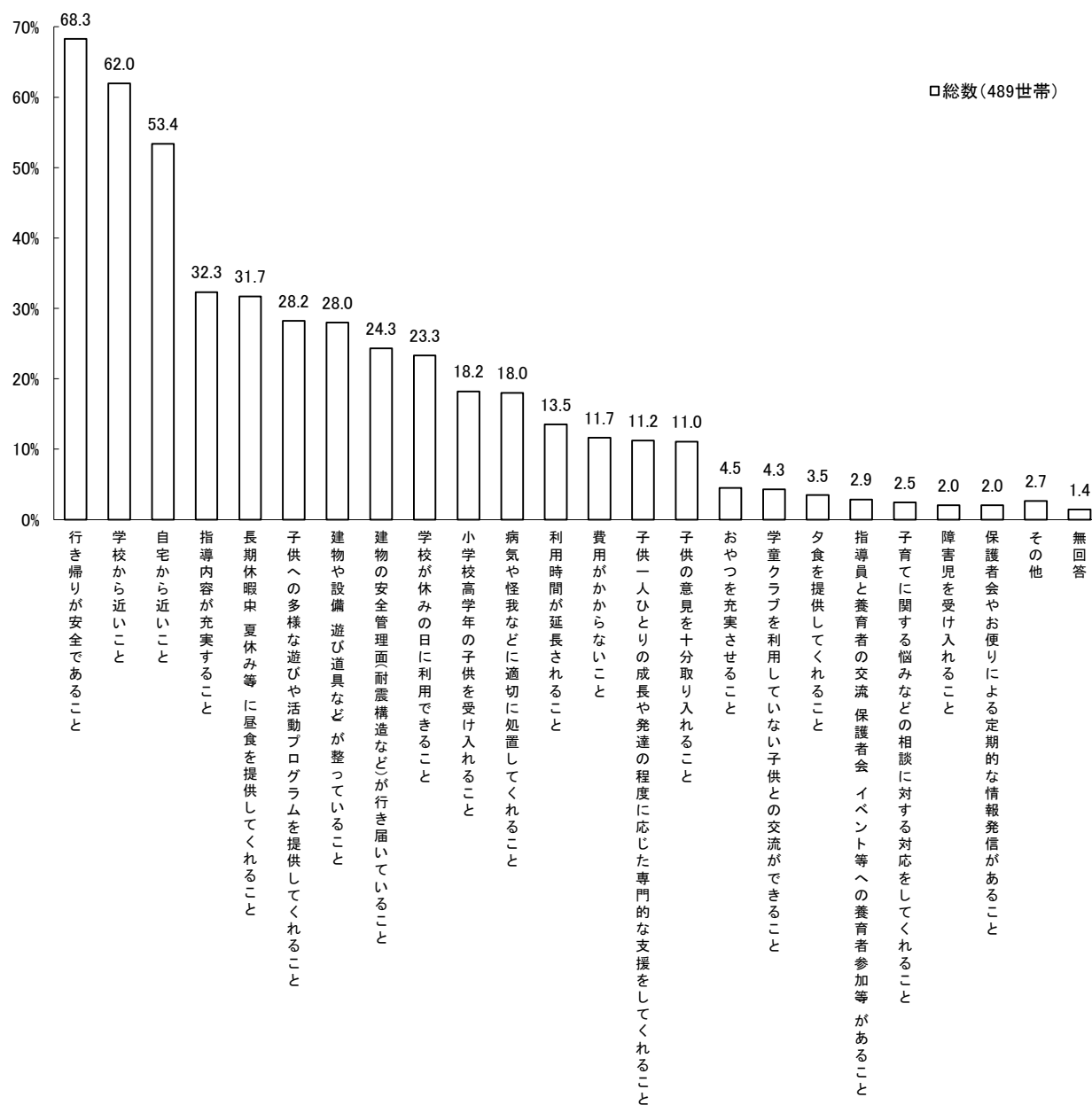


(12) 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕

「行き帰りが安全であること」が約7割

現在、学童クラブを利用している子がいる世帯（489 世帯）に、学童クラブに望むことを聞いたところ、「行き帰りが安全であること」の割合が 68.3%で最も高く、次いで「学校から近いこと」が 62.0%、「自宅から近いこと」が 53.4%となっている。（図 I -3-13）

図 I -3-13 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕



(13) 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕－両親の有無別

両親世帯は「行き帰りが安全であること」の割合が最も高く、ひとり親世帯は「自宅から近いこと」の割合が最も高い

学童クラブに望むことを両親の有無別にみると、両親世帯は「行き帰りが安全であること」の割合が68.8%で最も高く、次いで「学校から近いこと」が62.6%、「自宅から近いこと」が51.8%となっている。ひとり親世帯では、「自宅から近いこと」の割合が66.0%で最も高く、次いで「行き帰りが安全であること」が64.2%、「学校から近いこと」が56.6%となっている。

(表 I-3-6)

表 I-3-6 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕－両親の有無別

	総数	自宅から近いこと	行き帰りが安全であること	学校から近いこと	利用時間が延長されること	建物や設備（遊び道具など）が整っていること	建物の安全管理面（耐震構造など）が行き届いていること	指導内容が充実すること	指導員と養育者の交流（保護者会、イベント等への養育者参加等）があること	小学校高学年の子供を受け入れること	障害児を受け入れること	学校が休みの日に利用できること	夕食を提供してくれること	長期休暇中（夏休み等）に昼食を提供してくれること	おやつを充実させること	学童クラブを利用していない子供との交流ができること	子供の意見を十分取り入れること	費用がかからないこと	情報発信があること	子育てに関する悩みなどの相談に対する対応をしてくれること	保護者会やお便りによる定期的な情報発信があること	病気や怪我などに適切に処置してくれること	子供への多様な遊びや活プログラムを提供してくれること	応じた専門的な支援をしてくれること	子供一人ひとりの成長や発達の程度に	その他	無回答
総数	100.0 (489)	53.4	68.3	62.0	13.5	28.0	24.3	32.3	2.9	18.2	2.0	23.3	3.5	31.7	4.5	4.3	11.0	11.7	2.0	2.5	18.0	28.2	11.2	2.7	1.4		
両親世帯	100.0 (436)	51.8	68.8	62.6	14.2	28.4	23.9	33.3	3.0	18.6	2.1	22.7	2.1	31.2	4.6	4.4	11.0	10.1	2.3	2.5	18.6	28.9	11.2	3.0	1.4		
ひとり親世帯	100.0 (53)	66.0	64.2	56.6	7.5	24.5	28.3	24.5	1.9	15.1	1.9	28.3	15.1	35.8	3.8	3.8	11.3	24.5	-	1.9	13.2	22.6	11.3	-	1.9		